Narimasu Juku

難関大学受験
成 増 塾

高 卒 部

国立大コース　早慶上智コース　私大医学部コース

Guide Book

もくじ
CONTENTS

はじめに …… 1

合格実績と理念 …… 2
秘密 その1 …… 4
秘密 その2 …… 8
秘密 その3 …… 10
秘密 その4 …… 12
秘密 その5 …… 14
卒業生の証言 内田直希さん …… 16
卒業生の証言 池田太郎さん …… 18
卒業生の証言 山村絢乃さん …… 20
合格体験談 …… 22
講師陣・座談会 …… 28
コース別指導方針 …… 36

講師紹介
●英語科
門脇 渉 …… 38
甲斐英雄 …… 44
【座談会Ⅰ】甲斐講師と合格者 …… 46
【座談会Ⅱ】甲斐講師と合格者 …… 48
中島ひろや …… 51
【座談会】中島講師と合格者 …… 53
●数学科
押川定夏央 …… 58
高橋直人 …… 60
安田成来 …… 63
●国語科
門脇 渉 …… 65
山下翔平 …… 66
【座談会】山下講師と合格者 …… 68
●理科
化学 森本恭彰 …… 74
物理 押川定夏央 …… 76
生物 中嶋 寛 …… 78
●社会科
日本史 寺越慎介 …… 79
世界史 落合真也 …… 81

スタッフ紹介 …… 83
合格者の声 …… 84
高卒部 合格者の声 …… 86
合格実績 …… 87
年間授業料 …… 88
特待生割引制度 …… 89
成増塾アラカルト …… 90
【特報】医学部セミナー …… 91
医学部セミナー2018 座談会 …… 92
医学部セミナー2019 座談会 …… 96
合格祝賀会 特別講演会他 …… 100
各メディア掲載誌紹介 …… 101

表紙・本文イラスト
齊木友美

各メディアで高い評価を受ける、信頼と実績。

成増塾が長年に渡って築きあげてきた信頼と実績の数々がマスコミを通じて、各メディアに紹介されています。

日経BP社　「東京ストーリー　教育特集号」より

『東大にいちばん近い教室』として紹介されました。

「進学塾という選択」（日経プレミアシリーズ）より

日経BP社　「メディカルストーリー　教育特集号」より

その他、近年成増塾に関する記事が多数、各誌面を賑わしています。

はじめに

来春の難関大学合格を決意されている高卒生の皆さま。

成増塾 高卒部は、設立6年で、東大18名、医学部80名の合格者を輩出しました。

成増塾 塾長　高島 穣

都立戸山高校出身。早稲田大学法学部卒、同大学院修了。
学生時代より学習塾の講師をはじめ、英語教授歴は30年以上に及ぶ。
論理的で明快な説明が難関大学に合格した多くの生徒から支持されてきた。
大学での専門は憲法学で著書、論文多数。
2018年より千葉大学教育学部で非常勤講師として憲法を教える。

こんにちは、成増塾の塾長をしている高島です。

成増塾は、1996年、東京都板橋区の成増で誕生した難関大学、医学部受験生のための少人数制の塾です。

成増塾は設立以来、東大、医学部等の難関大学に着実に合格実績を輩出し続ける少人数制の塾として多くの生徒、保護者の皆さまから高い評価をいただいています。

ありがたいことに、各種メディアからも私たち成増塾の指導方法、合格実績は高く評価されています。

例えば、朝日新聞や日本経済新聞などの一流のメディアにもしばしば登場する教育評論家のおおたとしまささんは、「ルポ塾歴社会」(幻冬舎新書)という本の中で成増塾を「ガリ勉をしない生徒でも東大に合格できる塾」として紹介してくれています。

私たちが、設立25年でこのような高い評価を得ることができるようになったのは、ひとえに一人ひとりの生徒を大切にする塾としての日々の地道な努力が認められたことの証であると考えています。

成増塾は設立以来、主として現役高校生のための塾として運営を行ってきましたが、2014年、高卒生の皆さまのために成増塾 高卒部を本格的にスタートしました。

成増塾 高卒部がある高田馬場本校の入り口付近。JR高田馬場駅戸山改札口(新宿寄りの小さな改札口)を出て徒歩1分の距離にあります。牛丼の「すき家」の奥のビルで2階は赤門クリニック、地下には美容室zingが入っています。3階部分には成増塾の赤い袖看板が出ています。

成増塾 高卒部の合格実績と理念。

まず、みなさまにご覧いただきたいのは、成増塾 高卒部の設立6年での合格実績です。
この合格実績をご覧いただいてわかる通り、成増塾 高卒部は設立からわずか6年で
東大に18名、医学部に80名の合格者を出しているのです。
これは、生徒、保護者はもちろん多くの予備校関係者にとっても驚異的ともいえる数字です。
では、成増塾 高卒部はなぜこのような実績を出すことができるのか。
これからその秘密を詳しく説明していきます。

資料 2015年～2020年の成増塾 高卒部【生徒353名中】の合格実績

東大・医学部・早慶上智、難関国公私立大学に続々合格!

国立大学【医歯薬除く】

- 東京大学 文Ⅰ …… 1名
- 文Ⅱ …… 2名
- 文Ⅲ …… 2名
- 理Ⅰ …… 6名
- 理Ⅱ …… 7名
- 京都大学 …… 2名
- 東京工業大学 …… 5名
- 一橋大学 …… 4名
- 東北大学 …… 2名
- 大阪大学 …… 4名
- 千葉大学 …… 1名
- 東京農工大学 …… 2名
- 神戸大学 …… 1名
- 横浜国立大学 …… 3名
- 神戸大学 …… 1名
- 広島大学 …… 2名
- 首都大学 …… 1名

国立大学医学部

- 名古屋大学 医 …… 1名
- 東北大学 医 …… 1名
- 横浜市立大学 医 …… 1名
- 新潟大学 医 …… 1名
- 信州大学 医 …… 1名
- 広島大学 医 …… 1名
- 秋田大学 医 …… 1名
- 山梨大学 医 …… 1名
- 福島県立医科大学 医 …… 1名
- 熊本大学 医 …… 1名
- 島根大学 医 …… 1名
- 三重大学 医 …… 1名
- 防衛医大 医 …… 3名
- 浜松医科大学 医 …… 3名
- マサリク大学 医（チェコ） …… 1名

私立大学医学部

- 慶応大学 医 …… 1名
- 東京慈恵会医科大学 医 …… 4名
- 順天堂大学 医 …… 4名
- 日本医科大学 医 …… 6名
- 東京医科大学 医 …… 4名
- 国際医療福祉大学 医 …… 1名
- 日本大学 医 …… 3名
- 東北医科薬科大学 医 …… 1名
- 金沢医科大学 医 …… 1名
- 東邦大学 医 …… 6名
- 東京女子医大 医 …… 2名
- 杏林大学 医 …… 3名
- 北里大学 医 …… 1名
- 福岡大学 医 …… 1名
- 帝京大学 医 …… 1名
- 藤田保健衛生大学 医 …… 3名
- 獨協医科大学 医 …… 3名
- 埼玉医科大学 医 …… 3名
- 聖マリアンナ医科大学 医 …… 1名

難関私立大学

- 早稲田大学 …… 73名
- 慶応義塾大学 …… 59名
- 上智大学 …… 19名
- 東京理科大学 …… 25名

その他多数合格

コラム 「東大合格者を増やす他塾の試み」

最近、比較的新しい塾の中に「急激に東大進学実績を伸ばした」と広告をする塾が現れました。私は「聞いたこともない塾が、そんなに急に東大進学実績をあげられるはずはないのに。何かおかしいな」と思いました。

そこで、その塾のホームページを見てみると、その塾が「急激に東大進学実績を伸ばした」ことには「カラクリ」があることがわかりました。その塾は開成や筑駒といった「東大合格者上位校」の学校の敷地のそばに意図的に「自習室」と称するものを作り、それらの学校に通う生徒だけに無料でコピー機を使用させたり、ソフトドリンクを提供したりしているのです。この自習室に来たそれらの学校の生徒たちは、その塾の生徒として登録すれば、コピー機やソフトドリンクのサービスを受けられるので登録します。そして、登録した生徒たちが、東大に合格すると「進学実績」として人数にカウントしてしまうのです。そのような生徒も、その塾の生徒といえないこともないのでしょうが、これは、明らかに「急激に東大進学実績を伸ばした」と宣伝するためのカラクリであって「塾の指導内容がよいから東大合格者が増えた」わけではないことは否定できないでしょう。

「東大合格の進学実績をコンスタントにあげること」は正攻法でやろうとすると大変難しいことであり、一朝一夕にできることではありません。「急激に進学実績が伸びた」などと宣伝している塾の広告にはカラクリがあることも多いということに注意する必要があります。この点、成増塾で公表している東大合格者数等は、すべて成増塾で合格するまで、実際に指導を受けた生徒であることは言うまでもありません。

秘密その1 少人数制度により1クラスの定員が大手予備校の5分の1!

【私大医学部コースには完全個別指導のコースもあります。】

秘密その2 難関大学受験指導を専門とする最高水準のプロ講師だけが指導!

秘密その3 演習中心のカリキュラムで演習時間が大手予備校の5倍以上!

秘密その4 大手予備校と違い、担当講師が学力面・生活面全般まで完全にサポート!

【生徒はLINEやメールで担当講師に直接連絡できるので
24時間、質問対応、学習相談等の指導を受けることができます。】

秘密その5 勉強するための最高の環境が整っている!

それぞれの秘密について、これから詳しく説明しましょう!

秘密その1

少人数制度により1クラスの定員が100人前後いる大手予備校の5分の1以下!

難関大学の入試問題は少人数制クラスでなければ対応することは不可能。

最近、成増塾以外の塾でも「少人数制」を謳う進学塾は増加しつつありますが成増塾では設立した20年以上前からすでに、最大でも定員20名以内、という少人数制指導を徹底してきました。ほとんどのクラスは10名前後で、中には定員6名という超少人数制のクラスもあります。

では、なぜ、成増塾はそれほどまでに少人数制にこだわっているのか。それは、難関大学受験指導は10名前後の人数で行う時、最も効果が上がることを私たちが今までの指導経験によって知っているからです。

私は成増塾を立ち上げる前、約10年間、ある大手予備校で英語講師をしていました。私は、主として東大、医学部、等の上位クラスを担当していました。私がその時東大クラス等で教えていて思ったのは「この生徒たちは、この授業をどのくらい理解できているのだろうか。」ということです。大手予備校の高卒クラスでは今でもひとクラスに100人以上の生徒が大教室に詰め込まれることさえあります。そのような授業では、受講生は講師が一方的に話すのを聞き、板書する内容を黙々とノートに写すしかありません。これは、予備校側からすると経営上最も能率のよいスタイルであるといえます。

ですが、私はそのような大手予備校の教室で授業をやっているとき「こういうやり方では教える側も教えられる側も決して満足することはできないのではないか。」という疑問を抱きました。つまり、講師は、生徒がどのくらい理解しているか分からずに一方的に授業をするので、もしかしたら基礎的なことが全く抜けている生徒に、基礎を飛び越した発展的な内容を無理に押し付けていることがあるかもしれません。あるいは、逆に、基礎がしっかり出来ている生徒にわかりきっていることを延々と説明してしまうことになるかもしれません。これでは、講師にとっても、生徒にとっても悲劇というしかありません。しかし、そのような「悲劇」は今なお、大手の予備校の大教室の授業で毎日起こっているのです。そこで私は、成増塾を設立するにあたり、まず次の基本指針を決めました。

「教える人数は、一人の講師が完全に把握できる範囲にとどめる。」

今までお話してきたことからもお分かりいただけると思いますが、講師は、授業をする前に、あるいは授業をしながら生徒の理解度を正確に把握することが、能率よく効果的な授業をするための前提条件となります。生徒にとっても自分がすでにわかっている箇所に関して、延々と説明を聞く必要はありませんし、また、よく理解していない箇所の説明を、わかっているものとして省略されても、全く効果は上がりません。

高田馬場校舎の教室。20名の生徒が座れば満席になってしまう小さな教室。しかし、教室が小さいからこそ講師と生徒は密なコミュニケーションをとることができるのです。成増塾は設立当時から一貫してこのような小さな教室で授業を行ってきました。

講師はあらかじめ生徒の弱点を把握したうえで授業に臨む。

では、講師が生徒の理解度を正確に把握するにはどうすればよいか。例えば、成増塾の多くの講師は授業で扱う問題を予め生徒に解いてもらい、授業前に答案を提出してもらいます。そして、生徒全員の答案に目を通した上で授業に臨むということを行っています。そのようなやり方をしているので、講師は生徒がどのくらい出来ているのかを正確に把握した上で授業をすることができるのです。つまり「A君はここを間違えている、Bさんはここを間違えている」ということを講師は頭の中に入れた上で授業をしているのです。当然、授業では、生徒がすでにわかっているところを延々と説明することはありませんし、逆に生徒が理解していない点を簡単に省略してしまうこともありません。

生徒は授業中にあてられることで、できなかった部分が記憶に鮮明に残る。

授業は講師が一方的にしゃべるのではなく、常に生徒に問いかけながら進められていきます。そして、講師が生徒に発する問いは、まさにその生徒が誤解している点であることが多く、当てられた生徒は、その場で自分の間違いに気づくことになるのです。

「あてられて、答えることができなかったり、間違った答えをいってしまったら恥ずかしいな」と思う生徒もいるかもしれません。

しかし、あてられて、答えることができなかったり、間違った答えを言ってしまった場合、その生徒は非常に強い印象が残るので、決して忘れることはありません。つまり、生徒は授業中にあてられればあてられるほど、記憶に鮮明に残るチャンスをたくさん得ていることになるのです。実際、合格した生徒に成増塾の授業のどこが良かったのかを聞いてみると多くの人が「授業中にあてられて答えられなかったところがすごく頭に残った」と答えてくれているのです。

英語の授業をする門脇講師。門脇講師は東大をはじめとするあらゆる難関大学の問題に精通しており、その圧倒的な知識をもとに東大等の予想問題を作成します。

以上のようなスタイルの授業は、手間はかかりますが生徒が本当に学力を付けることができる最善の指導法のひとつであると教育の現場では考えられています。そして、このようなスタイルの授業は、最大でも20名くらいまでの少人数クラスでしか成り立たないことをみなさまもご納得いただけるのではないでしょうか。

担当する講師は最高で最良の家庭教師の役割も果たしている。

また、授業後に（あるいは場合によっては授業中に）、生徒は講師にどんなことでも質問することができます。

生徒のみなさんは、授業を聞いただけでは納得できず、質問したいと思ったことが今まで必ずあると思います。成増塾では、どんなことでも講師に納得いくまで質問することができま

押川講師の授業風景。授業は講師が一方的に説明するのではなく常に生徒に問いを発しながら進められます。生徒は能動的に勉強に取り組むことになります。

す。つまり、成増塾では、講師は、授業を担当するだけでなく、みなさんの家庭教師的な存在でもあるのです。

これが、ひとクラス50人以上の大教室の授業の場合、授業後に質問をすることはかなり難しくなります。そのような大教室での授業の場合、生徒はひとつの質問をするために長い行列に並ぶことになります。

また、自分の質問の順番か来ても質問の時間を5分くらいに制限されることもあります。ひどい場合には「大教室での授業では講師に質問することはできません。」と教務担当のスタッフが平然と説明することさえあります（これは有名な予備校で実際にある話です）。

少人数クラスのメリットについて、最後にもうひとつ付け加えましょう。それは、近年の難関大学の入試問題の出題傾向と関連しています。

私は英語の授業を担当していますので、まず英語という科目でそのことを説明しましょう。東大、医学部、早慶などの難関大学では毎年、かなり本格的な英語の自由英作の問題が出題されます。例えば近年の実際の入試問題をいくつか見てみましょう（実際の問題の指示は、東京大学以外は英語で書かれています）。

【東京大学】

現在、全世界で約3,000から8,000の言語が話されていると言われている。もしそうではなく、全世界の人々がみな同じひとつの言語を使用しているとしたら、我々の社会や生活はどのようになっていたと思うか。

【一橋大学】

「次の与えられているトピックについて自由に自分の意見を書きなさい。」（ひとつ選択）

①無人島に行って暮らさなければならないとしたらあなたは何を持っていきますか。

②日本のアニメは世界の国々にどんなイメージを与えていると思いますか。

講師は自習をする生徒と、時には同じテーブルで椅子を並べます。生徒はいつでも疑問点を同じテーブルにいる講師に質問することができるのです。写真は懇切丁寧にどんな質問にも快く答えてくれることで定評のある甲斐講師。

③あなたが尊敬している歴史上の人物について理由をあげて論じなさい。

【順天堂大学医学部】

遺伝子技術が社会や医療に与える影響について英語で自分の考えを述べなさい。

【慶応義塾大学医学部】

屋外に出ることはあなたの健康にとって良いことかどうかを、理由をあげて論じなさい。

みなさんはこれらの問題を見てどんな感想をもたれましたか。

「今の自分の英語力ではとても歯が立たない」と思われた方も「この程度なら自分でもなんとか書けそうだ」と思われた方もいらっしゃるかと思います。

ただ、曲りなりにも自分なりの解答を書いたとして、一体それを誰が見てくれるのか、が気になった方もいらっしゃると思います。

英作文の勉強をする際、まさにそこが一番大きな問題となります。これは英語だけに限った話ではありません。数学は難関大学では記述式であることが多く**【東大を始めとする難関大学の解答用紙はまっさらな白紙で、受験生は問題へのアプローチ、式をすべて自分で書いていかなければなりません!】**、解答集に載っている以外の別解を思い

つくこともあります。また、国語はもちろん、理科や社会でも難関大学の入試問題においては記述問題が非常に重要なウエイトを占めています。

もちろん、身近にそれらの問題を添削してくれる良い指導者がいればよいのですが、学校の先生に見てもらおうと思っても忙しそうで声をかけづらい、という人も多いのではないでしょうか。また、通信添削等でこのような問題に対処すればよいのではないか、と考える人もいるでしょう。しかし、通信添削は、答案を提出してから返却されるまでかなりの時間がかかります。また、添削してある内容についてさらに質問がしたくても、添削した人はその場にいないのだから自由に質問することもできません。

このようなことを考えたとき、やはり一番よいのは**「いつでも自分の答案を見てくれる信頼できる指導者がそばにいる」**ということであるということに行き着くのではないかと思います。

成増塾の指導の場では、まさにその理想的な環境が現実のものとして生徒全員に提供されているのです。講師は、授業の前後に質問の時間を十分とっているので、生徒はその際に自分の答案を見てもらうことができます。

また、成増塾では講師の控えの場所のすぐそばで生徒が予習・復習などをしている光景が見られます。予習・復習をしている生徒は場合によってはすぐとなりに座っている先生に質問することさえできるのです。

受験学年の生徒の質問に終電近くまで対応する甲斐講師。成増塾の講師は生徒の疑問が解消されるまで生徒に徹底的につきあいます。

さらに、質問できる内容は塾の授業に関係することだけではありません。塾の教材以外のことでも、自分が受講している科目に関することはどんなことでも担当している講師に質問することができるのです。例えば、自分で買った問題集にわからない問題があるとか、どんなことでもオーケーです。大手予備校では、予備校の授業で使っている教材以外の質問は受け付けてもらえないのが原則であることとは大きな違いです。生徒は入試の前に、自分が受験する大学の問題を解いて講師に添削してもらうこともできます。

成増塾の卒業生の多くは合格体験記の中で「成増塾の先生はいつも遅くまで質問に答えてくれた。」とか「入試直前の時期に志望大学の過去問の添削をしてくれた。」などといった感想を書いてくれます。これは、講師の先生方の質問へ対応、添削指導などが、生徒たちにとって不可欠のものであることを物語るものであるということをご理解いただけると思います。

個別指導をする安田講師。安田講師が一人ひとりの答案を直接チェックしています。答案構成や式の展開についてのコメントは言うまでもなく、字の大きさや配置など、どのようにしたら採点官に好印象を与え、1点でも多くとることができるまでアドバイスします。受験直前期になれば、このような指導は終電間際まで続くことも珍しくありません。

秘密その2

難関大学受験指導を専門とする最高水準のプロ講師だけが指導!

成増塾での指導は、授業はもちろん、質問対応に至るまですべてプロ講師が行います。それはプロ講師でないと難関大学受験の十分な指導ができないからです。

成増塾で実際に授業を行う講師は、受験指導の経験が豊富なプロの講師です。成増塾では大学生の講師は教えていません。それどころか、他の塾ではよくある質問に答えてくれる学生チューターすらいません。

それは、難関大学の受験指導は学力面も含めて、豊富な指導経験があって初めてできるものだからです。これは、私自身の個人的な経験からもはっきりと申し上げることができます。私も大手予備校で教壇に立っていたとき、3年くらい講師の経験を積んで初めて自信をもって教えられるようになったことを覚えています。

学生では難関大学の受験指導はできない。

確かに学生の講師の中にも優秀な方はいます。この成増塾でも、設立当初は東大理科Ⅲ類の学生に数学の授業を担当してもらっていた時期があります。しかし、自分で問題を解ける、ということと、人に教えることは全く別のことです。東大の問題を解けるだけで良い講師になれるとは限らないのです。学生が講師をつとめる塾はしばしば「講師にアタリ、ハズレがある。」と言われる傾向があることはみなさまもご存知のことと思います。

「学生よりもプロ講師のほうが難関大学受験の指導者として適している」と考えられるさらに大きな理由は指導経験の差ということです。

優秀な大学生は、自分が受験生だったときの経験だけで、指導をしようとする傾向があります。「自分は夏休みまで部活に明け暮れていたが、そのあと一気に集中して勉強して、東大に現役合格した。」とか、「自分は数学が苦手だったが、この参考書をやっただけで偏差値が20も上がった。」などといった自分の経験だけをもとに、指導してしまうのです。もちろん、その人にとってはそれでよかったのでしょう。

しかし、現実には、受験生はそれぞれ個性があり、学力の特性や理解力も当然のことながら全く異なるわけです。自分にあっていた方法だからといってそれがほかの人に合う方法であるとは限らないのです。ここで、指導経験の差がものを言うのです。真のプロ講師は、長年にわたる指導経験から「こういう方法が合う生徒もいるし、合わない生徒もいる。この生徒にはこっちのやり方のほうがいいだろう。」と柔軟に、自分の頭の中の引き出しから最善の方法を生徒に示すことができるのです。以上のようなこともあり、成増塾では、受験指導の経験が豊富なプロ講師だけが指導にあたっているのです。

成増塾には受験界最高水準の講師が集まる。

みなさんの中には、成増塾というほとんど無名の小さな塾に指導経験が豊富なプロの講師、中でも受験界最高水準の講師が集まることに

成増塾で教鞭をとる講師は、全員が受験界で最高水準にあるプロ講師です。成増塾の講師はマスコミに登場するタレント講師のような派手さはありませんが、その実力の高さは受験界でも一目おかれています。

ついて半信半疑の方もいらっしゃることと思います。なぜ、成増塾にそんなによい講師が集まると私が自信をもっていえるのか、その理由をこれから説明いたしましょう。

まず、成増塾は、講師の採用に際し**「難関大学受験指導の経験が豊富なプロ講師でかつ情熱的に指導ができる人」**という基準を掲げています。では、そのような厳しい基準を満たす受験界でも最高水準の講師が成増塾に集まってくるのはなぜなのか。もちろん、成増塾では報酬面で講師を大手予備校以上の条件で待遇していることもひとつの要因なのかもしれません（これは以外に知られていないことです。この点に関してはホームページの講師採用の箇所をご覧いただければご納得いただけることと思います。）しかし、経済的な待遇面だけでそんなによい熱心な講師が集まってくるわけではありません。それ以上に重要な理由があります。

成増塾は講師が自分の理想の教育を実現する場である。

それは一言でいえば「講師としてのやりがい」です。成増塾は、この塾で指導をしてくれる講師が最大限の「やりがい」を感じられるように様々な工夫をしているのです。

まず、各講師が担当する授業内容については、完全に講師の裁量に委ねています。どのような教材を使うかはもちろん、どのようなカリキュラムで生徒一人ひとりに入試本番までに学力をつけてもらうか、小テストや練習問題の添削をどのように取り入れるか等、まさに、講座運営の全責任は講座を担当する講師が負うことになります。

つまり、成増塾では、講座運営がすべて講師に任されるので、責任が重いのですが、反面でやる気のある講師は自分が思う通りの理想の授業を自由に実現することができるのです。講師にとってこれ以上やりがいのある場は考えられないのではないでしょうか。

成増塾以外の通常の塾、予備校では、講師が担当する講座のテキストはあらかじめ塾、予備校によって指定されています。つまり、講師はテキストの内容に不満があったり、担当している生徒とテキストのレベルが合わないと感じても、指定されたテキストを使い続けなければならない仕組みになっているのです。

私が以前教えていた大手予備校でも「こんなテキストで勉強しても生徒は力がつかない」とか「自分が担当している生徒とテキストのレベルが全く合ってない」などと文句を言う講師が多かったのを覚えています。現にその予備校では働いている講師に対して「使用しているテキストについて生徒のいるところで否定的な発言をすることは絶対やめてください」という注

成増塾では、異なる科目を担当する講師が、一人の生徒の成績や学習態度についての情報交換を頻繁に行います。写真は、数学の高橋講師、英語の中島講師が、担当する生徒の成績に関して話し合っているところです。講師同士が日常的に綿密なコミュニケーションをとることで、各講師は、自分が担当している科目以外についての情報もしっかり把握することができるのです。

今日は、英語・数学の有志の講師が集まって「戦略会議」です。科目間の連携をとるために様々な意見が交わされます。講師はお互いに切磋琢磨するライバルであると同時に、生徒の学力を最大限に伸ばすためにはどうすればいいのか、知恵を出しあう「同士」でもあるのです。

意がしばしばなされていました。

成増塾では、すべての講師が自分のテキストを自分で作成するので、そのような文句を言う講師はもちろんいないわけです。講師は、それまでの受験指導の経験の蓄積をもとに自分が最良と考えるテキストを作成し、最良と考える方法で生徒に教えることができるのです。

そして、成増塾 高卒部で指導にあたるのは成増塾の中でもトップレベルの講師だけです。成増塾 高卒部は難関大学に合格した生徒の口コミで後輩がたくさん入塾してくるので、生徒から支持されない講師は成増塾 高卒部で教えることはできないのです。

成増塾に入塾しようとする生徒は、体験授業で実際に授業を受けた上で自分が教わりたいと思う場合のみ受講することになります。生徒は、自分が一番受けたいと思う先生の授業を受けたとき、最も学力を伸ばすことができます。

講師のあいだでは、授業内容、教材、授業の方法に関して常に切磋琢磨が行われることになります。

さらに、成増塾 高卒部では、生徒はいったんある先生の授業に決めて受講を始めると入試本番までその先生から授業を受けることになります。つまり、講師の側としてみれば、自分がいったん担当した生徒は、受験本番まで自分が全責任を負って指導することになるので、本当に一生懸命教える動機になるのです。講師としては「あの生徒は自分が手塩にかけて教えて東大に合格させた。」と心からいうことができる仕組みが成増塾にはあるということです。

私は、今まで多くの保護者の方から「成増塾にはなんでこんなに熱心な先生が集まるのですか。」とか「こんなに熱心な先生がいるなんて信じられません。」というありがたいお言葉を頂いてきました。私としては、講師がやりたいようにやってもらっているだけなのですが、それは、他の塾、予備校にはない大きな強みになっているわけです。

秘密その3

演習中心のカリキュラムで演習時間が大手予備校の5倍以上!

最も効率よく真の実力をつけることができる単科制予備校。

成増塾 高卒部が他の大手予備校と大きく違うのは、生徒が、限られた時間の中で最も効率よく実力をつけるために**「受講科目を1科目から選べる単科制予備校」**のスタイルをとっていることです。

成増塾以外の大手予備校のほとんどは、受験科目がパックになっており、朝から夕方まで授業がぎっしり詰まっています。その結果、生徒は、多くの講座を受講することに手一杯になってしまい、十分な復習、演習の時間をとることができず、授業内容を完全に身に着けることがないまま受験本番を迎えることになってしま

合格者の声

東京慈恵会医科大学合格
千代恵さん
豊島岡女子学園高等学校

★成増塾は一人ひとりの先生が親身になって指導をしてくれ、質問にはいつでも丁寧に答えてくれた。自習室の環境はとても良く志望大学を目指す良い仲間たちと集中して勉強に取り組むことができた。成増塾にして本当によかった。1年間ありがとうございました。

2019年合格祝賀会にて、千代恵さん(右)と森本講師(左)との喜びの2ショットです。

います。私は、大手予備校で講師をしていた時に、多くの生徒が受験直前になっても、理解不十分なままの、山のように積み上げられたテキストを前に「結局、授業をたくさん受けたが問題を解けるようにはならなかった」と嘆いているのを何回も目撃しました。

このように、多くの大手予備校では、生徒は予備校に言われるがままに、多くの授業を受け、結局問題を解けるようにならないまま入試本番を迎えることになるのです。大手予備校は受講してもらう講座数が多ければ多いほど収入につながりますから、このように生徒が消化しきれないほどの講座数を設置していることは、いわば予備校側の都合による「もうけ主義」に基づくものであるということができます。

このような従来の大手予備校の「もうけ主義」に基づくカリキュラムの無駄を完全に排除し、高卒生が限られた時間の中で最大限に実力を伸ばすシステムを実現したのが単科制予備校、成増塾 高卒部なのです。

成増塾 高卒部では、原則として授業は1科目につき週1回３時間、年間40回の授業(計120時間)で、その教科の理解にとって本質的な内容をすべて教え、あえて、生徒に自学自習の時間を持たせます。この自学自習の時間に、生徒は復習を十分に行い、多くの演習問題を解き、自分で難関大学の問題を解くことができる真の実力を身に着けることができるのです。

ただ、「科目の理解にとって必要不可欠の授業内容を身につけるために、復習、演習を十分行う」といっても、生徒が適切な指導なしに自力でそれを行うことは極めて困難です。そこで、成増塾 高卒部では、実際に授業を担当している講師が直接「復習、演習を効果的に行うためには何をどのくらいする必要があるのか」ということに関して一人ひとりの生徒に、個別に、極めて詳細な指導を行っていくのです。

■大手予備校との違い①:システム　比べてください

	成増塾 高卒部	大手予備校
クラス人数	3～16名(平均10名)	30～100名強
授業形態	演習重視(「解く」中心) 双方向の授業 常に理解度をしながら進行	講義中心(「聞く」中心) 一方通行の講義 理解度と関係なく進行
人間関係	講師と生徒の信頼関係を重視	講師は生徒の名前も知らない
進路指導	担当講師が直接指導	担当講師とは異なる担任が指導
添削指導	毎回実施	おまけ程度
質問対応	授業後はもちろん、授業中でも、随時対応可能	授業中は無理　行列待ちが当たり前
カリキュラム	早めに展開 年間で全内容を最低2周	かなりゆっくり　年間でギリギリ1周
テキスト	生徒の習熟状況に合わせて対応	生徒の習熟状況と無関係に作成

■大手予備校との違い②:1週間の時間割例

成増塾 高卒部

	月	火	水	木	金	土	日
午前	自学	化学	自学	数3	物理	自学	自学
午後	数2B	自学	英語	自学	自学	自学	自学
夜	自学	自学	自学	自学	自学	自学	自学

大手予備校

	月	火	水	木	金	土	日
午前	数学	英語	英語	数学	英語	国語	自学
午後	化学	数学	物理	化学	物理	自学	自学
夜	自学	自学	自学	自学	自学	自学	自学

▲成増塾 高卒部は、最も効率的なカリキュラムを組むことで講義数を減らし、大手予備校の倍以上の自学自習時間を確保しています。

秘密その4

大手予備校と違い、担当講師が学力面・生活面全般まで完全にサポート!

すでに説明したように成増塾 高卒部で授業を担当する講師は、全員が成増塾でもトップレベルの人気と実力を誇る精鋭講師です。成増塾 高卒部では、それらのトップ講師たちが、10〜16名程度の少人数クラスで一人ひとりの学力に応じた密度の高い授業を行っていきます。講師の説明のわかりやすさは実際に体験授業を受けていただければすぐにお分かりいただけると思います。

ただ、成増塾 高卒部では、これらの講師たちが、実際に授業を行うだけでなく、質問対応はもちろんのこと、復習の仕方、日々の学習計画の立案とチェック、メンタル面のサポートまで直接行うのです。成増塾以外の予備校では、授業内容に関する質問対応も、多くの場合、実際に授業を行っている講師ではなく、大学生や院生等のチューターが行います。しかし、学生チューターは受験指導の経験が浅く、十分に質問に答えられないことも多く、質問に来た生徒が納得いかないままに終わってしまうことも多いのです。

これに対し、成増塾では、実際に授業を行うプロ講師が、生徒のどんな質問にも疑問点が全く残らないように、徹底的に答えます。そればかりか、講師は、自分が担当する科目に関しては、授業の復習の仕方、知識を定着させる演習問題、類題の提供、生徒が日々の学習計画を作るアドバイス、計画がきちんと進んでいるかどうかのチェックまで行います。

成増塾 高卒部では生徒一人ひとりが担当講師の指導のもとに2週間単位で緻密な学習計画を作り、それに基づいて着々と日々のスケジュールをこなしていきます。

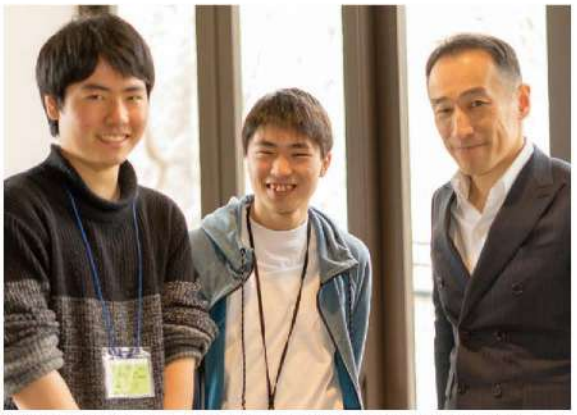
高田馬場校の自習スペースです。門脇講師に質問する生徒の皆さん。成増塾では講師と生徒の座る席に区分がありません。生徒はいつでも自由に同じテーブルにいる講師に質問することが出来るのです。

高卒部での押川講師による指導風景。生徒は押川講師と同じテーブルで勉強しています。講師と生徒が常に至近距離にいることで、生徒はいつでも講師に質問でき、講師の目が一人ひとりに行き届くという理想的な学習環境を実現することができるのです。

成増塾 高卒部の講師は、文字通り皆さんと二人三脚で、志望大学の合格を勝ち取る瞬間まで、全責任を負って親身の指導を行っていきます。上の写真をご覧ください。英語・国語の門脇講師、数学・物理の押川講師が生徒と同じテーブルで授業の準備をしているところです。成増塾 高卒部では、ごく普通の日常の風景です。

生徒は、疑問点があれば、授業後だけでなく、いつでもすぐそばにいる先生に質問、相談することができるのです。成増塾では、講師と生徒の間に一切、物理的な「垣根」がありません。このように**「いつでも生徒が質問できる環境」**が実現されていることは、わざわざ講師室に行かなければ質問ができない大手予備校と違う、成増塾の大きな強みであることがお分かりいただけると思います。

成増塾の各校舎には合格者から送られてきた直筆の合否報告が張り出されています。生徒はこれを見ることで難関大学に合格していった先輩方の生の声を知ることができるのです。



合格祝賀会より、高島講師と東大理科Ⅱ類に合格した大島拓也さん（中央）と東京医科大学医学部に合格した鴻野暁さん（左）。

秘密その5

勉強するための最高の環境が整っている!

生徒は専用自習室で落ち着いて勉強することができる。

次に、成増塾 高卒部での日々の学習環境をご覧いただきましょう。

成増塾 高卒部では、生徒一人ひとりが、塾が開いている時間ならいつでも使える、高卒生専用の自習室を準備しています。これにより、生徒は、安心していつも同じ環境で静かに自習をすることができるのです。高卒生専用の自習室なので、席を確保するために並ぶ必要ももちろんありません。また、自分の参考書や問題集、辞書を置けるロッカーもあるので各自、それらを置いたままにすることもできます。

これらの専用自習室がなければ、毎日重い鞄を下げて満員電車に乗らなければならないことを考えれば、そのメリットがいかに大きいものであるかもお分かりいただけるかと思います。

来春の合格に向けて一刻も早いスタートを切ることが大切。

みなさんは「大学を選ばなければ大学生になれる」という「大学全入時代」に、あえて難関大学に合格するために、もう1年受験勉強をすることを選ばれました。これは、みなさんの人生にとって大きな決断だったはずです。この決断が、みなさんにとって「人生最良の決断の一つ」になるかどうか、つまり、来春、第一志望の大学に皆さんが合格できるかどうかは、今後の皆さんの努力にかかっています。

私たち成増塾 高卒部は皆さんの夢を実現するため、どんな努力も惜しみません。成増塾 高卒部に興味を持たれた方は、是非、成増塾まで足をお運びください。このガイドブックに書かれていることがまぎれもない真実であることを皆さんも保護者様にも納得していただけることと思います。

【フリー自習スペース】

2020年、高田馬場校に新たにフリー自習スペースがオープンしました。

成増塾 高卒部の専用机の様子。毎日重たい参考書や辞書の入ったカバンを下げて満員電車に乗る必要はありません。

成増塾 高卒部の生徒には、高卒部専用の自習室で、生徒は安心して勉強に集中することができます。

成増塾 高卒部は、生徒全員の出席状況をタイムカードで管理しています。生徒は、塾に来たときと帰る時にタイムカードを押します。

今日は、気分転換にホワイトボード前のスペースで自習中。成増塾 高卒部の生徒は、専用の自習室以外のスペースでも、自由に使えます。

成増塾 高卒部には生徒専用のコピー機が設置されています。生徒はいつでも好きなときにコピー機で必要な問題集、参考書をコピーすることができます【有料】。

成増塾 高卒部 卒業生の証言

成増塾 高卒部に在籍し、見事に志望校に合格した3人の卒業生。
決して平坦ではなかった合格までの道のりと感想を生の声でお届けします。

駿台? 河合? それとも成増塾?
大手予備校を勧める親の反対を押し切って、
成増塾 高卒部に来て大正解!
伸び悩んでいる人には本当におすすめです!

新潟大学医学部医学科 合格
順天堂大学医学部医学科 合格
日本医科大学医学部医学科 合格
早稲田大学政治経済学部経済学科 合格

内田直希さん
東京学芸大学附属高校
卒業

成増塾 高卒部は僕のニーズを全て満たしてくれる理想の塾。

1年前の3月、受かったと思っていた某国立大医学部に落ち予備校を探し始めました。多くの友人がSかKの二択でなやむ中、僕はたくさんの選択肢を考えていました。

というのも現役のころは大手塾に通いそれなりに勉強していたつもりなのですが、全く成績が伸びませんでした。そのくせ何故か自分に自信はあり、一年間苦手な数学と英作文だけ勉強していれば、第一志望の新潟大には受かるだろうと思っていました。

なので大手予備校のセンターを含む全教科の授業には全く魅力を感じず、むしろ邪魔だとさえ考えていました。そんなとき出会ったのが成増塾でした。成増塾は僕のニーズを全て満たしてくれており、まさに僕の理想とする塾でした。

しかしここで問題だったのは両親でした。特に受験に詳しい訳でもなく、僕の学力傾向も理解していない状態でなんの根拠も無く、大手予備校に行けと説得されました。現役時、大手で失敗している僕からすればまた大手にいっても失敗する可能性が高いことはわかっていたので、真っ向から反対しました。最終的に成増塾に通うことを許してくれたのですが、あの時僕が折れていたら今の自分は絶対に存在しません。

そんな訳で成増塾での浪人生活が始まりました。

大手予備校の数倍に相当する、超ハイレベルな門脇英語。

まず衝撃を受けたのは門脇先生の英語でした。とにかく量が多く、問題のレベルも解説のレベルも高かったです。一年間で成増塾生が3年かけてやる内容＋高卒部オリジナル問題1年分

をやりました。これは大手予備校の何倍に相当するのか見当もつきません。また、少人数でのクラスなので非常にインタラクティブな授業であり、大手塾にいた僕には刺激的でした。少人数制を活かし和文英訳、英文和訳とも150問以上添削していただきました。僕はなんとなく構文はわかっても、いざ日本語に訳すと不自然になることが多かったのですが、門脇先生のおかげで英語が自然な日本語に訳せるようになりました。英語を右から左へ返り読みすることなく、そのままの語順で理解できるようになり、WPMもあがりました。早さが求められる順天堂では英語で稼げたことが正規合格につながったと思いますし、記述中心である新潟大入試でも満足のいく答案が書けました。門脇先生は神です！

苦手な数学を克服！押川講師、高橋講師に感謝！

僕は数学が致命的に苦手でした。そんな僕の数学力を一から鍛え直してくださったのが押川先生と高橋先生でした。押川先生はどうアプローチしていくのかを明確に教えてくださいました。解法パターン、と書くと賛否両論ありますが僕のように数学が全く出来ずなんにもわからない人にとって、ある程度の解法パターンによる基礎固めは必要不可欠でした。多くの予備校テキスト、参考書は「全」パターンを掲載していないので逆に使いづらいと思うことが多かったのですが、押川先生のテキストは完璧でした。各単元に発展問題がついているのですが、これが非常にレベルが高くすぐに理解出来ないことも多々ありましたが、これをじっくり考えることによって数学的な思考力が身に付いたと思います。また、苦手な分野や演習量が足りないと思った分野について押川先生に相談すればすぐに膨大な量の問題が頂けたり、詳しく解説して頂けた点もありがたかったです。

高橋先生の授業もインタラクティブで生徒の考えをすぐに授業に取り入れて別解を示してくださるなど、高橋先生の数学の懐の深さがなければ実現不能なレベルの非常に高い授業でした。思考過程を生徒に示してくださる授業形態であり、数学の授業の理想形だと思います。基礎の基礎から東大の難問まで幅広くたくさんの問題を経験でき、計算力がなければどうにもならない数学Ⅲを攻略するには不可欠な授業でした。直前期には過去問の答案添削指導もしていただき、本番でいかに点を稼げる、減点されない答案を書くかを学ぶことが出来ました。

入試までの1年間のスケジュール作り。志望校合格までの具体的戦略は。

具体的な学習計画としては毎週の授業の復習を徹底して夏までに基礎を固め９月くらいから通常授業＋過去問をやっていました。１２月に入ってからはセンター対策に集中し、ありとあるセンター問題集をひたすらときあさって間違った問題は全教科を1冊のノートにまとめていました。このノートを見返すことで自分の弱点を確認し、本番のセンター試験では総合で９割を超え、安心してその後の日程に臨むことができました。私大医学部はあまり数多く受けなかったのでゆとりをもって取り組むことができ、自分としては納得のいく結果を残すことができました。

私大で抑えをつくれたこともあり意気揚々と新潟に乗り込みました。数学で簡単なミスによる大量失点、得意なはずの物理での失敗など不安要素はありましたが、迎えた３月８日、結果は合格でした。

長々と書いてきましたが、僕のように現役時にある程度全範囲を学習しているのにも関わらず伸び悩んでいる人には成増塾は本当におすすめです。

今の僕があるのは成増塾のおかげです。本当にありがとうございました。

こんな塾、聞いたことがない…!
大手予備校にはない、圧倒的なアットホーム感!!

東京大学理科Ⅱ類 合格

池田太郎さん
海城高校卒業

成増塾 高卒部の最大の特徴とは…
"生徒が教員用スペースで、先生の隣の席で自習することができる"

こんな塾、聞いたことがありますか？　僕は聞いたことがありません、成増塾以外には。成増塾には長年お世話になりましたが、この塾の最大の長所はアットホームなところです。アットホームである理由は上で挙げたこと以外にも、塾内では土足ではなくスリッパで移動（夏になると裸足の生徒が何人か出てくる）することなどがありますが、なんといっても少人数制を採用していることでしょう。教室内で一人あたりで使えるスペースが広い（長机一人一つの場合もある）ことや、授業中に「せんせー、今のところよくわかんないんで、もう一回説明してくれませんか？」と遠慮なく言えることは大手の塾では実現できないことでしょう。

入試は、受験した大学（東大理Ⅱ、早稲田理工、慶應理工、慶應経済）全てにかなり余裕を持って合格するという結果でした。このような結果をもたらしてくれた成増塾に心から感謝しています。

★英語科　門脇渉 講師

門脇先生の授業を受け始めたころは誰もが思うでしょう、この先生は難しげな文法用語を連発してハイレベルな授業を展開している、と。しかし、そこが彼の最大の長所のひとつであると後にわかります。どんな難解な英文でも「なんとなく」ではなく、現象の名前を共通認識にすることで「あーあれか！」と、たちどころに理解できるのです。

門脇先生の長所として他に挙げられるものに『最強のテキスト（文法と英文解釈）』があります（彼は20代の多くの時間をこのテキスト作りに費やしたとおっしゃってます）。自分はこれを高2の夏休みに完璧に1周したことが、英語が苦手から得意にひっくり返ったターニングポイントでした。テキストがすごいということもあって、僕は英語の受験勉強は英単語と英作文集以外は全て門脇先生に依存していました。このテキストをほとんど理解すると「門脇英語脳」になります（このネーミングは割と的を射てると自負している）。

英語の試験などで、難解な部分がでてきたとき、彼がその部分を解説する声が聞こえてきたら（解説しているのを即座に思い出したら）、門脇英語脳になった証です。なんだかあやしげな宗教じみていますが、これは決してヤバい状態ではありません。これこそが偏差値急上昇の知らせだといえるでしょう。

「受験オタク」の側面があるところも彼の他の先生にはない強みといえます。門脇先生は英語以外の科目の事情にも詳しく、「受験本番までどういった勉強の習慣（どの科目をどれだけやるか）が良いですか？」という質問などをす

るには最適でしょう。主要な参考書は科目の壁を超えて全てチェックし、大手予備校などの事情などにもかなり詳しいことからも信頼度が高いことがわかりますね。

★数学科　押川定夏央 講師

僕は東大に受かるまで数学の問題集というものをほとんどやったことがありません。押川先生の授業とそのプリントを徹底的に復習することで、数学は事足りてしまうからです（数学がもともと苦手な人は基本の確認のため1冊くらいは完成させた方が良いでしょう）。彼は授業において「なぜこの解法がこの問題に対して有効なのか」ということをよく説明します。これが押川数学の要なのではないかと思います。これを常に心がけることで難問に対応できるようになり、さらに解答時間も短縮されるのだと思います。

常に入試問題に対して強気な姿勢でいるのも彼の魅力です。例えば東大や東工大の過去問の中でも難しい方に分類されるようなモノを「標準問題」あつかいすることがよくあります。これはそのときは生徒らは半分冗談として受け止め苦笑いが起きることがありますが、難問に対する恐怖心を日常的に取り除いて数学をやることで試験本番で焦らずに実力を出し切れることに大きく寄与してます。

★物理科　押川定夏央 講師

「俺の初回の授業にくるやつは…力のつりあいと運動方程式だけわかってればいーよ」彼は自信満々にそう言いました。押川マジックはここから始まります。最初の方は徹底的に教科書レベルの基本理解を簡単な例題演習と並行して行います。徐々に標準レベルの問題も解いていき、一周終わると一気にレベルを上げて東大・東工大などの問題を解かせます。ここで不思議と解けてしまう、というのが押川マジックです。これは憶測ですが、このマジックのタネは「基礎を徹底し諸現象の本質を理解させたこと」ではないかと思います。

押川先生はさらに僕の駿台全国模試での物理の偏差値を一年間で43から88（全国26497人中1位）に上げるというマジックも見せてくれました。

また、授業中にしばしば話すギャグはなかなか面白いものが多く、疲れた頭に心地よい休息をもたらしてくれます(笑)

【結果報告】

おかげさまで今年度の大学入試試験は全勝でした。ありがとうございました！

●私立

早稲田理工　合格

慶應理工　　合格

慶應経済　　合格

●国立

前期　東大理科Ⅱ類　合格

後期　千葉大薬学部　前期合格のため放棄

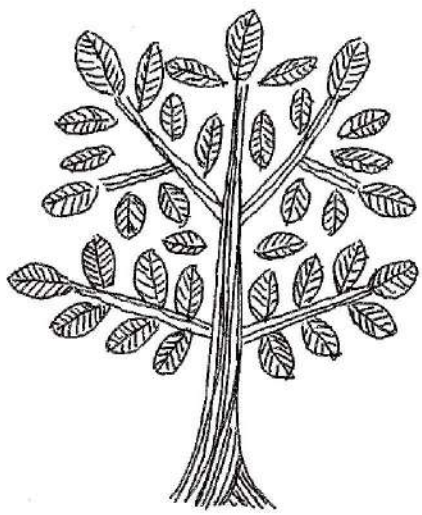
●自己採点

センター（一次試験）790/900

（東大換算で96.5）

東大二次試験　260/440

合計　356.5/550　（合格最低点は315）



【日本医科大学特待生 合格者インタビュー】

模試オールE判定から、1年で日本医科大学合格! 英語だけではない各科目の総合バランスの重視が合格への道。

●出席者
日本医科大学 特待生合格
山村絢乃さん
〈白百合学園高等学校出身〉

●インタビュアー
中島ひろや講師

●監修
高島塾長

成増塾で1年間の浪人生活を送り、1年間でオールE判定から日本医科大学に合格した山村絢乃さんは、1000人中3人という狭き門の特待生にも合格しました。

中島　山村さんこんにちは。今日は受験生活を振り返り、これから成増塾で勉強する後輩のためにいろいろとアドバイスをしてもらいたいと思います。まず、山村さんに英語について伺います。英語の成績はどんな感じでしたか。また、医学部に合格できた勝因は何でしょうか。

山村　私は英語に関しては中1の時から成増塾に通って基礎がしっかりできていたので成績は良い方でした。その一方で、数学や理科は悪く、現役時の模試では志望校の全てE判定でした。中島先生は英語の先生ですが、英語だけでなく他の科目の成績にも配慮してくださいました。それで数学や理科などの苦手科目にたくさん時間を割けたことが本当に良かったです。1年間科目間のバランスをとって勉強できたことが合格への勝因であったように思います。

中島　僕がみんなに指導するときに一番重視しているのは学力のバランスなんです。僕の授業で印象に残っていることはありますか。

山村　中島先生の授業でよかったことは、クラスの一人一人の生徒に授業の後にきちんと、きめ細かく対応してくれたことです。私の弱点もちゃんと把握してくださっていたので先生が出してくださる課題は納得してやっていくことができました。なので英語に関してはもう中島先生にすべて丸投げしてました。

中島　山村さんは、医学部に全部で5つ合格しましたが、医学部の倍率ってすごく高いですよね。倍率をみて弱気になるなんてことはありませんでしたか。

山村　倍率は全く気にしていませんでした。模試の結果で自分が志望校の順位で合格ゾーンに入っていれば合格できると思ってましたから。勉強はやはり

過去問を中心にしました。ただ、苦手だった数学と理科に関しては本当に基礎的なことから徹底的にやり直しました。高1の時にやっていた教材も引っ張り出してきて夏までは基礎固めに集中しました。基礎固めが一周すると、自分ができるようになってきたことを実感できるようになりました。秋以降は英語にはほとんど時間をかけずに数学、理科に集中しました。化学は森本先生の授業に必死で食らいついていきましたが成績はそれだけでかなり伸びました。また、森本先生は入試本番までにやるべき課題を具体的に示してくれたので、安心して勉強することができました。

中島　うん、医学部は英語だけじゃ受からないからね。山村さんが数学、理科に集中できたのは夏休みまでにしっかりと基礎固めができていたことも大きいよね。自分の勉強法で何か工夫していたことはないですか。山村さんはいつも朝早くから成増塾の自習室で勉強していたよね。

山村　はい自習室の環境がとてもよくて、落ち着いて勉強をすることができました。勉強法で役に立ったのは毎日の勉強時間の記録をつけたことです。勉強の内容と勉強時間を記録することですごくモチベーションが上がりました。また、勉強の記録をつけることがいい息抜きになりました。私は勉強計画を細かく作る方ではなかったので自分のやったことを可視化できたことはすごくよかったです。

中島　そうですか。勉強記録をつけたそのノートは今では山村さんの宝物だね！
受験前はどんな心境だった？

山村　受験前はメチャクチャ追い込まれてました。食欲もなくて、カロリーメイトとかゼリーとかしか食べない日もありました。だから、最初に2次の合格発表があった東邦大学の時は嬉しくて涙がでました。

中島　そうなんだ！山村さんは普段はあまり感情を外に出さないタイプだけど、そんなに嬉しかったんだね！日本医大の合格を知ったときはどうだった？

山村　日本医大の時は、受かるとは思ってなかったので本当に驚きました。

中島　日本医大は特待生っていうオマケつきだよね。特待生は何人中何人くらいなの？

山村　私は後期試験だったので1000人くらい受けて特待生は3人です。

中島　えー！てことは1,000分の3の中に入ったってことだよね！それはすごいよ！

山村　ええ、自分でも本当に驚きました。

中島　では、最後に受験生に向けてみなさんから一言お願いします。

山村　私は受験会場についたら「自分が一番できる」という強い気持ちを持つことが大切だと思いました。順天堂の受験の時は「絶対に受からなきゃ！」と、気持ちばかり焦っていたので、気持ちを入れ替えました。気持ちで負けてないと、よい結果もついてくると思います。

塾長　後記

座談会に同席させてもらって、若い人たちが高い目標を掲げ、突破する姿は本当に凄い、と思いました。日本医科大学に特待生で合格した山村さんは私が中1から高3まで6年間英語を教えた生徒です。山村さんは現役の時には惜しくも医学部に合格できませんでしたが成増塾の中で最も信頼できる中島講師に英語をバトンタッチし、翌年には大輪の花を咲かせてくれました。

座談会後、山村さんに「お父様が合格発表後、私のところにご挨拶に来られて『成増塾を選んで本当に良かったです。』と言っていただいたんですよ」と伝えたら「そんなことがあったんですか!?」と驚いていました。

山村さんは医学部合格という大きな目標を実現しました。彼女がどんなお医者さんになるのか今から楽しみです。

【山下講師と合格者が語る合格体験談】

沼 鉄之祐さん 一橋大学 社会学部 合格（埼玉県立豊岡高校出身）
偏差値49の県立高校から、1年で一橋大学合格!

寺本百花さん 慶応義塾大学 文学部 合格（成蹊高校出身）
模試オールE判定から、慶応義塾大学文学部合格!

山下 翔平講師

山下　今日はお忙しいところお集まりいただいてありがとう。早速ですが、**お2人は浪人を経て大学に合格したということで、まずは現役時の勉強の状況からお話をうかがいたいと思います。**

沼　僕は高校のレベルがめちゃくちゃ低くて、偏差値50あるかないかくらいの高校に通っていました（埼玉豊岡高校）。一応高校受験の時は慶應志木を目指していたのですが落ちてしまって…しかも志木は社会と理科がいらなかったので、そこから公立受験するにもモチベーションがなくなってしまいました。僕が入学した高校は500点満点で200点取れれば受かるくらいのレベルだったので、社会と理科はやらなくてもなんとか受かることができました

一橋合格も今まで一人もいないくらいのレベルなんですが、僕はその高校で3年間遊びまわってしまったので、勉強の方はさっぱりでした。しかも、高校3年生の11月まで私立文系だったのですが、一橋の社会科学部をすごく魅力的に感じて、そこから浪人覚悟で国立志望に変えたので、現役の時は本当に全然ダメでした。

寺本　私は現役のころから大手予備校に通っていました。特にその中でも1番人気の先生の授業ばかりとって、しかも一番前の席に必ず座っていました。でも全然結果は伴わなくて…原因としては質問にいくにしても、「わからないことを聞く」のではなくて、「自分の頭の良さを示すために」質問に行っていました。友達もその先生に質問や添削に行っても「これは俺に持ってくるレベルじゃない」と突っぱねられていたので、それで怖くなってしまったのもあるかもしれません。私も現役の時から慶應志望だったのですが、全ての模試で、あらゆる学部がE判定でした。

山下　2人ともよくそこから1年で大学受かったね。（笑）**成増塾って正直他の予備校とか塾に比べれば全然有名じゃないと思うんだけど、どうして成増塾に入ろうって思ったの?**

寺本　私は高校の先輩からの勧めでした。その先輩は実は私の高校では遊び人で有名な人で周囲からは絶対落ちると思われていたのですが（笑）現役で早稲田に受かって。その先輩と特に仲が良いわけではなかったのですが、DMが来て「予備校迷ってるなら成増塾いいから一回見てみな」って言われて。私は大手

での失敗があって、少人数で先生との距離が近い予備校を選ぼう!と思っていたので、成増塾は私が求めていたものとマッチしていました。ですからあまり他とは比較することなく成増塾に決めました。

沼　僕の場合、予備校の選択に関しては周りが周りだったので、ほとんど情報がなかったですね。しかも国立文系志望が学校全体でも僕１人しかいなかったので、塾選びは苦労しました。高校の友達は大体河合塾や増田塾に行っていました。成増塾は全然知らなかったんですが、母親がたまたま高田馬場に用事があって成増塾のパンフレットをもらってきてくれたんです。「この塾あんたに向いてるんじゃない」って。そんなわけで成増塾にお世話になることになったのですが、僕は数学が先ほど言ったようにかなり弱く、当初は押川先生の数学のプリントも「やべぇ全然わかんねぇ…」って感じだったので、合格した今の時点からの逆算になってしまいますが、大手のカリキュラムをこなせていたかは結構怪しいと思います。

山下　浪人するということは何かしら弱点があるはずなので、そこの弱点の補強のサポート体制は気になるところですよね。**ではみなさんが成増塾で勉強してよかったことや、伸びたことは何かありましたか?**

沼　正直最初に思ったのは、授業のレベルが高かったことですね。特に門脇先生の英語はレベル高すぎてヤバいなと思いました。「これは知ってるよね」という前提として求められることが広かったので、最初は「これは…」と思いました。

寺本　それ女の子も皆言ってた！(笑)

沼　だから、自分にとって最初の課題はとにかく「授業についていく」っていうことでした。ほんとに、配られた教材は必ず全部やり、門脇先生が「これはやらなくてもいいよ」って言っていた教材も全部やりました。英単語とリスニングの教材以外は僕はすべて門脇先生の教材に依存していたので、その全部の量を10周～20周くらいはこなしました。そしたら、途中から英語は「楽勝じゃん！」というイージーモードになってきました。

山下、寺本　それはすごいね！

▲門脇 渉講師

沼　これだけ良質なテキストがある以上、「それを全部頭に入れれば大丈夫でしょ」って思ってひたすらその教材を隅から隅まで覚えるという方向性を取りました。

山下　それは僕の浪人時代の勉強に似てるね。僕も同じテキストをひたすら復習して、単語や品詞、詳細な文構造まですべて完璧に覚えてたなあ。

沼　門脇先生の教材は文法も1600問くらいあってそれも全部やってました。

山下　へ～それはよく努力しましたね。そういえば押川先生の数学も課題が多いと思うんですが、どうでしたか？

沼　数学は高３まで私大文系で相当なブランクがあったので、最初は「ホントにこれ何書いてあるんだろ？」って感じで全然わかんなかったんです。よく数学は思考力と言われますが、僕はそのレベルではなかったので、押川先生の全プリント、全問題、全解答を全て丸暗記しました。その時「書く」ってことはほとんどなかったですね。押川先生は例題、類題、解法、問題タイプまで全部わけてくれていたので、それをひたすら読んで、すべての解法が反射的に出るくらいにまで練習しました。それで一橋の数学も半分以上は取れたので、この勉強法が自分にあっていただと思います。

山下　すごい努力しましたね！数学は問題ごとのパターンがあるので、それを身に着けることは、とても重要ですので、そのやり方は理にかなっていると僕も思います。お二人は僕の国語の授業に関してはどうでした？

▲押川 定夏央講師

沼　現役の時に国語はほぼ感覚でやっていたので、授業中にやった解答へのアプローチの仕方は必ず解くときに心がけてやっていました。

寺本　ああ！指示語を絶対確認するとか、なぜか？問題の時の因果関係をどう結ぶかとか！

沼　そうすると、現役の時は国語全然駄目だったんですが、夏ごろにはマーク模試とかでも9割を超えてきて…

山下　早いね。(笑)　普通そんなに早く9割は超えないんだけどね…(笑)

沼　文章を書くという作業は世界史でも必要だったのでがんばりました。センター明けに一橋の過去問は相当添削していただきましたし。

山下　国語は英語や数学と違って二次の問題で8割を超えるっていうのがほとんど難しい科目だから、僕は指導する際には合格者平均点よりやや上を狙うくらいのつもりでやっているんだけど、沼君の添削を見る限りはそこは大丈夫そうだったね。

沼　そうですね。一橋は東大と違って、科目別で成績が出るわけではないのですが、一応合格最低点よりは相当高い点数で受かっていました。(笑)

山下　おお、さすがだね！社会は世界史選択だったということですが、世界史はどうしてました？

沼　一橋の世界史はメッチャ難しいことで有名で、かつ社会学部は一番社会の配点が高いので、とりあえず、世界史の過去問を40年分くらいやりました。

寺本　40年もやったの？

沼　一橋の世界史は昔の過去問の焼き直しが出ることが多いんですよね。今回も大問3問中で、1問は35年ほど前昔の過去問の完全な焼き直しでした。(笑)

山下　へ〜、過去問演習の時の資料っていうのは何を使ってたの？

沼　まず問題文を頭に入れて、教科書をメチャクチャ読み込んでました。解答例を見るんですが、解答例も結構納得いかないことが多かったので、その時は教科書とか資料集を使ってよりブラッシュアップした解答を作って、それを覚えるようにしていました。だから教科書は3冊くらい持ってましたね。(笑)

山下　3冊も持ってたのか！(笑)

沼　ただ逆に一問一答とかは全くしたことなかったんですよね。山川とか東京書籍の教科書を3冊くらいつかって解答を作っているうちに、早稲田とか慶應も普通に受かったので…国立の世界史に関しては、予備校がつくっている解答をそのまま覚えるのはちょっとどうなんでしょうね。「俺ならこういう風に書くのにな」っていう要素が抜けてることが多かったので…

山下　国語でも、東大や一橋のレベルになると赤本青本が出してる解答を批判的に検討することが相当重要になってくるもんね。では今度は寺本さんにも聞いてみましょうか。成増塾で勉強して成績伸びた？

寺本　私は沼君の1/100もしてないので、言うのが恥ずかしいんですけど…

山下　さすがに1/10はやってるよ。(笑)

寺本　いやほんとに！結局単語もイディオムも一冊ちゃんとは終わらせられなかったんですよ。

山下　すごいね！私大文系の受験生でそれは珍しいね(笑)

沼　俺は鉄壁12周くらいしたくらいだよ。(笑)逆にそれで受かるなら効率がいいんじゃない。(笑)

寺本　違うんです！私は性格的に自分がやってて楽しい勉強しかできなかったんです。とにかく慶應に絶対行きたかったので、慶應合格に必要なもの与えられたらそれをやりますっていうスタイルでした。たとえば日本史とかも寺越先生に作ってもらったプリントだけをひたすら反復して覚えたいたので。ひたすら慶應に特化して対策をしていました。単語と

かは現役の時に一応シス単を回していたので、文章を読んで、分からないのを覚えるというスタイルでした。

山下　現役の時にシス単を回してたなら、その方向性もあるよね。ところで国語はどう勉強してたの？成績は上がりました？

寺本　すごく言いにくいんですけど、慶應に行きたすぎて…

山下　慶應だと小論文で、国語はないもんね。（笑）

寺本　先生の授業は楽しいし、授業をおろそかにするってことはなかったんですけど、小論文的なつながりがない科目は…

山下　あれ？でも現代文は繋がらない？

寺本　現代文はたしかにつながりますし、授業の予習復習はしっかりしていました。ただ、過去問演習となると…（笑）

山下　そっか。（笑）じゃあ国語はあんまり上がらなかったかな？

寺本　いやそれがあがったんですよ！特に現役の時は古文漢文はほぼゼロに近い感じだったんですけど、大手予備校に通っていて、大手の解説って答えを知っていることが前提での解説だなっていう印象があったんですよね。解説を聞くと「あぁ」って思うんですけど、知らない状態でそれを導き出せるかというと、今の時点から考えるとかなり疑問がありました。だから、実行できないし、活用できなかったんだと思います。

沼　僕もそういう印象はある。

寺本　山下先生の解説は、**まず先生自身もまったく本文を読んでない状態を想定して、まず文章をどう読んだか、どこに注目して読んだか?という思考のプロセスから始まっていました。逆算じゃなくて、ほんとにゼロから解説してくれたので…**

山下　いや、そりゃそうじゃない？だって、入試の時の本文はみんな初めて読むわけだし。

寺本　先生は「読んだときはここに注目しました！設問とは全然関係なかったけど（笑）」みたいな感じで、**どう読んだかをごまかさずに全部再現してくれるので、ちゃんと活用できる一定のプロセスを提示してくれたので、はじめて自分の使えるやり方で現代文がわかりました。**

山下　寺本さんはそのやり方が真似しやすかったってことだよね。沼君それはあった？

沼　寺本さんの言うことはメッチャわかります。

山下　あっ、そうなんだ。それは受験生には好評だったんだね。

寺本　好評好評。マジで好評です！（笑）

山下　ただ僕からしたら予習で初見で解いた時の思考のプロセスを再現してるだけなんだけど。

寺本　先生はそのやり方がちゃんと一定なんですよ。問題文によって「あっなんかブレた」みたいなのが全くなくて。「これがあったらこうする」みたいなプロセスが根幹にあるからそれを、理解して使うだけで全然違いました。

沼　解答に蛍光ペンで根拠を引くじゃないですか。それを文章内からどう構築したか？との理由が明確なので、先生のプロセスはわかりやすかったですし、寺本さんがいうように真似もしやすかったですね。

寺本　論理的だった。

山下　じゃあ現代文はプロセスを重視して解くのが2人にとってよかったみたいだね。

寺本　**ほんとにそうです。解答をただ教えるんじゃなくて、「一緒に解いてくれる」、「答えを出すまでの先生の頭の中を再現してくれる」からそれがありがたかったです。**

山下　そっか～。お2人のご意見を参考にして今後に生かしていきます。今までの話は現代文だったけど古文漢文はどうだったの？

寺本　古文漢文は先生が作ってくれた文法のプリントがほんとによくて、私のお気に入りのプリントの1つでした.

山下　あのプリントは基本的だしね。（笑）

寺本　私の中で、「やってて調子が戻る勉強」っていうのを大事にしていました。各科目でお気に入りのプリントがあって、**古文漢文はあんまり好きじゃないんですけど、あのプリントさえ覚えていれば、問題を解**

いていても「あぁこの問題はここの文法を聞きたいんだな」っていうのが明確になるので、やっていて楽しかったですね。

山下　たしかに古文は文法が圧倒的に大切に基礎だからね。沼君はどうでした？

沼　僕も現役のときは私立文系である程度、国語はやっているつもりだったんですが、どうしても波がありました。古文漢文は早稲田やセンターで使える部分があってので、プリントを何周もして補っていました。

山下　なるほどね～。ちょっと話変わりますが、僕の方からも聞きたいことがあって、特に国立文系では、英語数学が勝負になります。演習の量として門脇先生や押川先生の補助プリントの量は膨大な量が出ると思うのですが、国語ももっと演習問題追加した方がよかったですか？

沼　僕は先生の授業で扱ったプリントを復習して十分、十二分でした。

寺本　ん～、先生の授業のプリントで十分じゃないかなあ。私は先生のプリントと、相談した上で決めたくれた課題をしっかりやるだけで特に問題はなかったように思います。

沼　先生の授業は現代文、古文、漢文がセットなので、結局その予習をしようと思うと週3くらいに分かれるんですよ。それと過去問演習してるだけで十分だと思います。国立はそこまで国語に時間を割くのは難しいですし。

山下　では国語の演習量はいい分量なんですかね。今後も慎重に検討していきたいと思います。逆に僕の授業で不十分なところとか、成増塾に対して「ここは改善した方がいいのかでは？」というところはありましたか？

寺本　先生の授業では、国立文系と私大文系が一緒だったので、特に直前期は国立やりたくないな～っていうのはありました。

沼　僕もそれはわかります。

山下　そうですよね。みなさんのときは僕が高卒を担当して1年目だったので、受講人数が読めない部分もあって国立と私大が一緒でした。その点に関してはご不便をかけて申し訳ないと思います。本年度から国立と私大でわけました。最後になりますが成増塾で1年勉強してどのような印象を持ちました？

寺本　私は沼君のような自分のペースでがっつりやりたい人も自分のやり方でできるし、私みたいな「やり方を教えてほしい!」っていう人も、大手より歩み寄りやすかったです。放任主義でほったらかしなわけでもないし、逆に「絶対こうしなさい」という枠も与えないけど、こっちが歩み寄れば、「一緒にどういう勉強が一番いいか？」っていうのをしっかり相談して決められることに安心感がありました。私たち2人が全然違ったタイプなのに、結果を出せたのはそういう要素があったのかな？と思います。

山下　そうだね。僕も今年は大手予備校に出向して授業してるけど、たとえば、1クラスに100人近くいる場合は、僕らも生徒の実力の把握は無理なんだよね。だから、生徒が勉強の相談に来た場合は僕は「他の科目のすべての成績と、1週間にさける勉強時間を紙に書いて持ってきて」っていったあとに、その紙をみてから指導してるんだけど、大手でそういう風な指導をしている人はまず見ないね。みんな自分の科目だけの観点でアドバイスしているけど、僕はそれが信じられない。なぜなら、受験は1科目だけで決まるわけではないから、全体の科目のバランスを見て判断するのが当たり前なんだけど、なぜかみんなあまりそういった指導はやらないんだよね。

寺本　私が本当に感動したのは、山下先生も、英語の甲斐先生も、日本史の寺越先生も授業時間外のサポートが本当にすごかったことです。

山下　そう？僕そんなにサポートしたっけ？（笑）

寺本　たとえば日本史だと、私がちょっと勉強から引いてても寺越先生が「絶対受からせたい」っていう思いが伝わってきて、直前期は毎日メールで私の弱点を明らかにしたうえで、「今日の課題はこれです」っていう形で慶應に必要な課題を毎日送ってくれました。最後の方は私が焦って迷走して何をやっていいかわからなくなったんですが、そのつらい時期も寺越先生の

▲寺越 慎介講師

▲甲斐 英雄講師

サポートのおかげで日本史の勉強の方向性を見失わずにすみました。甲斐先生も出勤日じゃないのに、添削を見るためだけに塾に来てくれたりして、それに本当に感動しました。

沼　僕も過去問をわざわざ僕のために解いて解答を作ってくれて、一緒に照らし合わせるっていう作業を10年分くらいしてくれたのはありがたかったです。**もちろん、僕も出来る限り自分で過去問を演習していたんですが、国語の時は赤本や青本の解答を見ても、どうしても自分ではうまく理解できない場所が出てきます。世界史なら自力で対応できても、国語は対応が難しかったので、そんなときに僕が解けない難しい問題をピックアップして10年分ほど一緒に演習していただいたのはありがたかったです。**特に直前期はどうしても不安になるのでそういったサポートを受けられたのが心強かったです。

山下　そうだったっけな～。あんまり自分がしたことは覚えてないんだけど。(笑)

沼　特に僕は先生のメンタル的な部分での教えがかなり支えになりました。僕は先生の「自分自身の現状の成績については、すべての原因は自分にあるから受験生自身がそれを分析しなければならない」みたいな考えが好きでした。「勉強ができないことを教材やほかの先生のせいにしてる限りは成績が上がらない」っていう考えは僕にとって勉強の方向性を考える上でとても役に立った考え方でした。

寺本　たしかに先生は「スランプっていう言葉に逃げる受験生は見込みがない」って言ってましたね！勉強の結果が出ないことには必ず原因があって、それを分析することが成績向上の一歩なのに、その分析をせずに「スランプ」っていう言葉に逃げるのはよくないって言ってましたよ。

山下　だってみんなも世界史30点の受験生見て「スランプだ～」とか言ってたら「いやいや覚えるべきこと覚えてないだけじゃん」って思うでしょ？それと一緒だよ。(笑)

沼　でも僕は先生が言うような認識に立てたからこそ、さっき言ったみたいな穴を完全になくす勉強ができたので、僕にはありがたかったですね。

寺本　私もセンター失敗してめっちゃ焦っていた時に、先生から「うまくいっているときの勉強法と、上手くいっていない勉強法を思い出してみよう」って言われて、先生と一緒に「調子のよかった勉強法とか、やってて楽しくなる勉強法」を思い出すことができました。最後の直前期にはやってて楽しくなる勉強を中心に組み立てることができたので、調子を取り戻すことができんだと思います。

山下　「その行為をしてやってて楽しいかどうか？」っていうのは僕の人生の基準に近いんですよね。つまらないことは基本的に成果が上がらないんですよ。みんなもまだ大学１年生だけど、3年、4年になってなにかサークルやゼミで役職を持ったり、実際に仕事をしてみたときに、「やりたくないけど周りの目があるんだよな～」っていう形で、無理やりつまらない仕事をやっていると精神的につらくなってしまうんですよね。基本的に自分がやっていて「つまらないな～」と感じている仕事では、周りを楽しくさせることは難しいです。そうすると「自分を犠牲にしてみんなのためにやっているようでも、かえってみんなのためにならない」っていうあまり好ましくない状況が発生してしまいます。ですからみなさんが今後仕事を選ぶ際にも「自分がやっていて楽しい！」って思う仕事をした方が、結果として周りの人をより楽しくさせることができるんじゃないかと思います。少なくとも僕はそうやって仕事を選択してます。

では本日はお忙しいところ集まっていただいてありがとうございました！

【座談会】
プロフェッショナル講師陣が熱く語る、成増塾 高卒部の指導方針と理念。

各科目の授業を担当する成増塾 高卒部のトップ講師陣が一同に集結しました。長年培った経験と実績に基づいた、自信と信念の指導方針や理念を熱く語り合いました!

[司会・進行役:高島塾長]

高島　講師の皆さん、今日はお忙しい中をお集まりいただき、どうもありがとうございます。今日は、皆さんが成増塾高卒部で授業を行うにあたり日ごろ心がけていることなどをお話しいただきたいと思います。

英語科の指導方針

高島　最初に英語講師の3人にお話しを伺いましょう。まず、国立大英語を担当している門脇講師に伺います。門脇講師、ほかの塾や予備校に比べ、ここだけは負けないぞ、という点があれば教えてください。

門脇 渉講師の東大・国立大英語
不断の入試問題研究に裏打ちされた、指導への絶対的な自信。表面的な理解だけでは入試問題には太刀打ちできない。

門脇　ここだけは負けないぞ、という点ですか？う～ん、(自信たっぷりに)全てですね！(一同爆笑)

高島　そう答えると思ってました。(笑)そこを詳しく説明してください。

門脇　まず確認しておきたいのは、予備校の講師の中で「暗記重視」なんて言っているひとは100人中1人もいないということです。100人英語の講師がいれば、100人とも理解重視、と言っているはずです。理解を重視することに関しては大手予備校も成増塾でも同じです。では大手予備校と成増塾で圧倒的に差がつくのどこか。それは、理解の先にある「実践」の部分です。大事なことは、理解だけに終わらず「実践」の部分がきちんと授業の中に一体化されているということです。大教室で授業が行われている大手予備校では「理論的な説明はこれで終わり。みんな、理解できたよね！」といって終わってしまいます。けれども、それだけでは生徒は問題を解けない。なぜかというと、そういう授業では生徒は表現の機会、言い換えるならば実践の機会を全く与えられてないからなんです。実際に表現をしないから、表現したことに対するダメ出しをだれから受けることもない。僕が思うに「理解」と「実践」というのは一種の往復運動でなければならない。理解したら表現という実践をしてみる、それに対して、ダメ出しされることでそれをさらに良いものにしていくという往復運動なんです。これが大手予備校の場合、ただ理解を深めるという一方通行の動きだけで、往復運動になっていないんです。その点で大手予備校と成増塾の授業では格段の差がつくわけです。僕が成増塾で15年間指導をしていてずっと意識しているのはまさにその部分なんです。実際に表現することの重要性です。理解したものを自分で表現し血肉化していく。本当はみんなそんなことはわかっているんだけど、大手予備校では実践の部分が全然できていないんです。これは

門脇 渉 講師

成増塾のような少人数の塾でしかできないことだから。大手予備校のような大人数では元々物理的に無理なんです。僕は高卒部ではつねにそのことを意識しています。

成増塾 高卒部の各科目の授業は、選りすぐりのトッププロ講師陣が担当します。
当日は、多忙なスケジュールの合間をぬって一同が座談会の席に着きました。

高島　なるほど。門脇講師の授業に対しては東大や医学部の合格者たちが口々に「試験本番まで添削指導をしていただいた。」などの賞賛の声を寄せています。それは門脇講師の「理解だけではダメで、実践、つまり表現をしないと身につかない。」という信念に基づくものなんですね。

門脇　その通りです。成増塾の講師陣は皆がそうですが、僕は正規の授業が１月に終わった後も、ボランティアで２月の本番前に、朝から晩まで校舎に通い、添削指導をし続けています。これは、生徒と僕の間の信頼関係、そして、僕が絶対に彼らを受からせるという信念と執念を持っているからこそできることなんです。

高島　信頼関係、信念、そして執念ですか！いつもクールな門脇講師にしては珍しい精神論的な言葉ですが、門脇講師の入試直前の凄まじいまでの指導ぶりをみていると腑に落ちますね。では次に甲斐講師、お願いします。甲斐講師の授業はいつも楽しい雰囲気で勉強していることが伝わってくるのですが何か心がけていることはあるのですか？

甲斐英雄講師の早慶上智英語
英語は論理的、構造的な言語。思考の順番を明示することで生徒は自分で英文を読めるようになる。

甲斐　そうですね、僕は、英語は論理的で、構造的でシステマチックな言語だと思っています。多くの先生は文法を単元別に教えていくと思います。ただ、受験生が正確に読めないような、複雑な構造をした英文は、実際にはいろいろな単元が絡み合っていることが多い。それで生徒はその英文がそもそもどの単元の問題なのかがわからなくなるんです。そこで僕が単元よりもっと大事にしているのは思考の順番ということです。最初に何に着目し、次に何に着目するかを教える。そうすると必然的に単元が見えてくる。そして単元が見えてきたら先ほど門脇講師もおっしゃってた通りアウトプット、つまり徹底的に演習をさせることになる。でも演習させる前に必ず、正しく理解して、ある文がどういう単元の問題か、自分で構造を見抜ける力をつけてあげること。それが僕は一番大事だと思います。

甲斐英雄 講師

高島　なるほど。しっかりと自分で分析できる力をつけてから、量をこなしていくということですね。次に、同じく早慶上智英語、私大医学部英語を担当している中島講師、よろしくお願いします。

中島ひろや講師の早慶上智、私大医学部英語
基礎が確立した後は大手予備校の3倍以上の長文問題で英語を圧倒的な得意科目にする。24時間メールで講師に直接質問することもできる。

中島　はい、私が常に心がけていることは、まずは門脇講師、甲斐講師もおっしゃっている通り、演習量を十分に確保するということです。特に、早慶上智などといった難関私大に関してはかなりの量の英文を、速く正確に読むことが求められます。私が常々大手予備校に対し疑問に思っていることは、大手予備校はあまりに文法に重きを置きすぎていて、長文対策が薄いのではないかということです。早慶上智などの最難関を受験する上では、精読、つまり1文であれば正確に読めるというのは当たり前の話で、その先の、いかに長文を読みこなし、設問に答えていくかというところで合否は分かれてきます。そこで、私の授業では、まずは単語や文法、精読などは個別対応で生徒ごとに抜けがないよう盤石な状況をつくります。そのうえで、大手予備校の3倍以上の量の長文問題を解かせ、学力を向上させるということを1年間かけてやっています。また、メールを通じて、24時間いつでも直接講師に質問できる環境を整えていますし、毎週、個別面談を行います。さらに、成増塾の他の講師もそうだと思いますが、塾の正規の受講期間後であっても受験が終わる最後の最後まで徹底的にサポートすることは当然ボランティアでやっています。これらは大きな教室で、一方通行の授業が行われる大手予備校では物理的に実現できないことです。

中島ひろや 講師

高島　中島講師は授業では大手予備校の3倍以上の英文を読ませるのですね。やはり、早慶上智ともなると、基礎がしっかりできた後はどのくらいの英文を読んだかということで勝負が決まってしまうと思います。

数学科の指導方針

高島　では次に数学に関してお話を伺います。まず、数ⅠAⅡBの標準クラス、発展クラスを担当している押川講師に伺います。押川講師のクラスでは、数学はかなり量をやらせると聞いています。

押川定夏央講師の数学IAⅡB【標準・発展クラス】
ロスタイムを出さないことで大手予備校の3倍以上の問題を解かせることができる。大事なことは問題に対する明確なイメージを生徒自身がつかむこと。

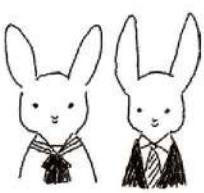
押川　そうですね。課題の量がそもそも多いですね。1回で20題は最低でも扱います。授業のテキストとその類題、さらに標準クラスだと次の週に復習問題もやります。授業の最初にテストもやらせます。それでかなりの量になります。

高島　20題ということは、大手予備校の3倍以上もですか！ どうすればそんなに多くの量がこなせるのですか？

押川　僕の授業では重要な個所以外板書をしないので、板書にかかる時間のロスがないんです。それで20題位を解くことが可能になります。基本的に解答・解説は生徒に配り、要点を整理していきます。それは生徒に問題の全体像というかイメージをしっかりとつかんでほしいと思っているからです。生徒は、最初はすごく頭が疲れるというんですが3～4週で段々慣れてきて、解いているときにも自然とそのスピードで考えられるようになっていきます。

押川 定夏央 講師

高島　なるほど、そういうやり方をするので20題も問題が解けるんですね。納得です。基礎クラスを担当している安田講師のクラスもかなりの量を解かせると聞いています。



安田成来講師の数学【基礎クラス】
圧倒的な演習量で基礎を徹底的に叩き込む。だから数学が不得意な生徒でも最後にはトップレベルの学力まで到達できる。

安田成来 講師

安田　そうですね、僕の授業でも量は半端ないです。ただ、標準クラスと比べると、授業では難しい問題はほとんど扱わず、根幹になる内容を徹底的に頭に入れてもらうことを心がけています。僕も解説はプリントにして配っているので、板書にあてる時間は全くなく、板書をする時間があったら生徒にどんどん問題を解かせています。問題を解かせては解説、問題を解かせては解説、という感じでたくさんの問題を解かせていきます。

高島　数Ⅲの標準、発展クラスを担当している高橋講師はどんな感じですか？

高橋直人講師の数学Ⅲ【発展クラス】
数学の本質的な部分を理解してもらうことを重視する。難問にも粘り強く取り組める思考力を育てる。

高橋　僕は少し違っていて、量は押川講師、安田講師ほど多くありません。それでも1週間で10問くらいは出しています。僕の授業では板書はするのですが、大事な問題の場合は追加問題も生徒に解かせます。また、時には基礎を定着させるために公式の本質的な部分から考えさせるようなこともしています。

高島　なるほど、量が多くないといっても、大手予備校と比べるとかなりの量を解かせるのですね。数学の本質を理解させることで粘り強い思考力が身につくんですね。よくわかりました。

高橋直人 講師

理科の指導方針

高島　では、次に理科について聞いてみましょう。押川講師、物理はどうでしょうか。数学と比べて教え方に違いはありますか？

押川定夏央講師の物理
物理は現象のイメージをつかめれば簡単な科目。現象のイメージをつかむことは独学では難しいので授業での対話が不可欠。

押川　そうですね、物理の場合、式を作ろうとしても、まずは何の現象かわからないと始めることができないという問題があります。その点、数学のほうが、分野はつかみやすいですね。物理では、ある現象のイメージを理解させるところから始まります。力学はいいのですが、ほかの分野だと目に見えないものになるので、イメージをつかんでもらうために日常の身の回りにあることを使って説明していくこともあります。なので、式をガンガン押していくというよりは生徒にしっかりとイメージをつかんでもらうことを大切にしています。

数学と違うのは、物理の場合も式を連立して解いていくことはあるのですが、連立の仕方というよりも物理にはある程度、流れがあるので、その流れをつかむことが大切だということです。例えば、ひもによってつながっている二物体があるんだったらひもを介した関係式を立てて解けば答えはでるはずで、つながりがあるから解き方も決まってくる、といった面が物理にはあるんです。その意味で僕がよく生徒に言っているのは、物理はある意味で簡単だ、ということです。

高島　以前、押川講師から、物理は本を読むなど独学だけでは身につかず、わかっている人からイメージを伝えてもらうことが大切だというお話を聞きました。

押川　その通りです。僕の授業ではある現象を理解してもらうために一つの説明だけではなく、いろいろな言葉で、いろいろな角度から説明してイメージをつかんでもらいます。そして、そのような作業は生

徒が独学で、本を読んだり映像授業を見たりという一方通行ではできないものです。そこで授業の中で対話することが大切になります。つまり、相手がどこまで理解しているかがわからないと、こちらも次の説明が出せないので対話の形で授業を進めていくことが不可欠になるんです。

高島　なるほど、数学と物理、それぞれの科目の特性に合わせ、教え方も工夫しているのですね。では、次に化学の森本講師にお話しを伺いましょう。
以前、森本講師にお話しを聞いたときに、ただ問題集を解くだけではなかなか化学の入試問題は解けるようにならないとおっしゃっていました。化学の問題が解けるようになるためにはどんな勉強をする必要があるのでしょうか？

森本恭彰講師の化学
化学は何となく公式を当てはめるという勉強では成績はいつになっても上がらない。本質を理解し、公式の意味することが分かることが大切。

森本　基本的に生徒が問題を解けないというのは、先ほどの物理の話と一緒なんです。現象が何なのかよくわかっていないのに、ただ何となく公式を当てはめて解いてみた、という場合が多いのです。そういう勉強をいくらやっていても化学を得意にすることはできません。そこで、僕の授業では、対象となっている現象をしっかりと理解してもらうことを重視します。次に、なぜある式を使うのかをしっかり理解してもらいます。僕がみていて成績を伸ばすことができない生徒に一番多いのは、わけもわからず反応式を覚えようとしているタイプです。そういう生徒は「この反応式は覚えたほうがいいのでしょうか。」という質問をしに来ます。僕の授業に出てしっかり理解している生徒なら自分で式を作れるはずなんですが、自分で問題集をやって、ただ反応式を暗記してきた生徒は応用が利かないわけです。なので前期ではまず本質的なことをしっかり理解させることを重視しています。

森本恭彰 講師

高島　森本講師の授業では生徒に用語の意味を確認することから始めるとおっしゃっていましたが、それはどういう意図からなのでしょう？

森本　そうですね、それは僕が生徒をあまり信用していないということが理由の一つです。成績が上がらない生徒は、同じような問題集を使って勉強していますが、みな同じようなところが理解できていません。そこで、僕は、みんなが理解できていないその共通の部分を徹底的に理解してもらうことから始めているのです。

高島　ありがとうございました。では、次に生物の中嶋講師にお話を伺いたいと思います。

中嶋 寛講師の生物
生物学的なものの見方ができないと問題は解けない。生物学的な思考方法を身につけたうえで良問をたくさん解くことが大切。

中嶋　今、物理や化学の話を聞いていて、生物と同じような点が問題になっているのだな、と感じました。つまり、きちんと生物的なものの見方を身に着けず、問題集ばかり解いていても、絶対、生物の力は身につかない、ということです。
センター試験でもそうなんですが、生物学的なものの見方ができていない生徒は、自分勝手に考えて答えを考えてしまう。これは、自由な考え方、と考えることもできそうですが、生物には生物という科目特有の考え方があり、それを身につけないと問題を解くことはできないのです。きちんと現象を理解することはもちろん大事で、物理、化学と同じなのだな、と今お話を聞いていて思いました。

中嶋 寛 講師

高島　私が受験生の時は生物というと、動物や植物の器官の名称を覚えたりすればなんとか乗り切れる

科目というイメージが強かったのですが、今の生物の問題では初見のデータやグラフをもとに論理的に考えさせる考察問題が主流となっています。そのような問題に強くなるにはどうすればよいのでしょうか？

中嶋　考察問題に強くなるには考察問題の良問をたくさん解く必要があるのですが、ただ、生物学的なものの見方に立って考えないとずれてしまいます。

国語科の指導方針

高島　では、次は国語に行きたいと思います。最初に、門脇講師にお願いします。門脇講師は東大国語を担当されますが少しコメントをお願いします。

門脇 渉講師の東大国語
出題者の意図を見抜いて解答しない限り合格点はもらえない。問題の裏に隠された出題者の真意まで解説する。

門脇　東大国語は出題者の意図をいかに読み取るかということに尽きるんです。実際に東大の教員とたくさん接してきたので教員の思考のクセが僕にはわかるのですが、それを見抜けていない講師が受験の世界には多すぎるんです。それは市販の教材を見ていてもわかります。受験生が市販の教材を見ていて口々に言うのは「なんで教材によってこんなに解答が割れるんだよ」ということです。結局のところ、それはそれらの教材を書いているひとたちが出題者の意図を読み切れていないからなんです。まあ、それはできないですよ。そういう人たちはわかっていないんですから。

高島　なるほど、門脇講師は、出題者の意図を読み切れるから東大国語の問題も自信をもって教えられるということですね。

門脇　まあ、そういうことです。

高島　では、次に国立大と早慶上智国語を担当する山下講師にお話を伺います。

山下翔平講師の国立大・早慶上智国語
最小限の努力で最大限の成果を生み出す授業。国語の成績上昇は読解力と解答構築力を伸ばすことがカギ。

山下　そうですね、まず、国語は英語や数学と比べると高得点を取りにくい科目であるということから話を始めましょう。例えば、東大の問題で英語は120点中100点を超えるということはそれほど珍しいわけではありません。それに対して国語ではせいぜい120点中、85点までだといわれます。80点を超すのはかなり難しいとされています。これは採点が非常に厳しく行われるせいだといわれています。ですので国語に関しては英語や数学の勉強の邪魔をしないように最小限の時間で、ある程度の点数を取れるような力をつけることが、科目間のバランスを考えると重要になります。そこで僕は課題を出すにしてもあまりたくさん出すのではなく、3時間の授業で集中して国語の成績を上げていこうというのが基本方針になっています。国語は現代文、古文、漢文と全部違いますが、現代文に関しては生徒がつまずくところは2つあると思います。まず、一つ目は難しい本文を理解する読解力です。次に読み取った情報をもとにどのように解答を作るかという解答構築力です。読解力に関しては人によって、どのくらい本を読んだかとか、普段どのくらいものを考えているかによって大きく違ってきます。早慶の場合は特に抽象度が高い問題が出ますので、最初から課題として解かせるのは難しいので、僕の授業では生徒に問題を解かせて、難しい箇所は生徒に質問しながら、わかりやすい言葉で言い直すなどして理解させていくといったことをしています。記述問題の解答の作成に関しては、特に国立大の問題でいえることですが、生徒は解答作成をするための情報の整理ができないということ

山下翔平 講師

が多いです。説明問題は結局、言い換えの問題か、因果関係の問題か、要約的な問題なのか、ということで整理ができます。それらに関して思考のプロセスを生徒に詳細に示すことで解答作成能力を身に着けてもらいます。

高島　山下講師に一つお聞きしたいことがあります。私は、たまにセンターの現代文を読んで解いてみるのですがあれって難しいですよね。

山下　えっ、センターの現代文がですか？僕に言わせれば、センターの現代文が難しいというのでは、全くダメですね。（一同爆笑）

センターの現代文は解答がすごく明確なんです。僕が生徒によく言うのは、選択肢を２つにしぼれる、というくらいで「惜しい！」と考える程度では話にならない、ということです。その程度では、本文を正確に読めていないか、選択肢が分析できていないか、どちらかに問題があるのです。

高島　なるほど、山下講師の授業に出れば、センターの現代文は解答が明確にわかるようになるのですね。

山下　それは自信を持って言えます。

社会科の指導方針

高島　最後は社会科です。世界史を担当している落合講師に話を伺いましょう。

落合真也講師の世界史

歴史は人間の営為の蓄積。ある出来事には必ずその原因がある。常に原因をたどることで細かい知識を体系化するベースを作ることが大事。

落合　歴史科目は日本史でも世界史でもいえることですが、歴史というのは人間の行為の営みの流れなので、ある戦争がなぜ起こったのか、ある政権がある政策をとったのはなぜなのかということには必ず理由があるはずなんです。その理由、つまり因果関係をベースにすれば様々な細かい情報を体系的に整理していくことができるのですが、受験生の中にはそのようなベースが抜けているひとがかなり多いんです。そのようなベースがないのに情報をたくさん詰め込もうとしても情報は孤立してしまい、結局身につきません。そういう人は一つの角度から情報を身につけているだけなので、ちょっと視点を変えて聞かれるとすぐ答えられなくなってしまいます。ですから私の授業では一つの歴史的な事実を様々な視点から捉えることで歴史を複合的な視点で考えることができるようなベースづくりをまず行います。そして、私が常に心掛けているのは歴史をマクロの視点とミクロの視点でとらえることです。まず大まかにマクロの視点で歴史を捉えることで、ある時代のイメージを生徒が頭に描けるようにします。それから、さらにミクロの視点で細かく見ていきます。最後にまた、マクロの視点に戻って説明することで体系化し、生徒に全体を完全に理解させることができるのです。

落合真也 講師

そのあとに実際に入試問題ではどのように聞かれているのかを演習問題をたくさん解かせることで理解してもらいます。

高島　東大、一橋のような国立大学で出題される論述式と早稲田慶応等で出題される細かい知識問題ではどのようにして対応策を区別していますか？

落合　ベースの部分を固めるということは国立も私立も同じなので、それができる秋口までは共通の授業をします。そのベースができたら国立志望の生徒には論述問題を解かせ何度も添削指導をします。早慶などの私立志望の生徒にはさらに細かい知識を補充していきます。

高島　なるほど。細かい知識を身につけるにも、まずしっかりした知識のベースを作ることが大切なんですね。では最後に、日本史を担当している寺越講師に伺います。高卒部で授業をするにあたって心がけていることをお話しください。

寺越慎介講師の日本史
教科書の記述をわかりやすい言葉で言い換える。
これは、独学ではできない作業。

寺越　高卒部でも高校部でもそうなんですが、難しい教科書的な言葉で伝えないということですね。教科書に書かれてある言葉は難しいですが、受験生がそれを読み解いて消化していけるのであれば、そもそも予備校の授業はいらないわけで、結局、受験生はそれが出来ないんです。毎年、日本史だから一人で勉強出来ると思って実際に独学で勉強する受験生は多いんですが、一人では教科書を読み解いていく勉強が出来ないため、最上位校になるとまず合格レベルに至っていません。だからこそ、僕は受験生にとって解凍レンジのような役割を果たしたいと思っています。教科書の文言は解凍前の冷凍食品のようなものですから、こちらで食べやすいように解凍してあげるということです。そうやって分かり易く伝えることは実は簡単なようで決して簡単ではなく、言葉を練りに練っていくことが必要なんですが、そのための時間は惜しまないように心がけています。同じ演習教材でも、こちらが1時間しかかけずに編集したものだと、生徒は消化するのに1時間かかります。ところが、同じ分量でもこちらが4時間かけて練りに練って編集したものであれば、生徒は15分であっさり消化してくれます。

それと、落合講師もおっしゃった通りで、「木を見せて森を見せる」ということに気を付けています。受験生は細部（木）ばかり見る傾向がありますが、それではその知識が全体（森）どこに位置する事項なのかが捉えられていないため、いざ入試問題を解く際にはその知識を引っ張ってこれず解答出来ないということになってしまいます。必ず歴史には流れや構成があるので、その全体を提示しながら細部を提示するということを常に心がけています。

あとは、生徒は、授業を受けるだけでは駄目ということですね。演習を反復しないと、本番で解く力をつきません。そこで生徒の志望大学に合わせて演習プリントを配布し十分な演習を行わせています。

高島　ほかの塾や予備校に比べ、ここだけは負けないぞ、という点があれば教えてください。

寺越　こちらの情報を惜しみなく出せる点が成増塾のメリットだと思います。大手予備校だと授業時間内に伝えられる情報には限りがあってプリントの配布にも制限がありますが、成増塾では授業で伝えることを核としてその周辺を埋めるための補助教材や演習教材を惜しみなく渡すことが出来ます。大手ではいくら講師に情報量・持ち駒が多くても、それを伝える技術みたいなものが重視されていて、それは大事な要素だとは思いますが、生徒の側からしてみるとそれだけで合格力が付くかというと、それでは足りないのです。成増塾であれば、合格のために必要な情報は必要なタイミングですべて出していけています。

高島　なるほど、授業内容や指導方法の決定を講師の方々に一任している成増塾だからこそ、自分が持っている情報を惜しげもなく生徒に与えることができるわけですね。東大、一橋のような国立大学で出題される論述式と早稲田慶応等で出題される細かい知識問題ではどのようにして対応策を区別しているのでしょうか？

寺越　核となる部分はどちらも同じです。従って授業を分けてはいません。問題形式が国立大であれば論述形式、早慶上智といった難関私大であれば正誤・用語問題が中心になるので、output教材として授業後に取り組んでもらう教材を基礎用までは同じで、そこから先は、別々のものを配布するようにしています。国立大は論述対策のプリントの配布や補講、私大上位は直前期になりますが難問対策用のプリントの配布や補講という形をとっています。

寺越慎介 講師

高島　みなさんの今までのお話を伺っていて、成増塾高卒部では、成増塾が理念としている考え方、つまり「難関大学の入試問題に対応できるよう、一人一人の生徒に向き合って指導していく。」ということが徹底的に実践されていることを改めて知ることができました。今日はお忙しい中を本当にありがとうございました。

成増塾 高卒部のコース別指導方針。

【志望校別に4つのコースを設定、徹底指導を行ないます。】

成増塾 高卒部は、2015年～2020年の6年間で前述の通り驚異的な合格実績を挙げてきました。
この経験を生かし、本年度は更に皆さまにより専門的、より効率的な指導をさせていただくために
下記のコースを設定致しました。

目指す志望校で4コースを選択

A 国立大コース
【クラス定員16名程度】

東大、京大、東工大、
一橋大、国立大学医学部を
目指す高卒生のためのコースです。

B 早慶上智コース
【クラス定員16名程度】

早慶上智等、トップレベルの
難関私立大学を
目指す高卒生のためのコースです。

C D 私大医学部コース
【クラス定員16名程度】
または【完全個別指導】

私大医学部を
目指す高卒生のための
超少人数&完全個別指導コースです。

医学部プライムコース
【クラス定員6名の
ホームルームクラス制】

こちらのコースの詳細は、
成増塾にお問い合わせください。

講座選択のモデルケースのご案内

東大理系	東大英語、発展数学、発展物理、発展化学
東大文系	東大英語、東大国語、発展数学、世界史
早慶理系	早慶上智英語、発展数学、発展物理、発展化学
早慶上智文系	早慶上智英語、早慶上智国語、日本史
私大医学部	私大医学部英語、発展数学、発展化学、生物

最高水準のプロフェッショナル講師陣が責任を持って1年間皆様を指導致します。

各講師の担当コース Ⓐ 国立大コース Ⓑ 早慶上智コース Ⓒ 私大医学部コース Ⓓ 私大医学部【完全個別指導】

成増塾 高卒部 部長
英語科 主任講師
門脇 渉
Ⓐ

英語科
甲斐 英雄
Ⓑ

英語科
中島 ひろや
Ⓑ Ⓒ

英語科
竹内 啓介
Ⓓ

成増塾 高卒部 副部長
数学・物理科 主任講師
押川 定夏央
Ⓐ Ⓑ Ⓒ

数学科
高橋 直人
Ⓐ Ⓑ Ⓒ

数学科
安田 成来
Ⓐ Ⓑ Ⓒ

数学科
張ヶ谷 守晃
Ⓓ

国語科 主任講師
門脇 渉
Ⓐ

国語科
山下 翔平
Ⓐ Ⓑ

化学
森本 恭彰
Ⓐ Ⓑ Ⓒ

生物
中嶋 寛
Ⓐ Ⓑ Ⓒ

世界史
落合 真也
Ⓐ Ⓑ

日本史
寺越 慎介
Ⓐ Ⓑ

講師紹介

塾長がズバリ、講師の特色をホンネで語ります!

成増塾 高卒部の講師はそれぞれ独自の指導スタイルを持っており、
成増塾 高卒部で受講を考えている生徒は、実際に体験授業を受けた上で講座を決めることになります。
ここで、どの講師がどんな授業をするかについて、ズバリ、本音で紹介させていただきたいと思います。

英語科

門脇 渉

「東大英語」に絶対の信頼感。

【クラス定員 16 名程度】

門脇渉講師は東大大学院で社会学を研究する学者でもあり大学でも教鞭をとっています。門脇講師の授業はアカデミックでありながら楽しく、いつも笑いが絶えません。

塾長から見た門脇講師。

英語科で最初に紹介するのは門脇渉講師です。この人の講座の特色を一言で言うなら「東大に合格したいならば絶対とるべき講座」ということになります。この人は本当にすごい。入試英語を極めています。特に東大英語の分析にかけては受験界でも最高ランクにいると思います。東大受験をお考えの方は少なくとも、体験授業だけでも受けて頂きたいです。絶対にみなさんの期待を裏切らないと思います。

門脇講師は強烈な個性(カリスマ性?)で生徒をグングン引っ張って行くタイプの講師です。そのカリスマ性は並々ならぬ入試情報の収集、分析、それに裏打ちされた圧倒的な自信から発せられるものです。

彼の入試情報の収集は本当に半端ではなく「受験指導オタク」とも言えるほどです。ちなみに「オタク」といっても彼はいい意味での「オタク」です。性格はかなり明るく、この人がいるだけでその場がぱっと明るくなります。明るすぎてたまにうるさいと感じることもありますが(笑)。この人のクラスは緊張感がありながらも笑いが絶えず、生徒はみんな仲が良い。授業が終わったあとも質問や相談などをする生徒が多く、なかなか帰ろうとしません。さらに成増塾を卒業したあとになっても卒業生たちは門脇講師を囲んで親睦会などをやっています。

質問に答える門脇講師。門脇講師は英語だけでなく、すべての科目の受験勉強の方法に精通し、各科目の勉強計画や志望大学の選択、出題傾向などについて適切なアドバイスを与えてくれます。

彼の入試情報収集における「受験指導オタク」ぶりを少しだけ紹介しましょう。彼は、駿台、Z会、鉄緑、平岡、あらゆる教材や入試情報をつぶさに集めて徹底的に分析し、既存の予備校や塾を完全に凌駕する教材を開発しています。そのカリキュラムと教材の完成度の高さ、緻密さは体験授業を受けていただければ納得していただけるかと思います。

ダンボール箱でうず高く積まれた門脇講師の入試情報。これはほんの一部に過ぎません。門脇講師は駿台、鉄緑、Z会、等、あらゆる教材や模試を集めています。門脇講師はこれらを徹底的に分析し、これらを凌駕する教材を作成しているのです。

さらに、教材がすごいだけでなく本当に親身になって指導してくれます。入試直前には英作文の指導をマン・ツー・マンで行ったり、東大向けの特設講義をボランティアで行ったり「ここまでやるか?」というくらい、受験指導に情熱を注いでいます。また、指導するのは英語だけではありません。すべての科目に関して、生徒一人ひとりのカリキュラムを作成し、スケジュールまで管理してくれます。門脇クラスを受講し、東大、国立大医学部に合格した先輩方は口々に「門脇についていけば間違いない」と絶賛しています。

門脇講師の授業をとるべき生徒はズバリ「東大受験を志すやる気に満ちた生徒」です。反対に、向いていない生徒は「基礎力が弱く、英語を苦手としている生徒」です。門脇講師は、授業をする際、クラスの中でも最高レベルの生徒に合わせて行うため、基礎力がないとついていくのがかなり苦しくなります。もっとも、基礎力がなくても、必死で食らいついていく根性があれば、絶対に英語は得意科目になると思いますが…。

門脇講師の講座案内①

【講座名】東大英語

【概　要】

東大合格を目指すクラスです。他の指導機関ではありえない、盤石の東大対策を施します。東大英語の最たる特徴は、要旨要約、文整序、自由英作文、リスニング、文法、和訳、長文読解といった多彩な出題内容にあります。ただし、問われる事項は基礎的事項が中心ですから、英語への正しい理解を深め、一貫して正しい方法論を実践していけば、短期攻略は可能です。基幹教材で全単元に共通する基礎を盤石にした上で、全方位的な応用力の養成を目指します。また、1980年代以降のすべての過去問を徹底的に研究し、さらなる類題で得点力を養います。

【前期の内容】

基幹教材を用いて語彙、文法、解釈の基礎力を完成させます。並行して、東大の典型的出題に目を通し、東大が要求する英語力について理解を深めていきます。毎回、添削指導を実施し、記述力の養成に励みます。

【後期の内容】

東大型の類題を豊富に扱うことで、周りの受験生と差をつける実戦力を完成します。要旨要約や自由英作文、和訳などの個別添削を通じて弱点を洗い出し、受験直前期の不安を徹底的に解消できるように配慮します。

【受講生へのメッセージ】

これまで多くの東大合格者を輩出してきた、成増塾が誇る門脇担当の看板講座です。諸先輩に続いて、クラス一丸となって切磋琢磨しながら、ともに東大合格という目標を実現し、一年後の歓喜を共有したいと願っています。

門脇講師の講座案内②

【講座名】国公立大英語

【概　要】

京大、国公立大医学部、一橋大、東工大、旧帝大などの難関国公立大入試において、上位合格可能な英語力を養います。国公立大入試英語の特徴といえば、論理的思考に基づく記述問題でしょう。苦手とする受験生が多い問題形式ゆえに、万全の対策を施すことで、周りの受験生と大きく差をつけることが可能です。そこで、基礎的事項を重視しながら、「論理」と「表現」の力を全国最高峰レベルにまで高めていきます。また、私大併願者のため

いつも明るい笑顔で生徒の質問に答えてくれる門脇講師。どんな悩みも（勉強、学校生活はもちろん、人生相談まで）彼に相談すれば必ず的確なアドバイスを与えてくれるはずです。

に、私大対策用補充教材も用意されており、自学の英語学習は授業内容と過去問だけで十分です。

【前期の内容】

基幹教材を用いて語彙、文法、解釈の基礎力を完成させます。並行して、国公立大英語の典型的出題に目を通し、上位合格に必要な英語力について理解を深めていきます。毎回添削指導を実施し、記述力の養成に励みます。

【後期の内容】

国公立大過去問の中でも選りすぐりの良問を扱い、全国最高峰の英語力を完成します。和文英訳、自由英作文、英文和訳、記述説明の個別添削を通じて弱点を洗い出し、難問にも余裕をもって対応できることを目指します。

【受講生へのメッセージ】

記述中心の国公立大入試において、思考力と表現力のブラッシュアップは不可欠です。表現された文章を論理的に読み解き、自身の思考を論理的に文章へと表現する、という当たり前の作業と真摯に向き合う一年間であってほしいと思います。

全国の難関大受験生に向けて、門脇先生が二冊の問題集を上梓しました。門脇先生の高い実績と評判を聞きつけた出版社から、執筆依頼があったそうです。難関私大は言うまでもなく、東大や一橋大の英語の急所を突いた内容で、従来の類書をはるかに上回る出来に仕上がりました。

門脇講師の講座案内③

【講座名】最難関私大英語（選抜クラス）

【概　要】

私大最難関学部合格を目指すクラスです。盤石な基礎知識（語彙・文法）を元に、精読と速読を矛盾なく可能にする方法論を用いて、他の指導機関では類を見ない質・量の教材とカリキュラムをこなすことで、最難関レベルの英語試験を攻略していきます。反転授業（事前予習を動画で行うスタイル）を活用するため、授業では演習（小テストを含む）を重視します。また、少人数指導を活かし、受講生の過去問を徹底的に研究しながら、過去問研究から逆算した自学の指針を、受講生各自に明確に提示していきます。ライティングも早期から積極的に取り組んでいきます。**定員を10名とし、受講資格として選抜基準を設けています。**

【前期の内容】

前期の目標は、基礎の体系的確立です。基幹教材を用いて語彙・文法・解釈の基礎力を完成させます。基礎の複合が応用であるという事実をふまえ、私大最難関学部が要求する学力水準を明確に意識しつつ、抜けのない盤石な基礎力を確立します。

【後期の内容】

前期で習得した基礎の確認を行いながら、実戦的な応用題へと架橋します。受講生の志望校の過去問の徹底研究を行い、出題者の出題意図を徹底的に分析しつつ、過去問を丸裸にすることで、他の受験生の追随を許さない実戦力を確立します。

【受講生へのメッセージ】

ここ数年、最難関私大受験は激戦を極めています。そんな中、周りの受験生を出し抜くために不可欠なのは、不断の努力と狡猾な戦略です。後者はこちらから最善のものを提供します。前者は、ぜひとも受講生の皆さんが持ち寄ってください。

門脇講師が語る。

成増塾 高卒部では、「本来あるべき勉強の形を取り戻す」ことをコンセプトとしています。

「受け身で授業をこなすだけ」の受動的な学習態度を改め、能動的で主体的な学習を促す仕組みを多分に用意することで、短期間で最も合理的な合格へのロードマップを描くように配慮しています。

成増塾高卒部の発起人として、高卒部開講以来これまで多くの高卒生の英語を指導してまいりました。その中で実感することは、高卒生の多くは高校時点での勉強のやり方について、どこかしらでつまずいているという点です。平素の学習方法論を確立できていない。入試までの学習計画が合理的でない。学習実践の場を十分に経験していない。こういったチグハグなやり方をイチから改めれば、飛躍的な学力向上は必ず可能です。このことは、すでに卒業生たちが合格実績という形で証明してくれています。

Ⅰ 正しい英語への取り組み方

第一に指導すべきは、学習法、つまり正しい英語への取り組み方です。高校時に積み重ねた勉強がまったくの無駄だったというわけではないはずです。しかし、取り組み方を誤っていたがゆえにポテンシャルを伸ばしきれなかったのではないでしょうか。暗記に徹して理解を深めていないために応用が利かないとか、復習の徹底が足りず英語の感覚を体得できていないとか、英語が伸び悩む原因は様々です。伸び悩みの原因は一つではないため、伸び悩んでいる原因を究明することが先決です。正しい姿勢で勉強に取り組めば、10カ月という短期間でも全国トップレベルまで英語力を高めることは可能です。実際、卒業生の間では、現役時に受験したセンター試験で英語の得点が6割だったのが、受講から4カ月が経過した夏の時点で9割を超えるといったことも珍しくありません。要は、やり方を見直すことで、学力は一変するのです。

Ⅱ 入試までの逆算学習計画

第二に、学習計画です。入試までの日程から逆算して、どの時期に何をどのように勉強すべきか？この点がわからずに、入試直前期に過去問にあたってみて、自分の学力不足を痛感した人も多かったことでしょう。これは、学習計画の練り上げ方が不十分だったことに起因しています。高校生にとって実際に大学受験を経験するのは初めてなわけですから、学習計画をすべて一人で逆算するのは至難の業ですし、合理的な学習計画の立て方に熟知している指導者も案外少ないものです。学習計画に合理性を持たせられさえすれば、入試直前期にあせる必要は一切ありません。合理性を突き詰めた学習計画をカリキュラムにパッケージングしていますので、踏み外すことなく過去問に接続できるように配慮しています。

Ⅲ アクティブ・ラーニングへの回帰

第三に、実践の場が不足している受験生が多いということです。塾や予備校に通ってはいたものの、授業を受けっぱなしで学力向上にほとんど直結していないという受験生が多数見受けられます。これは、自ら演習する実践の場の不足が原因です。昨今、アクティブ・ラーニングという言葉がもてはやされていますが、そもそも学習（＝ラーニング）とは能動的（＝アクティブ）なものであって、ただ一方的に受け身に授業を聞くことであるはずがありません。高卒部の原点は、この学習の本質に立ち戻ることにありました。大手予備校の大人数授業というのは、朝から夕方まで授業がぎゅうぎゅうに埋まっており、その予習・復習に追われるという仕組みです。1日の勉強時間のうち、自ら能動的に演習する時間よりも講義を受け身で受講する時間の方が多いのです。これでは、学習の本質には反しています。従来型の高卒生指導へのこの疑念が、高卒部を開講する動機付けだったわけです。正しい学習法と合理的な学習計画をベースとして、自らの手と頭（英語では、さらに口や耳も）を使って十分な演習機会を設けることで、無理なく確実に学力を向上させるメソッドを成増塾高卒部では確立しています。

以上の3点を徹底することが、高卒生が確実に志望校合格を射止める要諦となります。これらはいずれも、受験生の皆さんが平素から意識すべきことです。つまり、学力向上の最大のカギは、「どんな授業を受けるか？」ということよりも「普段からどのように勉強しているのか？」という点にあると言えます。ですから、授業は「何を教えるか」という内容面はもちろんのこと、「どの時期にどのような内容をどのようなやり方で学習すべきか」といった観点から、普段の学習をナビゲートすることに主眼を置いて運営していきます。このような週毎の学習ペースメイク機能を授業に持たせているのが、私の講座の特徴です。

大手予備校の3倍以上の授業内容を提供します。

もちろん、授業内容にもぬかりはありません。手前味噌ではありますが、私の授業では、大手予備校のトップ講師よりも明らかに質の高い授業、教材、カリキュラムを提供しているという自負があります。また、先述のとおり、成増塾高卒部では大手予備校の倍以上の演習時間を多く設けることがコンセプトとなっているため、量的にも大手予備校と比べて3倍以上の内容を提供しています。これは、私が成増塾に15年来勤務して築き上げた財産であり、おかげさまで成増塾の堅調な合格実績をこれまで牽引することができました。この実績を信頼して、ぜひ一年間ついてきてくれればと願っています。

浪人と言うと、とかくネガティブなイメージがともないますが、むしろ一年後には「浪人してよかった」と納得できるような充実した一年にしてほしいと心から願っています。もちろん、第一の目標は志望校合格です。ただし、それに加えて、成増塾で浪人生活を送ったからこそ得られるさらなる成果を一年間に身につけてほしいと思います。たとえば、高卒部での受験英語の勉強を通じて、大学入学後の英語資格の勉強につなげるのもよいでしょう。大学受験英語は資格取得と決して無縁ではなく、TOEICやTOEFL、英検などの資格取得にも貢献するように、本格的なライティングやリスニング指導を支援する態勢も整えています。

大学入試以降の将来への展望にも繋がる学習の場として。

また、大学生デビュー以前に、先んじて大学生としての基礎教養を身につける機会も多分に設けています。高卒部英語カリキュラムでは、高卒部制専用教材とともに、現役生高3生向けのカリキュラム「入試英語実戦演習」を提供していますが、これをこなしてもらうことで、受験英語の演習機会を拡充させつつ、大学で学ぶ学問分野を一通り俯瞰できるように配慮しています（別表のカリキュラムを参照）。このように、浪人生活がただの大学入学への通過点ではなく、さらにその先の将来性を展望するものであるよう様々に配慮をしております。

皆さんの学習がより主体的で効率的なものであるために、そして浪人生活が実りあるものになるために、授業、教材、カリキュラム、サポート体制など、随所に工夫をこらした高卒部を用意しました。これほど充実した高卒生向け学習環境は他に探してもまず存在しないと胸を張って断言します。浪人生であるという負い目は無用です。浪人しているという気負いは捨てて、積極的に講師とコミュニケーションを図りつつ、自分の将来の夢を実現する学習の場として、10ヵ月成増塾高卒部をフル活用してください。これだけ充実した学習環境を生かすも殺すかも、あとは皆さんの積極性次第です。積極的な参加を期待しています。

パソコンに向かう門脇講師。自分が担当する生徒のデータは全てパソコンに保存し、一人ひとり、学力を最も能率的に伸ばすことができるメニューを提供します。

<参考>入試英語実戦演習のテーマ

1	人文科学(1)	近代化論
2	社会科学(1)	民主主義
3	自然科学(1)	環境問題
4	人文科学(2)	比較文化論
5	社会科学(2)	国家論
6	自然科学(2)	動物行動学
7	人文科学(3)	人類学
8	社会科学(3)	福祉社会
9	自然科学(3)	進化論
10	人文科学(4)	言語論
11	社会科学(4)	資本主義論
12	自然科学(4)	生理学
13	人文科学(5)	社会言語学
14	社会科学(5)	グローバル化
15	自然科学(5)	認知科学
16	人文科学(6)	教育問題
17	社会科学(6)	開発経済学
18	自然科学(6)	情報技術
19	人文科学(7)	発達心理学
20	社会科学(7)	移民問題
21	自然科学(7)	現代医療
22	人文科学(8)	科学史
23	社会科学(8)	格差問題
24	自然科学(8)	遺伝子工学
25	人文科学(9)	科学論
26	社会科学(9)	社会ネットワーク
27	自然科学(9)	宇宙論
28	人文科学(10)	哲学・倫理学
29	社会科学(10)	メディア論
30	自然科学(10)	技術論
31	人文科学(11)	人文科学総合①
32	社会科学(11)	社会科学総合①
33	自然科学(11)	自然科学総合①
34	人文科学(12)	人文科学総合②
35	社会科学(12)	社会科学総合②
36	自然科学(12)	自然科学総合③

合格者の声

東京大学理科Ⅱ類合格
慶応義塾大学医学部合格
加藤真帆さん
渋谷教育学園幕張高卒

★感謝の言葉しかないです。先生の英語教材をこなすだけで十分な学力が付きます。また全科目のアドバイスもためになりました。受験では自分のやっていることが正しいかどうかの不安を取り除くことは重要です。受験に詳しい人の意見を気軽に聞けるのは大手にはない成増塾のメリットだと思います。合格することができたどころか受験できたことすら先生のおかげです。本当にありがとうございました。

早稲田大学先進理工学部合格
田中一毅さん
城北高校卒

★英語が体系化されていなかった僕にとってこの一年の門脇先生の授業は毎週僕の英語の構造を作り変えてくれるものでした。ありがとうございました。

一橋大学商学部合格
慶応義塾大学経済学部合格
岡本壮馬さん
筑波大学附属高校卒

★「わかる」ではなく「できる」ようになれます。先生には英語のこと以外にも様々なことで相談に乗って頂きました。

島根大学医学部合格
帝京大学医学部合格
慶応義塾大学経済学部合格
戸田有紀さん
都立青山高校卒

★国立大の英語長文に対処する力を身につけることができました。

横浜国立大学理工学部合格
半澤美玖さん
雙葉高校卒

★門脇先生が教えてくださった英語の知識は知らないことばかりだったのでそれらを吸収することで英語の成績を上げることができました。

早稲田大学創造理工学部合格
高橋立さん
芝高校卒

★難単語、熟語を語義からわかりやすく他にも応用できるように関連付けて教えてくれた。また、長文の本来の読み方、技術を身につけられたので読むスピードも次第に速くなっていった。

英語科

甲斐 英雄

英語が苦手な人でも早慶上智に合格できるクラス。

【クラス定員 16 名程度】

「甲斐講師はいつも笑顔を絶やしません。どんなに英語が苦手な生徒でも一人ひとりフォローし、いつのまにか英語を得意科目にしてしまいます。」

塾長から見た甲斐講師。

甲斐講師は今、成増塾で一番勢いのある英語講師の一人です。甲斐講師の特徴を一言でいえば「わかりやすく楽しい。しかも英語が苦手な人でも安心して受講をすることができる。」ということです。甲斐講師は、現在では大手予備校で早稲田大学の入試問題解答速報の執筆を担当するほどの実力派講師ですが、実は学生のときは英語が大の苦手科目だったそうです。甲斐講師自身、苦手な英語を克服するためにさまざまな努力や工夫をしてきたので英語ができない生徒の気持ちが嫌というほどわかります。だから英語が苦手な生徒も決して見捨てたりはしません。甲斐講師はいつも笑顔の絶えない先生で授業は生徒たちの笑い声に包まれながらも良い意味での緊張感がみなぎっています。楽しくて実力がつく甲斐講師の講座は締切りが続出しています。早い時期に申し込まないと締切りになってしまいますのでご注意ください。

甲斐講師の授業風景。生徒は真剣に授業に打ち込みながらも楽しい雰囲気で進められていきます。楽しみながら学力がどんどん向上していきます。

甲斐講師の講座案内

【講座名】早慶上智英語

【概　要】

私は現段階の英語の成績は重視しない。だが、入試英語最高峰とも言われる「早慶上智英語」を突破できるレベルまで持って行く。これがこの講座の目標だ。

英語が苦手な生徒に対しては、かなり高い目標を設定しているので、三時間の内訳は「講義中心」という事になる。これは英語について全くわかっていない、または勘違いをしている生徒の「考え」を再構築して行かねばならなく、そのためには「英語の解説、研究」に多くの時間を割かねばならないからある。

従って実践力の補強のために、授業外演習（5月以降）、予習・復習は必須である。

【前期の内容】

まずは英語の「基本事項」を土台から導入し、体系化していくことを主眼とする。英文の構造を的確に把握し、一文一文を正確に読めるようになることが一歩目である。英文法の全単元を網羅し、夏以降の飛躍力をつける。

【後期の内容】

厳密に言えば、前期後半から「いかに速く英文を読むか」「いかに効率よく問題を解くか」へ大きく講義の舵を動かす。手持ちの知識を点数に結び付ける事を主眼とし、問題レベルは早慶・上智、最難関国立大学となる。

甲斐講師の添削の様子です。生徒1人1人ていねいに対応します。

【受講生へのメッセージ】

不安、焦り、嫉妬、苛立ち…。それでも共に前へ進もう。

甲斐講師は、大手予備校で早稲田大学入試速報の解答執筆を担当している実力者でもあります。早慶上智の出題傾向を知り尽くした甲斐講師の授業を受けることで多くの生徒が自信をもって入試本番に臨みます。

甲斐講師は、生徒の相談には常に真剣勝負で挑みます。甲斐講師自身、苦手科目だった英語を克服した経験を持っているので生徒の目線に立った実戦的なアドバイスが受けられます。

合格者の声

早稲田大学商学部合格

松永卓さん

武蔵高校卒

★今までの英語の世界観を一気に変えてくれた。毎週毎週驚きの連続で常に知的好奇心をくすぐられる授業でした。甲斐先生に論理的な英文の読み方を教わったことで、英文の展開を予想しながら読むことが出来る様になり、苦しく、辛いと感じていた英文を読むことが楽しくなりました。授業で扱った英文を何度も何度も復習することで、新しい英文を読んだ際も論理構造が見抜ける様になり、次第に成績も上がっていきました。甲斐先生の授業で、今までと全く違った様に英文が見える様になる感動を、英語が嫌いな子、苦手な子に是非味わってもらいたいです。

▶▶▶甲斐講師から松永さんへ

お兄さんの紹介で、まだ入塾前の三月に君と夜中まで話したことを憶えています。「高校三年間は部活に専念していたので、勉強は全くしていなかった…」確かに、君は英語が全く出来なかったけど、いつも一番前の席に座って、一言一句逃さぬように授業に集中していましたね。そして君が「英語を勉強していると、その論理的構造に感動する」といった瞬間、僕は君の合格を確信していました。

慶応義塾大学理工学部合格

四釜快弥さん

芝浦工大柏卒

★主語や動詞の文章中での働き方等の基本的な文法から始まり英文の基本的なルールを身につけると共に、英文をロジカルに読んでいく方法学び、だんだんと英語の問題が解けるようになりました。秋頃にはセンター試験や二次試験の選択問題、記述問題、発音問題等、問題形式ごとの解き方も教わりました。一年間を通して英文のロジックを意識した読み方が身につき、本番でも焦ることなく着実に問題を解くことが出来ました。

▶▶▶甲斐講師から四釜さんへ

やっぱり最大の勝因は君の「素直さ」。全く英語が出来ずに入塾してきたことに加え、志望校が故に、どうしても数学に時間が取られてしまうという困難な状態でした。しかし、初回の授業から、英語を土台から再構築するために、僕が課したやるべき課題をただ直向きに組んでくれました。「素直に(=正しく)受け入れて、目標を達成する」。君のその「素直さ」は大きな武器となっていましたね。

早稲田大学法学部合格

Sさん

桐朋高校卒

★私は以前某大手予備校に通っていたのですが、50人くらいのクラスだったため、わからないところを聞くこともできず、そのままにしてしまい失敗してしまいました。しかし、成増塾に入るようになって、自分のわからないところを片っ端から潰して行くことが合格への近道だと思っていたので、常にわからないところは甲斐先生に聞いていました。また、私は英語が非常に苦手で現役時代のセンター試験の点数は105点でした。しかし、甲斐先生の英語の授業を受けて長文の読み方が変わり、最終的にセンター試験で185点取るまでに至り、第1志望の長文もスラスラ読めるようになりました。受験勉強をしていると自分は「大丈夫なのか?」「本当に合格できるのか?」と疑心暗鬼になる時があります。しかし、先生の教え方を信じて真摯に勉強に取り組めば、必ず結果は付いてきます。最大限に塾と先生を活用して頑張ってください!

▶▶▶甲斐講師からSさんへ

君の素晴らしいところは、真摯に自分の失敗を見つめて、それへの対策を立て、実行そして継続をできるところです。まさに「武骨」と言う言葉が最も似合う。確かに分からないところはすぐに質問に来て、徹底的に解説、議論を重ねましたよね。最初はその質問が「当を得ない」ものばかりでしたが、少しずつその質問のレベルが上がっていく様子が、間違いなく英語の上達を示していることを物語っていました。最終的には、トップレベルの英語の問題も難なく読めるようなっていたね。本当に素晴らしい生徒でした。

【座談会 Part.I】
甲斐講師と合格者が語る、『圧倒的に解りやすい』授業のために。

早稲田大学政治経済学部合格
唐仁原潮さん
〈都立井草高校出身〉

慶応義塾大学文学部合格
小野寺果穂さん
〈共立女子高校出身〉

Q.入塾する前はどんな感じでしたか?

唐仁原　競輪の全国大会に出たんで、ずっとその練習ばかりしていました。もちろん普段は勉強を全くしませんでした。英語に関しては、定期テスト前に丸暗記で…、偏差値も45ぐらいでした。

小野寺　高一の秋に入塾しました。それまでは英語は「それほど不得意ではない」と自分では思っていましたけど、いざ入塾してみると、何も分かっていないことに気づかされました。文型とか構造とかは全く考えていないし、文法もただ丸暗記していて、長文でそれらを活かせていませんでした。

Q.実際に甲斐先生の講座を受講し始めてみて、どうでしたか?

甲　斐　唐仁原君は高三の7月に入学して、偏差値45から、早稲田大学を、「総ナメ」で合格するって、本当に凄いよね。「良いことが連続しすぎて、この先が怖い」って言っていたね(笑)。

唐仁原　途中からでも、授業について行けるように、補講やバックアップもやって頂けたし、先生が常に「生徒は英語がわかっていない」ってことを前提に授業を進めてくれるので助かりました。

甲　斐　僕が授業するときに一番心掛けていることは、あくまでも日本人にとって理解しがたい「外国語」、「学問の対象」として英語を解説するということ。つまり、「予め」決定しているnative speakerの感覚や語感などのニュアンス、そして英語長文の題材・テーマなどの「予備知識」などを解答の根拠にして、「答えありき」で解説をしないことなんだ。僕の受講生には自らの力で、「英語のルールのみ」を大事にして、「論理的に」正解を導けるようになって欲しい。

小野寺　「論理、論理」って言いまくってましたもんね。英作文の添削も、論理的に考えることで、和文の言葉を「同義」として言い換えたりすることが、とても楽しかったです。

唐仁原　僕もその「論理的に」考えるというのは、英文法だけでなく、文章全体の構造を掴むためにもかなり役立ちましたし、受験勉強をする上で、自信にもなりました。それで現代文の成績も上がったし、現代文の成績が上がれば、英語の文章構造もつかみやすくなりました。

甲　斐　君たちには本当に僕が授業で言いたいことが伝わっているようだね。結局、英語も日本語も「論理」という点は同じだから、英語をnative speakerの様に理解するのでなく、我々が「日本語」を読んで、それを理解する時と同じように、英文も理解することが大事ってことなんだ。

Q.英語の勉強をして大切だと思ったことありますか?
例えば、自分に「高校生の子供」がいたとして、どのような事から勉強させますか?

小野寺　もちろん基本単語は重要だけど、やっぱり英語を構造的に理解するために、「文型」をやらせるかな…。付属の大学へ行くつもりだったので、私はそもそも大学受験を考えていませんでした。だから、入塾する前は受験勉強をしていなかったけど、文型を理解して、簡単な文章から構造的にやっていけば、だいぶん理解できるようになると思います。

唐仁原　僕は必死に甲斐先生の授業についていくように言います(笑)

甲　斐　ありがとう…気を遣ってくれて(笑)。ということは、小野寺さんが言っている事と同じように、英語を構造的に理解するために、文型からやらせるってこと？

唐仁原　はい、その通りですね。

小野寺　授業を受けていると、英語は、すごく構造的だということがわかって、英文法の理解も、長文も、毎回同じ手順でアプローチして、理解するということが大切だとわかりました。

甲　斐　確かに。どんな英文に対しても、毎回、同じ手順でアプローチすることが大事なんだよね。いくら「仮定法」、「時制」、「準動詞」、「関係詞」…、というように単元別にいきなりやっても、学生は英語を読めるようにはならない。英文の仕組みがどの様になっているか、全体構造を把握する力がないと、英文法の正しい運用はできないんだよね。

小野寺　大学で英語を読むときも、分からないときは、ついつい甲斐先生の授業でやった方法で読んでいるんです。

甲　斐　まぁ、それはこれからも英語に触れる以上、「呪い」みたいなもんだから(笑)。

小野寺　他にも、大学で「法学」をやっていて、条文などに難しい表現が出てくると、先生の授業でやったように、言葉を「抽象化」して、「言い換え」や「対立」を考えながら理解しようとしているんです。こういうことは甲斐先生の授業でやったことが今だに生きていると思います。

甲　斐　英文をチャート化したり、図式化して、板書するのは授業ではいつもやっていることだし、僕自身も物事を考えるときには今でもよくやります。

小野寺　そうですね。それはきっと他の科目でも通じると思います。

Q.甲斐先生の授業で、ここは「他とちがう」ってとことってありますか?

唐仁原　他では授業に出ないか、寝ているかのどっちだったので、あまり比べられません(笑)。でも先生の授業を受けて、初めて、「復習」の大事さを実感できました。授業後に、もう一度、自分で復習をすれば、すごく英語が論理的になっていること分かって、楽しかったです。

甲　斐　そうだよね。毎朝、五時に起きてやっているって言っていたしね。半年の受験勉強で、そこまで出来るようになった生徒は、日本全国でも、まずいないと思います。

小野寺　それまでの他の授業では、先生が単語や熟語を確認しながら、英文の和訳だけ言って、、そして最後にCDを流すだけとは全然ちがいましたね。一つ、一つ論理的に解説してもらえるので、常に頭をフル回転しなくてはならず、かなりハードでしたけど。

Q.後輩へのメッセージってありますか?

唐仁原　大学生活って、おそらく人生で最も自由な時間がある時期で、そこで本人が主体的に行動できるようになるためにも、受験勉強を本気で頑張ることで、自分に自信を付けて欲しいです。そうすれば、大学生活を積極的に良いものにしていけると思います。

甲　斐　なるほど。君は東南アジアの国々に行きまくって、ボランティア活動をしながら世界中の人々と交流しているもんね。もし、受験勉強で学んだことが、少しでもその活動に役に立っていたら、僕は凄く嬉しく思います。

小野寺　私は親によく言われていたんだけど、「受験勉強を頑張れば頑張るほど、大学に入れば、本当に、それよりも何倍も楽しい人生が開ける」って。そのアドバイスをずっと大事にして、受験勉強は人生に意味のあるものだって思って頑張りました。辛かった時も、「慶應に入りたい、入れる」って、プラス思考で頑張りました。

唐仁原　僕の場合は全く状況が反対で、親も大学に行かなくても良いって言われていたし、周りも「どうせお前は受からない」って言われていたので、逆にそれが悔しくて、頑張れました。

甲　斐　それは本当に凄い。本当にかっこいいことだよね。まさに反骨精神ってやつだね。

小野寺　あとは甲斐先生の授業をとにかく受けることだと思います。もちろん、通っているだけでなくて、授業の予習・復習とかを必ず行うこと。分からないことは質問したり、個人添削してもらったりして、とにかく教えて貰ったことを自分のものにすること。それが一番大事だと思います。

【座談会 Part.Ⅱ】
合格者が「今こそ」語る、受験英語の「普遍性」を求めて。

普遍性とは、すべてのものに通ずる性質。『広辞苑』より

東京慈恵会医科大学合格
昭和大学、東京医科大学、東邦大学、聖マリアンナ医科大学各医学部にも合格
九島遼大さん
（暁星高校出身）

一橋大学社会学部合格
早稲田大学政治経済学部、国際教養学部にも合格
木村涼乃さん
（女子学院高校出身）

座談会 Part.Ⅰでは、唐仁原君と小野寺さんに甲斐講師の授業の「圧倒的な解りやすさ」について語ってもらいました。今回は、「甲斐講師の英語」には、早慶はもちろん、医学部、国立に至るまで、様々な方面への志望者が増えているそうで、もっと大局的に、「英語学習の普遍性」について議論を深めたいと思います。あえて、全く畑違いの学部に進学した九島君と木村さんに座談会に参加してもらいました。

Q.九島君と木村さんが入塾したのは、二年生あたりだったと聞いています。卒塾する頃の偏差値は70前後に二人とも到達していたそうですが、入塾する前は、英語の成績はどうでしたか?

九島　全くダメでした。他の大手予備校に通っていたんですけど、苦手すぎて何からやるべきかわからずに、とても困っていました。

木村　私も九島君と同じです。文型の把握とかも全然出来なくて。中高一貫校だったので、中学生の時に英語の学習を怠けてしまい、英語は全くわかりませんでした。

甲斐　まぁ、「甲斐の英語」ではスタート時点で英語が出来ないのは、鉄板だからね（汗）

九島　それでも、甲斐先生が、僕は途中入塾なのに、補講をして貰い、英語の「ゼロ」から教え直してくださったのは本当に助かりました。

木村　私も途中入塾でしたけど、英語の初歩から教えて貰って本当に良かったです。

Q.ところで、なぜ九島君は医学部に入って医者になろうと思ったのですか? 東京慈恵会医科大学を選んだ理由や、その大学の特徴を教えてください。

九島　一番の理由は両親が医者だったからです。もっと言えば、祖父祖母、叔父、従兄弟も含めて、全員が医者。だから、医者になりたいというより、医者になるという道以外は考えた事すらなかったです。

甲斐　まるで医者になることを運命付けられているようだね。では他の大学の医学部にも合格したのに、なぜ慈恵会医科大学を選んだの？後輩のために、大学の特徴とかも教えてくれない？

九島　慈恵はゆるい！めっちゃ、ゆるいです！

甲斐　それ言っていいの？（笑）

九島　いや、これはとても大事なことですよ！実際に、私立医大の中では、ダントツに慈恵と慶應はゆるいと聞いていて…。

甲斐　えっ、どういう意味で「ゆるい」の？（笑）

九島　慈恵に関しては、小テストもあまり実施されないです。試験も、普通に勉強したら、十分に点数をとれるものばかりです。それで余裕ができた時間に、自分の好きな勉強をしたり、部活動を積極的にやったりして、結果的に様々な経験ができるんです。教授も、「一年生は思いっきり遊んでいい」と認めてくれています（笑）。

Q.一方で木村さんは、併願で早稲田の政治経済学部と国際教養学部にも合格。両者はとても人気がある学部ですが、どうして一橋大学を選んだのですか？また一橋大学に入って良かったところはありますか？

木村　私は国立志望で、そのためだけに大嫌いな社会科目を勉強しました。せっかく勉強したので、一橋に進学しないと損だと思いまして…。

甲斐　なるほど。努力は報われたいからね。では一橋大学に入って良かったところはある？

木村　学部間の垣根が殆どないところです。それどころか、卒業に必要な単位として、他の学部の単位も取らないといけない。その意味で、履修する授業の幅に、自由度が高いところが、一橋大学は凄く良いなと思います。

Q.九島君は医学部、木村さんは、「国立大学と早稲田の併願」であったと言うことですが、受験英語の勉強として、何か特別なことはしましたか？またその勉強方法に違いなどはありましたか？

木村　それは全くないです。実際に、私の場合は、一橋大学の過去問をやり始めたのは、センター試験が終わってからです。

甲斐　それはさすがに遅いような…（汗）。

木村　それまでは、甲斐先生の課題や授業では、早慶上智や東大、医学部から文学部まで様々な英文を課されるので、分け隔てなく取り組んでいきました。大学個別の対策は、基礎が完成してからやるべきだと思うし、逆に様々な大学の問題をやった方が、きっと力は付くと思います。

甲斐　まぁ、確かにそれは言えるね。どこの大学の問題でも、「英語は同じ」というのが、僕の基本的な授業理念。結局は、しっかりとした英文法の基礎がないと、長文問題や文法問題はもちろん、英作文やリスニング対策だって意味のないものになってしまう。

木村　その通りだと思います。とくに私は、最初は志望校がはっきり決まっておらず、甲斐先生に相談すると、「とりあえず、正しく英語の力を上げれば、秋以降であっても、どこの大学の対策でも十分に間に合うよ」とおっしゃってくれたので、受験する予定のない慶應や上智、または医学部の英語にも積極的に触れられました。これは、正しく「英語の力」を身付けると言う点において、本当に良かったと思います。

甲斐　九島君はどう？

九島　僕も木村さんと同じです。僕は医学部志望でしたけど、早慶上智の問題を多く取り組めたのは、本当に力が付いたと思います。「医学部」であっても、秋ぐらいまでは、特別な対策はいらないと思います。

甲斐　と言うことは、二人ともやって来たことは、とりわけ大学別に特別な秘策があったわけではない。「王道的」というか、何処の大学を志望するとしても、英語の成績の伸ばし方は変わらないと言うことだね？その意味では、「志望校別の英語の勉強の仕方がある」と言っても、概ね、受験英語は「普遍的」であると言えると思います。

木村　もっと言えば、国立の英作文であっても、それなりに長文が読めるようになってからやると、すぐに書けるようになりました。長文読解や英作文などの「問題形式」は、大学によって様々であるとしても、やはり「普遍性」があると思います。例えば、「長文読解をちゃんとできる人」は、どの大学の、どの形式の問題でもできますから。

九島　もちろん医学部は、医学系の長文はよく出題されるけど、まずは基礎力がないと、やっても意味がないです。

甲斐　そうだよね。医学部志望者は、医系長文を読むための、特別な「医学の知識」の必要性を気にしているみたいなんだけど、それについてコメントもらえる？

九島　はい。必要なのは単純

に「英語力」であって、とりわけ時間を割いて「医学知識」を習得する必要はあまりないと思います。実際、僕の「医学英語」の長文対策としては、8月、9月以降から始めました。必要な最低限の「医学知識（風土病、生活習慣病など）」は、過去問をやっていく中で、自然と完成されていった感じです。まずは普通に「受験英語」をやるべきです。だから、僕は秋以降も、「医学英語」と「普通の学部の英語」をバランス良くやっていました。

甲斐　そうだよね。確か夏ごろに九島君に面談してみると、一日二題の長文を、医学英語と「それ以外の学部の英語」を一題ずつやっていると言っていたよね。

Q.『英語学習の普遍性』という点では、大学に入っても同じですか?

木村　私の大学は二人のnative speakerの先生がいるのですが、その授業では、みんなと英語でdiscussionをしています。みんな言葉に詰まりながらですけど…。ただみんな受験英語を乗り越えてきたという地盤があり、大学に入ってからの英語もその延長だから、何とか成立しているのだと思います。結局は英文を読めないと、speakingもhearingもできないので。

甲斐　これから様々な受験方式が出てきても、「英語学習の普遍性」は絶対に言える。昔から何も変わっていないんだよね。それがイラスト問題でも、リスニングであっても。もちろん、大学に入ってから「communication tool」としての「英語」であったとしても。

木村　英語の普遍性と言えば、甲斐先生の授業では、英文法はもちろんのこと、文脈の論理にもの凄く拘っていて、それも大学での英語にとても役に立ちます。「経済学入門」の最初の授業では、その資料は全て英語で書かれていました。当然、私は経済学の知識は、全くありません。そこで、甲斐先生が授業中にやっていた「文脈の論理的な捉え方」を、そのまま頭の中で再現して、何とか読み進んでいったという感じでした。

九島　甲斐先生は、英文法を正しく使えるように、よく「状況別」にまとめられるので、その思考の方法が、医学の勉強においても、僕の土台になっていると思います。医学だろうと受験英語だろうと、「手持ちの知識だけを使って、その場で物事に対応する力」が求められます。そのためには日頃から、その知識を「使うべき時に、正しく使えるように」、それらを状況別にまとめておくことと、「木」ではなく、「森」として全体像を見渡す「観察力」が大事だと思います。医学の勉強でも、僕は未だに、そのように知識をノートにまとめているんです。

Q.実際に、「甲斐講師の英語」を受講して、どのような感想をお持ちですか?

九島　甲斐先生の授業に関して言えば、とにかくわかりやすい！甲斐先生に教わって、初期段階で、「文法力」が圧倒的に身に付きました。それも長文をやっていく中で、自然と身についたのは本当に良かったです。「文法力」は英語の成績を伸ばす上で、絶対に不可欠なものだから、早く甲斐先生の授業で「文法力」を高めて欲しいです。

木村　私もそう思います。甲斐先生の授業は、英文法に関しても、文脈の把握に関しても、他の授業では考えられないぐらい、丁寧に、授業後の疑問を全く残さないように教えて下さるので、そこは他とは圧倒的に違うと思います。だから、毎回毎回の授業で、やるべき事を消化しやすかったです。その結果、私は周りの口コミや情報に流されずに、甲斐先生から言われたことしかやらなかったことが、今考えると本当によかった、これから甲斐先生の受講する生徒さんに伝えたいです。

Q.最後に、これから大学受験をする後輩へのメッセージってありますか?

九島　受験当日は、確かに緊張しました。その緊張感の中で、僕は試験中にやるべき事をずっと心の中で確認していました。たとえば、英語だったら、読めないときは英文全体像を見渡して、とにかく視野を広げることを意識しようとか…。そうしている内に緊張していることも忘れていたので、受験生には、緊張したときこそ、やるべきことのイメージトレーニングをやってほしいです。それは受験直前期も同じです。

木村　私は全く緊張しませんでした（笑）。ただ、受験勉強は、経験的にきっと将来にプラスに働くと思うし、第一志望に合格すると、本当に大学は楽しいところになります。だから受験生には、一生で一番勉強すべき時に、一番頑張って欲しいと思います。

英語科

中島ひろや

「塾での英語の授業」そこだけにとどまりたくない。

【クラス定員 12 名程度】

授業中も常に笑顔を絶やさない中島講師。世界中を旅行し、多くの経験を積んでいます。この笑顔があるからこそ、生徒は厳しい受験期を乗り越えていくことができるのです。

塾長から見た中島講師。

中島講師は2014年から成増塾で指導を開始しましたが、グングン人気が上昇している若手実力派講師です。中島講師の授業の特色はズバリ「面倒見の良さ」です。ほかの塾ではあきらめてしまうような基礎力の弱い生徒でも個別の補講を取り入れてめきめき基礎力をつけ、最終的には英語を得意科目にし、志望大学に合格させてしまうのです。中島講師の講座をとった生徒は本当にその指導の丁寧さに満足しています。中島講師のクラスは全員の英語の成績を伸ばし、志望大学に合格させることを目標においており、しかもそれを見事に実現しています。そのおかげもあって、中島講師のクラスは志望大学に合格した生徒からの口コミが口コミを呼び、今では成増塾の中でも押しも押されもしない人気講座になりました。私が絶対的な信頼をおいている若手講師の一人です。

中島講師の授業は基礎力の確立を重視します。しかも一人ひとりの弱点に応じた勉強を中島講師自らが丁寧に指示していきます。英語に自信の持てない生徒でも中島講師が指導をすれば、本人も周囲も驚くほど成績を伸ばすことができているのです。

中島講師の講座案内

【講座名】早慶上智英語／私大医学部英語

【概　要】

私の講座の特徴はズバリ「最難関私大英語で圧倒的な貯金をつくる！」「１人ひとりとしっかりと向き合う！」この２点です。授業で徹底的にフォーカスするのは長文・設問になります。

長文は、扱った長文を母国語の領域で処理できるよう落とし込みます。また情報構造を意識しながら読むことを徹底します。

設問は、あらゆる視点を駆使し、根拠を固められるだけ固めるという姿勢を身につけます。24時間質問が出来る環境を作っているので、個別でプロ教師がついていると思ってください。小人数限定講座ですので締め切りの際はご了承ください。

【前期の内容】

単語…毎週個別単語テスト（必修単語＋最難関私大単語）

文法…毎週個別確認（input終了）

精読…一橋レベル終了

長文…500～700wordsを母国語レベルに。

設問…MARCHレベル過去問（満点近く）

【後期の内容】

単語…毎週個別単語テスト（早慶上智医学部単語）

文法…毎週個別確認（最難関　正誤、整序等output）

精読…京大レベル終了

長文…700～1000wordsを母国語レベルに。

設問…早慶上智医学部（目標９割）

【受講生へのメッセージ】

他予備校とは比べ物にならないほどの、圧倒的な最難関私大講座となっております。小人数限定講座となりますので、アットホームにがんばっていきましょう！

中島講師が語る。

みなさんは、また同じことをやるのですか？

もう中学、高校と何度も何度も習った文法。多くの予備校が、また現在時制からの授業になります。しかし受験を経験した皆さんはもう気がついていますよね？早慶上智、私大医学部は、はっきり言って文法で合否はわかれません！相当な量の長文を、速く正確に理解する能力。そして適切な答えを選択する論理力、分析能力、処理能力が大きく合否を分けます。

英語は言語である以上、知識を入れてから、それを実際に使えるようになるまで、何度も何度も反復が必要になります。時間がかかります。まして早慶上智、私大医学部ともなれば、高１あたりから相当な量の英文を読み込んできている層との戦いとなるわけです。

そんな中、最難関私大志願者であるならば、当然知っているような基礎から始まり、直前でやっと文法が１周するような授業を受けて、英語に対する圧倒的な慣れが出来ると思いますか？

はっきり申し上げます。最難関私大志願者であれば、単語、文法、精読、つまり１文まで正確に読み解くというのは出来て当たり前です。本当に差がつくのはその先、つまり、長文を極限まで母国語に近い感覚まで近づけ、情報構造、論理構造、背景知識、信号語など、ありとあらゆる角度から、該当根拠を固められるだけ固めて正解答案を選び、最難関私大によくみられる熟語、正誤、整序の難関問題でなるべく取る。そういったところにフォーカスすることで、１年後、圧倒的な成果が出るのではないでしょうか？あくまで単語、文法、精読はツールに過ぎません。そこまでは出来て当然。

その先こそが、本当に差がつき、現役である程度固まっている皆さんが、これから１年間かけて伸ばしていくところではないでしょうか？

私の講座は授業で、

- **最難関レベルの精読を扱います。授業でしっかりと力をつけていけば、精読が最も難しいとされる京都大学であっても十分解けるようになることをお約束いたします。（私大は和訳が出されるところは少ないですが、該当根拠の構文が複雑、また正誤、整序問題に関連して問われることが多々あります）**
- **毎授業、扱った長文を母国語のレベルで処理できるようにしていく。これに関しては毎授業扱った長文が母国語レベルで処理できるまで落とし込んできたか個別で確認させてもらいます。**
- **圧倒的な入試問題に対する解き慣れをつくる。一般的には大学の過去問は秋頃からしか扱われません。しかし皆さん去年度本当に過去問を全て解ききって本番に臨めたでしょうか?もうすでにある程度は戦える皆さんは、春先から授業でMARCHレベルのものを扱っていきます。夏までにMARCHで常に9割。夏から授業で徹底的に最難関私大の問題を扱っていきます。**

さて、ここまで読まれて不安に思った人もいるでしょう。単語や文法や精読に、抜けがあっては困る。完璧に仕上がっている自信がない。そのように感じるのは非常にいいことです。なぜなら、単語や文法で穴があっては、長文や精読に支障を来たすからです。ただ人によって文法の理解度や穴はまちまち。精読に至っては、自分の完成度がよくわからないという人すら見かけます。

私の講座では、単語、文法、精読がある程度出来るようになるまでは、個別での対応となります。他予備校が１年かけてやる文法は、その人が理解、定着していないところだけピンポイントでやればいいので、圧倒的な時間短縮になります。精読に関しても、私の授業を受けて精読に困る生徒は１人もいません。ぜひ卒業生の体験談を読むなり、機会があれば聞いてみてください。単語、文法、精読、つまり１文までしっかりと読めるようになってからクラス授業になるので、漏れがありません。１文までしっかり読める状態を作ってからクラス授業になるので、ついていけないということがないのです。

しっかりと１文まで読める状況を個別対応で作り、一番差がつく長文、設問を１年間徹底的にやっていく。だからこそ、１年後、他予備校に通ったものとは比べ物にならないほどの英語に対する慣れ、試験問題への対応力がついた状態で臨むことが出来るのです。

最後に、私の講座の一番の特徴を申し上げますと、「１人ひとりとしっかりと向き合う」というのがあります。

他予備校では、質問に行くのもはばかるほどの、生徒と講師の距離。受験指導や教科アドバイスは、アルバイトのチューター。授業さえ終われば後は一切フォローなしの講師。こういった話をよく耳にします。このような非常に機械的な指導で、はたして１年間という大切な期間に最大限の効果が発揮できると思いますか？私はそうは思いません。人と人との関係です。最後は１年間一緒に頑張ってきた想い、信頼、情熱が、合格を手繰り寄せると強く確信しています。

私の講座は２４時間、いつでも連絡を取り、質問できる環境をつくっております。基本的に返信は２４時間以内で返しています。いつでも質問・相談できるプロ講師が個別についていると思ってください。また当然、単語、文法など知識面は抜けていってしまうものです。私の講座は、毎週個別に単語、文法の確認をし、しっかりと漏れがないようにしていきます。

１文まではしっかりと個別に漏れがないようにし、授業で圧倒的な「英語に対する慣れ」と「設問に対する対応力」をつけていく。他予備校とは比べ物にならない圧倒的な最難関私大講座となっています。１年間、一緒にがんばりましょうね！

※１人ひとりとしっかり向き合うため大人数クラスにはしません。小人数限定講座です。人数が埋まり次第終了となります。予めご了承ください。

【座談会】
中島クラスから
憧れの早稲田大学に合格した3人!

早稲田大学社会学部合格
田中英智朗さん
（東京都市大学付属高校出身）

早稲田大学商学部合格
馬場貴也さん
（都立高島高校出身）

早稲田大学商学部
小林瑞季さん
（区立九段中学高校出身）

中島　今日は忙しい中を集まってくれてありがとうございます。
君たち３人は今年の春、見事志望大学に合格したのだけど、合格に至るまでの経験をこれから受験に臨む成増塾の後輩たちに語ってほしいと思います。
まず、最初にみんなに聞きたいのは「受験を経験していちばん良かったことは何か」ということです。田中君、いかがでしょうか

田中　そうですね。早稲田に合格してつくづく感じるのは、本当に自分は今、最高の環境にいるんだ、ということです。受験という試練を経て早稲田に集まった仲間は本当にみんな素晴らしいし、話が合います。いい仲間ができた、と毎日感じています。早慶戦なんかを観に行くと盛り上がり方が凄くて「ああ、自分も早稲田の一員になれたんだな」と強く感じます。

中島　田中君は現役の時はGマーチを受けて全滅だったんだけど、現役でGマーチに行くのと、一浪で早稲田に行くのとどちらがいいと思った？

田中　それは絶対に浪人して早稲田に行った方がいいと思います！

中島　そうか！そう思えるだけのものが早稲田にはあるんだね！本当に良かったね！
馬場君はどうかな。

馬場　僕は、受験を経験して忍耐力が付きました。今までの自分の人生で初めて「やり切った！」と感じることができました。

中島　そう言い切れるのはすごいね！

馬場　ええ、僕は中学、高校時代はサッカーやテニスなどのスポーツに打ち込んでいたのですが、どちらも「やり切った感」がなくて不完全燃焼だったような気がしていたんです。だけど、受験勉強をやり切って、第一志望の早稲田に受かり「自分でもここまで出来

るんだ！」という気持ちを持つことができたんです。

中島　うん、君の１年間の様子を見ているとホントに完全燃焼したって感じがするよ。
小林さんはどうかな。

小林　私は、受験勉強を経験して「自分で考えられるようになった」と思います。

中島　それは具体的にはどういうこと？

小林　受験というのは、結局は、自分が１年間やっていたことがすべて結果になって自分に返ってくるものだと思うんです。すべて自己責任だから後悔がないように１日１日を大切に過ごしました。

中島　確かに小林さんの勉強ぶりを見ているとそんな感じがするね。
ところで、世間では早稲田・慶応とGマーチの間には壁があるといわれているけど、みんなはそう思う？

田中　僕は過去問をやっていてそれはすごく感じました。

馬場　僕もそう思います。Gマーチは素直な問題が多いんだけど、早稲田・慶応はやはり一筋縄ではいかないというか、本当に考えさせる問題が多いような気がしました。

中島　なるほど。では次の質問に移りましょう。もし君たちが受験時代の自分にアドバイスできるとしたらどんなアドバイスをしてあげますか？

田中　僕は１か月遅れの５月に別の塾から移ってきたんですが、最初から成増塾に来ればよかった！ってことですね。

中島　あはは！田中君は僕の最初の面接を受けた時に「絶対に早稲田に受かりたいから成増塾に移ってきました」って言ってたよね。君は早稲田を本気で狙っていて、合格スレスレじゃなくて、さらに上の、上位合格を目指していたからね。
でも、そういう考え方は大事だと思う。早稲田・慶応に合格することは、ここ数年は以前よりさらに難しくなっていて、「スレスレでも合格できればいいや」って思っている人はみんな不合格になっている。「上位合格してやる！」くらいの意気込みがなければ早稲田・慶応に合格することは難しいのが現実だと思う。

馬場　僕は本当にぎりぎりのところまで努力していました。これ以上できないというところまで頑張っていました。だから、受験時代の自分にアドバイスするといっても「がんばれ！」といったことくらいでしょうか。

中島　うん、君の勉強への取り組み方を見ていたけどすごい気迫が感じられたよ。

小林　私は、受験校をどうするかですごく迷っていて二転三転していました。

中島　そうだったね。いろいろ悩んでいたよね。ところで、小林さんは慶応の経済と、早稲田の商学部と秋田の国際教養大のすべてに合格したんだけど、なんで早稲田の商学部にしたの？

小林　早稲田の校風が私に合っていたのと、留学しやすい環境が整っていると思ったからです。

中島　なるほど。小林さんは大学に入ってからのことまで考えて、自分の夢を一番実現できそうだという基準で入学する大学を決めたんだね。それにしても早稲田、慶応、国際教養大学に全部合格して、選べる状況になったなんてほんとにぜいたくな悩みだよね(笑い)。
次に、みんなが「一番つらかった時期」はいつか教えてもらえるかな。

田中　僕の場合は、成増塾に移ってくる前、別の塾で勉強していた時ですかね。宿題を指定されて淡々とこなしていくのですが、「こんなことをやってて本当

に合格できるのか」という疑問を持っていました。講師の先生は「これで受かる」と言っているのですがどうも信じ切ることができませんでした。その時を振り返ると「自分で判断すること」も大事だなと思います。

中島　それは大事なことだよね。僕も、課題を出すときには本人の考えを十分尊重している。やはり、自分で納得できなければ本当にやる気にはなれないからね。

馬場　僕は4月から11月まで毎日が本当につらかったです。なかなか成績も伸びなかったし。

中島　うん、馬場君は最後になって本当に成績が伸びたけどそれまではつらかっただろうと思う。どうしてつらい勉強をやり続けることができたの？

馬場　実は兄が浪人して合格できたのが中央大学だったので、兄に負けないようにという気持ちがすごく強かったです。

中島　ある意味、お兄さんがいいライバルだったんだね。モチベーションを維持するためには、ライバルがいることは大事だよね。

小林　私は、逆に、浪人の１年間は勉強だけやればよかったので気が楽でした。現役の時は学校の勉強と両立させなければいけなかったので、そっちの方が大変でした。センターでは思ったように点数が取れなかったのですがあまり落ち込むこともありませんでした。

中島　センターで失敗したのに落ち込まなかったんだ！メンタル強いね！

小林　ええ、もう済んだことは仕方ないし、淡々と自分のやるべきことをやったって感じですかね。

中島　それは凄いね。受験ではメンタル面が凄く大事だけど、小林さんみたいにいい意味で鈍感になることも大事なんだね！

じゃあ、次に、合格した時の喜びについて語ってもらいます。受験でみんなが一番うれしかった時のことを教えてください。

田中　僕は、早稲田の社会科学部に合格した時ですね。家でボーっとしてた時だったんですが、合格を

知ってほんとにうれしかったです。思わずガッツポーズをとりました！

中島　それは忘れられない思い出だね。

馬場　僕は立教に受かったときです。というのも、去年は立教も含めてすべての大学に不合格だったので立教の試験の時もすごく緊張していました。それで立教に受かったときは「もう浪人しないでいいんだ！」と思いました。それでかえってすごくリラックスして早稲田の試験に臨むことができたので良い結果が出たのだと思います。

中島　なるほど、リラックスして臨んだのがよい結果につながったんだね。

小林　私が嬉しかったのは慶応の経済に合格した時ですね。本当は秋田の国際教養が本命だったんですが、慶応の経済は自分の中では一番難しいと思っていたので。

中島　うん、慶応の経済は本当に難しいからね。

次に後輩たちへのアドバイスに移ります。お勧めの勉強法があれば教えてください。

田中　僕はやるべきことを「to do リスト」にまとめて計画的に勉強を進めていきました。過去問を軸にして自分がやるべきことをあぶりだし、足りないところを問題集で補っていきました。また、たくさんの問題を解くことで自分の知識を血肉化することができました。この点、成増塾の高卒部は自学自習の時間をとるためにあえて授業時間が少なくしてあるので助かりました。多分、他の予備校に通っている受験生の3倍以上の問題をとくことができたと思います。

馬場　やっぱり量は大切ですよね。僕もたくさん問

題を解いて初めて自信を持つことができるようになりました。

中島　うん、「量は裏切らない」よね！英語は問題を解けば解いた分だけ力がつくからたくさん問題を解くことは本当に大事だよね！

馬場　それと、国語は山下先生に対抗しようと思った。僕は授業中に自分の答案を見てもらった時、山下先生に、けちょんけちょんにけなされたので。

中島　山下先生にけちょんけちょんに言われたの？山下先生はそういうキャラじゃないと思うんだけど。

馬場　もちろん、僕の答案がそれだけ、ひどかったのだと思います。だけど先生に徹底的に答案の悪いところを指摘されることでかえって「今度こそは完璧に答えてやる」という闘志がわきましたね。

中島　なるほどね。じゃあ、ある意味で国語は山下先生がライバルだったっていうことだね。

小林　私も今考えるとたくさんの量をこなしたことがすごくよかったって思います。どこを受けるにしても英語が必要なので英語には特に力を入れてたくさんの英文を読みました。量をこなすには成増塾の自習室が凄く効果的でした。成増塾の自習室は凄く集中できて完璧でした。

逆に小論文はあまり量をこなせませんでした。私は「国語」が苦手だったので何か書けば点数が取れる小論文の方が自分には向いていました。

中島　小林さんは本当に自習室を使いこなしていたよね。

じゃあ、次は、受験を振り返って「やらなくていい勉強、やってはいけない勉強」があったら話してもらえますか。

田中　そうですね、過去問は難しい問題もあるので、自分が持っている参考書や問題集で基礎を十分に身に着けてからやった方がいいと思います。

中島　過去問の研究はいつから始めたの？一般には10月くらいからやればいいといわれているけど。

田中　過去問は科目によってそれぞれ得意不得意があると思うので三科目を一斉に始めなくてもいいと思います。例えば、英語が得意で日本史ができてなかったらまず英語のみ過去問を解いてみるとか。ただ、僕自身は夏休みが終わってから全科目を解けるように、基礎固めを夏休みまでで終えた方がいいと思います。

馬場　僕は「行き当たりばったり」の勉強はしない方がいいと思います。計画も立てずに勉強すると学力にムラができるのではないでしょうか。だから僕は毎日、やるべきことを、淡々と、一年間同じペースで勉強しました。

小林　英語に関して言うと、現役の時は文法と単語がきちんとできていなかったのでそれをつめてやることが大切だと思います。あと、馬場君が今言ったように毎日の勉強を淡々と続けることは本当に大事だ

憧れの早稲田大学に見事合格して、3人は合格の秘訣を熱く語ります。

と思います。

中島　うん、それは大事だよね。Gマーチの英語なら単語・熟語をきちんとやっていなくても何となく読めちゃうんだけど早稲田・慶応だとそうはいかないからね。

次に、合格できた一番の要因は何か、後輩の諸君に伝えてあげてください。

田中　誘惑に負けないことですかね。僕の場合、ケータイを使う時間を減らすことを心がけました。スマホをみるのは時間を決めて１日1回にしました。

馬場　僕は基礎固めを徹底してやったことが合格できた一番の要因だと思います。例えば古典は気合い入れて復習しました。山下先生の教材が素晴らしかったので。

小林　私の場合は、自分がやると決めたことはちゃんとやったことが合格できた要因だと思います。

中島　僕の授業への印象を一言ずつ言ってもらえますか。

田中　中島先生は合格最低ラインを示してくれて、しかも、そのラインをかなり超える目標を立ててくれたのですごく安心して勉強を進めることができました。あと、授業ではすごく集中できる雰囲気があったので授業に来たときは本当に知識が身についている感じがしました。

馬場　中島先生は生徒みんなにちゃんと声をかけてくれるので僕もコミュニケーションをとることができました。

小林　中島先生は私の学力の現状を把握してくれて、その学力に応じた課題を出すなど、常に適切な指導をしてくれました。授業の雰囲気は「みんなできるなー」という感じでした。

中島　小林さんは、精読はきちんとできていたけど、読むスピードが遅かったから、とにかくたくさんの英文を読むようにアドバイスしたよね。あと、授業ではみんながリラックスして勉強できるような環境を作ることを心がけています。人間はリラックスしているときに一番集中力を発揮できるからね。僕の講座はどんな人に合うと思う？

田中　英語を本当に得意にしたい人は絶対取るべきだと思います。ただ、基礎固めができていないとついていくのはきついかもしれません。

馬場　課題が多いので中島先生を信じてついていけることが大切だと思います。成績が上がらない時期もあると思うのですがそれでブレないことが大事です。僕はすべて中島先生にお任せしました。

小林　何をやったらいいかわからない人はとりあえず中島先生の講座をとるべきだと思います。

中島　では、最後に、言い残したことがあったら一言ずつ言ってください。

田中　他の予備校はパックで無駄が多かったけど成増塾は単科なのですごく助かりました。

馬場　自習室がよかったです。椅子は長時間座っていても疲れないし、冷蔵庫もあるし、教科書や参考書を置いていけるので次の日にもすぐに勉強をスタートすることができました。

小林　自習室が朝9時から夜22時まで使えたのが凄くありがたかったです。

中島　今日は本当にありがとう。これからも大学生活を大いにエンジョイしてください。

終始和やかな雰囲気で進行した座談会でした。終了後は同席した早稲田大学OBの高島塾長を交えて、笑顔の記念撮影を行いました。

数学科

押川定夏央

人気・実力ナンバーワン。
授業はフレンドリーで超楽しい!

【クラス定員 16 名程度】

押川講師の授業はわかりやすい上に面白く、体験授業を受けた生徒の大半は受講を決めてしまいます。

塾長から見た押川講師。

成増塾、数学科講師人気ナンバーワン！フレンドリーな雰囲気の授業ですが、体験授業を受けた生徒のほとんどが受講してしまうほどわかりやすい授業をされる人気講師です。パワフルな授業は圧倒的にわかりやすく、一人ひとりの生徒への気配りも本当に丁寧です。受講している生徒たちはみんな仲がよく、授業後も遅くまで質問や相談でなかなか帰ろうとしません。現在、特待生試験では押川クラスの生徒がもっとも多くの上位者を出していることからも、クラスレベルは非常に高いことがわかります。物理の講師も兼任する理系のエキスパートなので数学・物理セットで指導を受けることもできます。

数学の質問に答える押川講師。生徒は模試の問題が分からずに質問にやってきました。押川講師は即座に適切な解説を始めます。数学の問題であれば成増塾の授業で扱った問題以外のものでも全て教えてくれます。

押川講師の講座案内①

【講座名】数学IAⅡB発展

【概　要】

東大・京大・旧帝国大学をはじめとする最難関大学を目指す方が対象。(文理両方)

基本的な数式処理等に困ることはない(センター試験で数学は既に8割以上は取れる)という方が対象。内容は難しいですが、他では聞けないような難問に対するアプローチ方法に関する講義が中心の講座です。授業は、「まずその問題を見たときに何を思うのか」と、「思考の論理的なつながり」を重要視していきます。何となく解ける、というような曖昧な学力では意味がないので、すべての変形や思考に理由を求めていく形で進めていきます。

【前期の内容】

ＩＡⅡＢ全分野の知識事項の整理(各分野の体系化および手法・概念の確認)をしていきます。分野毎にまとめていく形式ではありますが、分野横断的な扱い方(例えば最大・最小のみに着眼したり)もしていきます。

【後期の内容】

全分野に渡る形の実戦的な形式でテスト演習をしていきます。各回には明確なテーマが用意されていて、それに関する類題演習も行っていきます。

【受講生へのメッセージ】

授業内容はかなり難しく課題量も多いですが、頑張ってついてきてください。

押川講師の講座案内②

【講座名】数学IAⅡB標準

【概　要】

地方国公立大学および私立上位の大学、問題難易度がそれほど高くない医学部を志望する人が対象の講座です。概ね、河合の全統記述模試で偏差値50～60の人が対象です。

授業内容としては、東大以外の大学であれば十分対応できるところまで扱います。発展内容をガンガン進めていくというよりも、「少し立ち止まっては復

習」を繰り返しながら重要な知識・考え方を身に付けていきます。(特に前期は、前回の授業の復習を必ず行っていきます。)

【前期の内容】

ⅠAⅡB全分野の知識事項の整理(各分野の体系化および手法・概念の確認)をしていきます。分野毎にまとめていく形式ではありますが、分野横断的な扱い方(例えば最大・最小のみに着眼したり)もしていきます。

【後期の内容】

全分野に渡る形の実戦的な形式でテスト演習をしていきます。各回には明確なテーマが用意されていて、それに関する類題演習も行っていきます。

【受講生へのメッセージ】

今まで曖昧だったことがはっきりとわかるようになります。頑張っていきましょう。

押川講師の講座案内③

【講座名】数学・理系総合

【概　要】

前年度に押川のクラスに在籍していた生徒のみが対象。

東大等の最難関大学を志望し、全国屈指の学力(東大模試偏差値70以上)を身に付けることを目標にします。

ⅠAⅡBⅢの全内容を一つの講座で扱います。基本的な内容も都度確認はしていきますが、基本的には難しい問題においてどのようにアプローチしていくかをディスカッション形式で一緒に考えていきます。各自が予習してきた答案を発表したり、自分が考えた内容を言葉にして説明してもらいます

【前期の内容】

知識の整理以外は分野毎に区切らずに、以下の構成で進行していきます。

●知識の整理(自習課題を配布し、多少解説を加える形式)

●基礎力演習(50分3題)　・標準問題演習(90分3題)

●予習問題の解説(各回4題)

【後期の内容】

より実戦的な演習をしていきます。

●基礎力演習(50分10題)　・標準問題演習(90分3題)

●最高峰の予習問題の解説(各回4題)

●後半はテスト演習になります。

【受講生へのメッセージ】

今までよりも内容のレベルが上がるので頑張ってついてきてください。

合格者の声

東京慈恵会医科大学医学部合格
九島遼大さん
暁星高校

★膨大な量の独自のプリントが凄かったです。すべて解くのはキツイ位の量ですが解説もあるのですべてやれば伸びると思いました。テスト形式での演習もあるので実戦対策もできよかったと思います。雑談も楽しく数学、物理以外の知識もつきます。

慶応義塾大学医学部合格
村上諒典さん
暁星高校

★私は、成増塾で高島先生の英語と押川先生の物理の授業を受講していました。お二人とも、生徒一人一人に親身に対応してくださる本当に頼れる先生です。押川先生は、物理が大の苦手だった私に、一から物理の考え方を教えてくださいました。結果、偏差値も30近く上がり、合格を引き寄せた最大の勝因になったように思います。直前期には、数学の講習でもお世話になりました。どちらの先生の授業も、それ無しでは合格できなかったと思います。本当にありがとうございました。

慶応大学医学部合格、村上諒典君と押川講師【数学】。村上君は第一志望の慶応大学医学部以外にも、千葉大医学部、順天堂医学部、慈恵医大医学部等、受験した大学すべてに合格しました。慶応大学医学部の合格発表のあと、お母様と塾に報告に来てくれました。

数学科

高橋直人

数学科実力派講師、丁寧な指導でぐんぐん力が伸びる。

【クラス定員12名程度】

誠実な人柄、わかりやすい授業で多くの生徒に支持される高橋講師。開成、東大数学科卒という超エリートでありながら生徒の面倒見の良さはピカイチです。本当に頼りになる先生です。

塾長から見た高橋講師。

成増塾の数学科、実力派講師の一人です。ご自身、開成、東大数学科出身の数学のエキスパートでありながら一人ひとりノートの書き方からチェックするなど非常に丁寧な指導をしてくれます。医学部専門塾での経験も長く、本当に頼りにできる講師です。

高橋直人講師の授業風景。1人ひとりノートの取り方、答案の書き方から指導します。このようなきめ細かい指導は少人数クラスでないと不可能です。

高橋講師の講座案内①

【講座名】数学IAⅡB標準

【概　要】

この講座は、早慶上智、上位国公立大、医学部向け となります。(文系・理系共通)

主に河合塾全統記述模試での偏差値が55～60の人が対象です。教科書の問題は解けるが少し捻った問題が苦手な方、入試の典型問題を固めたい方向けの講座です。基本的に**予習が前提**です。事前に与えられた問題を解いてきて、それを解説していきます。もし予習段階で分からない場合、問題集などで類題を参考にしながら解いても構いません。(最終的に自分のものにすれば良いのです)授業中は発問を多く取り入れ、生徒との意見交換を行います。授業中の質問も大歓迎です。積極的な参加を期待します。

【前期の内容】

おもに入試の基礎(いわゆる受験の定石)の確認をしていきます。教科書では書かれていないが、入試では必須の解法を紹介していきます。単元別に授業を行い、数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数Bの順に1周します。また単元の最後には章末テストを行い、理解が定着しているかを確認します。(初回授業では、最初の理解度を見るために、授業後に90分ほどのⅠAⅡBのテストを行います)

【後期の内容】

2周目は、整数・確率・平面図形・立体図形など、テーマごとに問題を扱います。**標準問題を軸としながらも、応用問題も多く扱い、思考力を鍛えます。**後期の後半からは、授業とは別に、毎回60分程度の実践テストを行います。

【受講生へのメッセージ】

数学は、基礎の積み上げ、および日々の継続が非常に大事な教科です。まずは計算力を身につけて下さい。数Ⅱの図形と方程式や微分積分の単元では、計算力が鍵となります。また定義や基本公式はしっかり理解して下さい。ここを盤石にするとあとが楽になります。予習課題は多めですが、全てやりこめば必ず伸びていきます！頑張ってついてきて下さい！

高橋講師の講座案内②

【講座名】数学Ⅲ標準

【概　要】

この講座は、早慶上智、上位国公立大、医学部向けとなります。(理系専用)

主に河合塾全統記述模試での偏差値が55～60の人が対象です。基本問題は解けるが標準問題が苦手な方、入試の典型問題を固めたい方向けの講座です。基本的に**予習が前提**です。事前に与えられた問題を解いてきて、それを解説していきます。もし予習段階で分からない場合、参考書や問題集などで類題を参考にしながら解いても構いません。（最終的に自分のものにすれば良いのです）授業中は発問を多く取り入れ、生徒との意見交換を行います。授業中の質問も大歓迎です。積極的な参加を期待します。

【前期の内容】

おもに入試の基礎（いわゆる受験の定石）の確認をしていきます。単元別に授業を行い、極限・微分・積分・複素数平面・2次曲線等の順に1周します。また単元の最後には章末テストを行い、理解が定着しているかを確認します。（初回授業では、最初の理解度を見るために、授業後に90分ほどの数Ⅲのテストを行います）

【後期の内容】

2周目は、不等式・平面図形・立体図形など、テーマごとに問題を扱います。**入試に頻出の典型・有名問題を中心に、標準問題も取り入れながら解説していきます。**後期の後半からは、授業とは別に、毎回60分程度の実践テストを行います。

【受講生へのメッセージ】

数Ⅲは、基礎の積み上げ、および日々の継続がⅠAⅡB以上に大事な教科です。

ⅠAⅡBが苦手な人でも、数Ⅲは日々しっかりと勉強すれば、誰でも得意分野にすることが出来ます。

1年間みっちり仕込みますので、頑張って下さい！

高橋講師が語る。

少人数形式の授業で、生徒一人一人に対して徹底的に面倒を見ていきます。

私の授業は、成増塾最大の特徴である、**少人数形式のメリットを最大限に生かした授業**を行っております。塾や予備校の場合、30人以上の広い教室で授業を行うことが多いのですが、その場合、講師が一方的に話すだけで、個々の生徒の様子が把握しにくくなります。ある生徒は計算が得意だが図形問題は弱い、別の生徒は計算が早いがミスも多い、など生徒によって得意不得意はまちまちです。それを画一的な授業で行ったとしても、大きな効果は得られません。

私は、成増塾や他の少人数形式の塾で成果を上げてきた経験が豊富で、ノウハウも数多く持っています。演習中は生徒の様子をすべて見て回り、**弱点を個別に指摘しながら、最善のアドバイスをしていきます。**生徒の学力に応じて、演習問題の内容を何パターンか用意することもあります。

一方で全体に情報を共有化させたいときは、ホワイトボードで解説します。数学では思考力を養うことが重要なので、生徒に考えさせるために発問をどんどん行ない、生徒同士で議論させたりします。ときには生徒に前に出てきてホワイトボードで説明させることもあります。生徒参加型の授業となるので、積極的に発言して、**楽しみながら授業を受けて頂きたいと思います。**

早慶上智・上位国公立大・医学部などの難関大学を目指す生徒を徹底的にサポートしていきます！

成増塾は、東大や東工大・一橋大、国公立大医学部などの一流大学に大きな実績をもった塾です。**私自身、成増塾で受験生を指導して、上記の難関大学に合格させる実績を出してきました。**以下はその一例です。

《 2015年現役生入試結果 》

A君　東大理1、慶応大理工、早大建築　合格
B君　東大文2　合格
C君　東工大（5類）、早大基幹理工　合格
D君　東工大（1類）　合格
E君　一橋大経済、早大商　合格
F君　慶応大理工、早大基幹理工　合格
G君　慶応大文、早大文化構想　合格
H君　徳島大（医）、日本医科大　合格
I君　筑波大（医）合格
Jさん　上智大法　合格

国公立大学や一部の難関私立大では、記述問題がメインとなっており、白紙の状態から答案をきちんとまとめられる能力が必要となります。答案の作り方については、各生徒の特長（長所・短所）を見ながら、1人1人に合わせて指導しております。また、疑問があれば授業前あるいは授業後に、時間の許す限り対応しますので、どんどん質問して頂ければよいかと思います。

近年は医学部を目指す受験生が多いですが、私は長年、医学部専門塾で受験指導を行い、高い実績を上げてき

ました。医学部特有の入学システムも熟知しておりますので、**医学部を目指す受験生の方もぜひ成増塾に来ていただければと思います。**

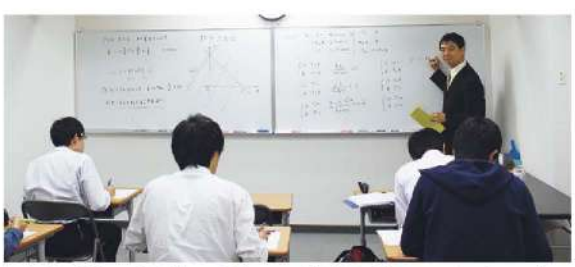
難関大学に合格するために必要なこと

数学は、難関大学入試の中で大きなウエイトを占めています。数学の成績向上に必要なものは、「知識」・「計算力」・「数学的思考力」です。このうち知識と計算力は練習量を重ねることで向上していきますが、数学的思考力については、なかなか向上せずに伸び悩んでいる生徒も多いと思います。**難関大学の入試問題は、教科書や参考書にあるような典型問題を解くだけでは、ほとんど太刀打ち出来ません。**未知の難問に遭遇したときの対応の仕方が問題になるわけです。

私の授業では、未知の問題に遭遇したとき、どのように考えたらよいかを１つ１つ有機的に分解し、**誰もが実践できる形で解説します。**高度な問題ではひらめきも要求されますが、問題文を正確に読み取り、論理的な思考力を身につければ、必然的に正しい発想が得られるわけです。

大学に合格するために必要なことは、**正しい答案をいかに大学の先生方にアピールするかです。**大学の先生が「これはウチの大学に来てほしい！」と思えるような答案作りをすれば良いのです。私は長年、大学（東京大学）や大学院で数学の研究をし、ＴＡとして大学で学生の指導をした経験もありますので、大学側が受験生に何を求めているかが良くわかります。

私の授業では、**小手先のテクニックではなく、大学に入ってからも授業にきちんとついていけるような教え方をします。**積分であれば、その根幹から教えて、いくらでも応用が利くような授業を展開します。数学の本質をしっかりと理解し、ぜひ第一志望の大学に合格して頂きたいと思います。



高橋講師の授業は生徒との対話を大切にしながら丁寧に進められていきます。高橋講師は常に生徒が本当に理解できているのかをチェックしてくれるので、高度な事項や難問でも安心して指導を受ける事ができます。

合格者の声

東京大学文科Ⅱ類合格
菅沼修祐さん
私立武蔵高校卒

★3年に渡り、数学を基礎から教わりました。模範解答を示しつつも、生徒の答えも尊重するスタイルが僕に合っていたと思います。そのおかげで数学は大きな得点源となりました。数学で合格したと言っても過言ではありません。ありがとうございました。

日本医科大学医学部合格
徳島大学医学部合格
帝京大学医学部合格
内田裕大さん
暁星高校卒

★中学1年生から高校2年生まで、長い期間、お世話になりました。先生の授業は基礎をかなり深く理解でき、演習を積むことで応用的な難問をすらすらと解くことができるようになりました。また、発展のプリントをくださり、生徒一人ひとりにあったカリキュラムを与えてくださるので、とても順調に成績を伸ばすことができました。授業外での質問などにも親切かつ丁寧に教えてくださり、数学を楽しく、早く完成させることができました。

上智大学法学部合格
K.Tさん
頌栄女子学院高等学校卒

★高橋先生には大変お世話になりました。数学が苦手な私でしたが、数学の基礎から丁寧に教えて頂きました。そして、無事に数学受験で合格することができました。また、どんな時でも相談に乗っていただいたことに心より感謝しております。

東京大学理科Ⅰ類合格
慶応大理工学部合格
高木 健さん
都立日比谷高校卒

★生徒と一緒に作り上げる授業で、とても考えさせられるもので、生徒目線に立った解法は、とても役に立ちました。また、興味あることは、大学範囲に踏み込んでも教えて下さり、数学好きにはたまらないと思います。

東京医科歯科大学医学部合格
昭和大学医学部合格
井口晋太郎さん
渋谷教育学園渋谷高校卒

★少人数クラスで、一人ひとり志望大学に合わせてきめ細かな対応をしていただきました。質問にも丁寧に答えていただき、数学への苦手意識がなくなりました。

数学科

安田成来

数学が不得意な人でも
必ず得意にする熱血授業。

【クラス定員 16 名程度】

数学の安田講師が指導にかける気迫はそばにいるだけで伝わってきます。どんなに苦手意識を持っている生徒でも安田講師の指導についていけば必ず数学を得意科目にすることができます。安田講師はまさに「数学が苦手な生徒の救世主」であると言っても過言ではありません。

塾長から見た安田講師。

押川講師と人気を二分する講座です。数学が不得意だけど、得意にしたいという生徒を大歓迎の講座です。安田講師は本当にパワフルです。授業前に、宿題をきちんとやってあるかどうかのノートチェックを先生が直々にすることから始まります。近くで見ていると「君、この問題は来週までに絶対できるようにしてきてよ」という感じで、ちょっと恐い感じもするのですが(笑)、そのスパルタ指導(！？)についていく生徒は必ず数学を得意科目にすることができています。まさに「授業で泣いて、合格発表で笑う」を体現する講座です。そのオリジナルプリントの量は全分野を合わせるとなんと2000ページを軽く越えるくらいです。ですが、この授業についていけば絶対に数学を得意課目にすることができます。中には「安田講師の授業のおかげで、苦手だった数学が得意になり、直前の慶応SFCの模擬試験では全国１位をとることができました。」という人(大妻高校出身　慶応大学環境情報学部合格、長澤茉由恵さん)もいるくらいです。受験学年にもなると、授業時間を大幅に延長し、終電近くまで生徒の指導に付き合うほどの熱心さ。数学以外でもかつてはロックバンドでプロのミュージシャンを目指していた「熱い兄貴」といった感じの講師です。

安田講師の講座案内①

【講座名】数学IAⅡB基礎

【概　要】

主に、河合塾全統記述模試での偏差値が50～55以下、早慶を第１志望とする生徒を対象(これ以上の大学でも合格点はとれるよう指導しますが、各単元初期に扱う内容の簡単さを考慮すると、国立志望者は標準、発展クラスの受講が望ましいです)とし、通年で完全な基礎から全範囲を一周させます。前述の偏差値の生徒は、日常的な勉強癖が付いていないことがほとんどです。標準、発展クラスに比べれば授業中での演習時間は少なくなりますが、その分はオリジナルの問題集を宿題として課し、毎週のチェックにより徹底的に管理します。

【前期の内容】

数学Ⅲの基礎となる、また数の中で一番簡単な「自然数」論である「数列」(第１章)を最初に扱います。この後は、どの大学でも半分程度は出題される「関数論」(f(x)が登場する問題)の基礎～標準的内容(第２、３章)を扱います。

第1章　数列
第2章　整関数とグラフ
第3章　いろいろな関数

【後期の内容】

前期の内容を基に、応用的な内容を扱って「関数論」を完成させます(第４、５章)。後は単体分野です(第６～８章)。通年で一周という弱点については、前期の内容を後期で繰り返し用いる、得点が期待しにくい分野は後回し、という構成で解消します。

第4章　関数・方程式・不等式への帰着
第5章　積分
第6章　ベクトル
第7章　場合の数・確率
第8章　整数

安田講師の講座案内②

【講座名】数学Ⅲ基礎

【概　要】

やはり、河合塾全統記述模試での偏差値が50～55以下、早慶を第１志望とする生徒を対象とします。なお、数学ⅠＡⅡＢ基礎クラスの受講を前提として説明を進める部分もあるので、セットでの受講が望ましいです。数学ⅢとⅠＡⅡＢの最大の違いは「微積分の対象となる関数が増える」ことであり、計算の複雑化に尽きます。計算さえ習得できれば、解法選択はⅠＡⅡＢよりシンプルです。徹底的な宿題の管理により、早期に微積分・極限計算を完成させます。なお、受験では計算が事実上不可能な問題も頻出であり、これに気付くためにも早期の計算習得は必須です。こういった応用的な内容、単体分野は後回しにし、通年で完全な基礎から全範囲を一周させます。

【前期の内容】

前述の通り、まずは計算を片付けます。なお、第１、２章については、入塾前、ないし第３章授業進行中での自習とし、その出来を授業内のテストで確認します。これが終わり次第、ⅠＡⅡＢと同様に「関数論」から扱い（第４章）、「求積問題」まで終了（第５章）させます。

第1章　微分計算

第2章　積分計算

第3章　極限計算

第4章　微分計算の利用

安田講師の授業は圧倒的な量のオリジナルプリントで、数学がどんなに不得意な生徒でも最後には必ず得意科目にできるという定評があります。

第5章　積分計算の利用

【後期の内容】

微積分・極限の応用的な内容（数列との融合問題、定積分による式の複雑化）、及び単体分野（第７章、補足講義）を扱います。なお、受験までに微積分・極限から離れすぎるリスクを軽減するため、「単体分野の第７章」→「第６章」→「出題頻度の低い単体分野の補足講義」の順で授業は行います。

第6章　微積分・極限の応用

第7章　複素数

補足講義　2次曲線／極座標

【受講生へのメッセージ】

大学受験数学で合格点をとる上で重要なのは、典型問題をいかにしっかりと解けるかであり、超応用的な問題を解けることではありません。最大限努力して、数多い典型問題の完璧な解法習得を目指しましょう。そのために必要な全ては、こちらで提供します。

合格者の声

昭和大学医学部 特待生合格

小塩媛子さん

雙葉高校卒

★まず私は入塾テストが17点でした。そこからのスタートでしたが先生のアツい授業を受け膨大な量のテキストをこなしていくうちに偏差値は75になり数学を武器にすることができるようになりました。授業延長は当たり前、さらに夜遅くまで質問に答えてくださったりで大変面倒見がよいので安田先生についていけば数学に関しては全く心配ありません。安田先生本当にありがとうございました。

東京工業大学工学部第Ⅲ類合格

秋山星佳さん

両国高校卒

★根本的な部分から教えていただいたことによりそれを応用する力が付き、また体系的な授業だったので問題へのアプローチの仕方がすごくわかりやすかったです。授業後にはたくさんの質問にも快く応じていただきました。苦手だった数学も得意科目にすることができ安田先生には本当に感謝しています。

国語科

門脇 渉

東大をはじめとする難関大国語の指導にも圧倒的な実績!

【クラス定員 16 名程度】

門脇講師は国語の指導においても右に出るものはいない程の圧倒的な実績を誇ります。

塾長から見た門脇講師。

門脇講師は英語だけでなく国語においても成増塾トップレベルの実力と実績を誇る講師です。門脇講師の授業はディスカションも取り入れる生徒参加型の授業です。生徒の意見を引き出し、全員で検証することで難関大の国語に対応できる真の思考力と実力を、知らず知らずのうちに身につける事ができます。また国立大で大きなウエイトを占める記述論述問題にも、門脇講師はきめ細かな添削で完璧に対応してくれます。

門脇講師の講座案内

【講座名】東大国語

【概　要】

東大に的を絞った国語講座です。東大の国語は、各指導機関ですら解答が分かれてしまうほどに難易度が群を抜いています。ましてや受験生にとっては、どのように対策してよいのか途方に暮れてしまうのではないでしょうか。本講座では、東大で博士課程まで思想分野の研究に携わってきた担当講師だからこそ分かる「東大が求める文系的知的素養」のエッセンスをふまえ、最も整合性の高いカリキュラムを用意しました。一方的な講義は行わず、受講生の答案を元にディスカッション形式で授業を行い、思考と表現の洗練を図ります。

【前期の内容】

国語の基礎とは何かがわかっていない受験生が大半であることから、現代文、古文ともに、まずは基礎的な知識と解法をまず整理します。その上で、典型的な過去問を素材に、出題者の意図を徹底的に研究します。

【後期の内容】

前期の内容をふまえて、より実戦的な演習に取り組みます。受講生全員の記述答案に目を通しながら、正しい思考と表現へと矯正を続けていくことで、合格者平均を大きく上回る得点力を身につけていきます。

【受講生へのメッセージ】

東大入試を攻略するための最も合理的な戦略とは、求めている知的水準を熟知することであると考えます。読解力と表現力を最高水準にまで磨き上げることで、東大の学生に相応しい知性を身につけて下さい。

合格者の声

東京大学文科Ⅲ類合格
松井誠泰さん
渋谷教育学園渋谷卒

★記述問題を中心とした演習を通して自分なりの解答の書き方を最適化することができました。特にディスカッション形式でおこなった演習は他の授業にはない深い理解を得ることができたと思います。また要約問題の添削は東大対策にとても役立ちました。

京都大学法学部合格
高橋 励さん
桐朋高校卒

★門脇先生の国語のクラスは一人の生徒が書いた答案について机の配置をコの字にして先生と生徒が意見を出し合うという双方向の授業でした。なので正しい答えの導き方を納得できるまで教えてもらい先生も生徒の答案をよく把握してくれました。

名古屋大学医学部合格
北林大弥さん
開成高校卒

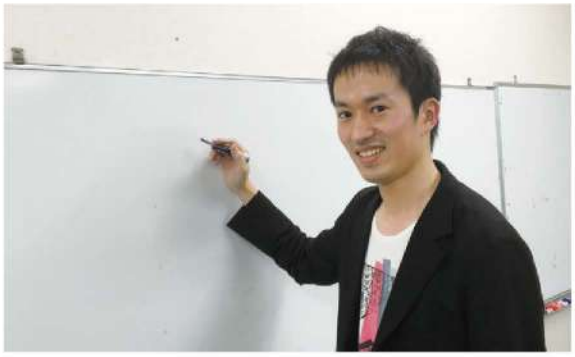
★家に近いという理由だけで入ってみましたが授業内容、学習環境ともに大変満足のゆくものであり、成増塾を選んで本当に良かったと思っています。

国語科

山下翔平

短期間で見る見るうちに国語が得意科目に!

【クラス定員 16 名程度】



塾長から見た山下講師。

山下講師は、都内有名予備校で人気講師でしたが、昨年より成増塾での指導を開始しました。山下講師は本当に指導熱心で常に教材研究をされています。毎年、国立、私立大学の入試問題をほとんどすべて自分で解いておられます。本気で国語が得意になりたいと思っている生徒に対してはとことん付き合ってくれます。現に、山下講師の授業を受けた結果苦手科目だった国語が短期間で得意になった生徒が続出しています。成増塾で国語講師として私が自信をもって皆さんにお勧めできる講師の一人です。

山下講師の講座案内

【講座名】難関大国語

【概　要】

まず基礎学力がなければ志望校合格はおぼつきません。そこで、授業では以下の成績を到達最低ラインに定め、なにがあろうともその基礎学力を突破していきます。

- **早慶上智志望の皆さん…河合・駿台模試で偏差値70以上、進研模試で75以上を到達最低ラインに定めます。**
- **MARCH志望の皆さん…河合・駿台模試で偏差値60以上、進研模試で65以上を到達最低ラインに定めます。**

【前期の内容】

受験生の対象は、早慶上智を第一志望に考える私立文系の生徒、並びに京大や一橋を筆頭とする難関国公立大学を第一志望とする生徒です。授業前のガイダンス等で詳しく説明しますが、国立大学の問題は解答作成能力を磨くのに適しており、私立大学の問題は読解力を磨くのに適しています。

そのような理由でテキストはオリジナルテキストを使い、国立と私立の過去問をバランスよく取り入れ、最大の成績向上が目指せるように工夫しております。私の場合授業では、クラスの全員が私立専願でも国立大学の問題を取り入れています。それは国立大学の問題に取り組むことが、私立大学志望の生徒にとっても学力を最大化させるものだからです。**浪人生は前期の努力で、受験の成否が8割方決まると心得てください。**前期で現代文、古文、漢文共に、基礎的な解法、基礎知識を網羅的に復習します。そして前期の時点で上記の最低学力到達ラインは突破していただきます。

【後期の内容】

前期授業で培った基礎力を前提に、実践的な問題演習に取り組んでいきます。みなさんの志望校や学力状況に合わせ、取り組む大学、学部に合わせてテキストを作成し、志望校合格を確固たるものにします。

【受講生へのメッセージ】

浪人は現役時代に自分の限界に挑戦したからこそ得られる、「挑戦者の証」だと認識しています。私はそのような道を選んだ皆さんを尊敬しています。まず私自身が誰よりも本気となり、皆さんの合格を全力でお手伝いさせていただきます。

山下講師が語る。

【自己紹介・受講資格について】

私の授業の受講資格は**本気**であること。本気の定義は、**【予習を行い、複数回の復習をかかさないこと】**です。その代わり皆さんご自身が本気であるならば、現状の学力と志望校との差がどんなにあっても受講していただいて構いません。高校1年生の内容からさかのぼり（その場合授業外フォローと課題を示します）、受験までに志望校合格に必要な学力を身につけます。本気の生徒の皆さんには最大限のお手伝いを一切惜しみません。皆さんの第一志望合格へ向けて、皆さんの潜む可能性を最大限に開くためのお手伝いを全力でさせていただきたいと思います。

私自身、部活しかしなかった高校時代は学年440人中434番でした。現役時代はそもそも勉強の仕方自体が分かっていなかったため、無駄な勉強が多く全国偏差値で50までしか伸ばせませんでした。しかし、問題点を修正した浪人時は、最終的に**全国11番**まで成績を伸ばすことができました(自分でもびっくりしました)。その最も重要な要因は私としては、**現役時の失敗と徹底的に直面し、日々改良しながら修正案を思い描いていたこと**にあると思っています。もちろん、私自身の個人の経験を安易に一般化することは慎重であるべきだと思っておりますが、みなさんは現役時での失敗をもとに修正プランを思い描き、この一年での合格を確実に達成していただきたいと思います。

【授業内容】

私の授業では基礎を最も重視します。失礼ながら現役時で落ちてしまったみなさんは、ほとんど全員基礎が不十分という認識をもっています。ですので、基礎、基本を固める**4月〜7月までの勉強が最も重要**であり、この時期での授業の内容はたとえ1つでも生徒が自分の頭で想起でき　ない場合は、不合格に直結してしまうという危機感を持って授業をしています。みなさんもそのような気合で頑張っていただきたいと思います。国語に関して言えば、この時期の学習の充実度で1年のほとんどが決まります。

クラス編成の話をいたしますと昨年までの授業では国立、私立の合同クラスでした。しかし、受講者数急増に伴い、今年度より**国立大国語(京大、一橋、旧帝大等)、と早慶上智国語**を新たに設立します。これにより、よりきめ細かな授業内容、テキスト構成をとることが可能となりました。具体的には、例えば国立大国語については、みなさんの志望校に応じて全く新しいテキストとしております。たとえば、京大志望の方がいれば京大の問題をふんだんに、かつ基礎から発展へとみなさんが学習に取り組んでいて無理なく、成長を実感できるテキスト構成に毎年内容をブラシュアップしております。これは**早慶上智国語**であっても同様であり、毎年毎年のテキストを受験生の志望学部に合わせて刷新しております。これにより、カリキュラムが固定した他の予備校とは一線を画した形で、生徒の皆さんが志望する学部の過去問について、効率的な形で演習することを可能にしています。

また、受験というのは受験科目全てにおいて、バランスの良い学力を要請することが欠かせません。**そこで、私の授業では現代文、古文、漢文を3時間1コマの授業ですべて扱うことで、極めて効率的な学習を可能にしています**(他の予備校でも現代文、古文、漢文のレギュラー授業をすべて担当していました)。これにより、科目数が多い国立大学受験生は、重要な英語、数学等の科目の演習時間を確保できますし、私立受験生も最も重要な英語、非常に細かい社会の演習時間を割くことができるように配慮しております。

【サポート体制】

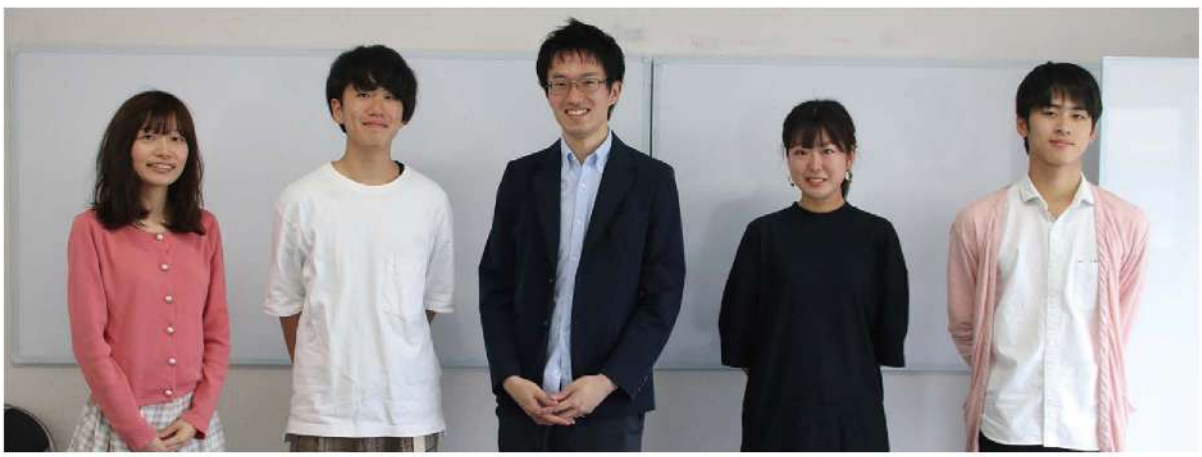
高卒生は、現役生と違いたくさんの自由な時間があります。その際、「自分で何が足りないのかを分析し、それを克服するような自主学習を行うこと」が強く求められます。これに成功すれば、現役とは比べ物にならないほど成績が向上しますが、逆に失敗すれば、伸び悩んでしまう可能性が高くなってしまいます。ただ、**それをすべて自分で行うのは困難でありますし、その把握を私たちと一緒に考えていくことが最もみなさんが望んでいることではないか**と思います。

そこで、私が現代文、古文、漢文の市販の参考書等はほぼすべて所有し、研究を行っているため、**一人一人と面談を実地し、全科目の実力と勉強時間を正確に把握した上で、皆さんに合った課題を提示し、演習量を最適化していくお手伝いをさせていただきます。**特に早慶上智志望に多いですが、それでもやる問題集が無くなった場合、私の作成した問題集を追加で提示いたしますし、これも「生徒一人一人の状況にあった課題なので、課題に取り組んでいて成長が実感できる」ように工夫しております。また、偏差値を40近く上げた自身の経験から、勉強が思うように進んでおらずペースメイクに自信がない方でも「無理なく」&「自信がつく」計画立案と進捗状況の現状確認を行っています。

私の授業を受講する本気の生徒であるみなさんには、私自身を最大限ご活用ください。みなさんの志望校合格を誰よりも私自身が**本気**でお手伝いをさせていただきたいと思っています。

【座談会】

山下講師と合格者が語る、『答えを出すまでの先生の頭の中…思考のプロセスを再現してくれる授業。』



早稲田大学教育学部
社会科地理歴史専修 合格
中下乃栄さん
（都立新宿高校出身）

上智大学外国語学部
英語学科 合格
星野維吹さん
（都立青山高校出身）

慶応義塾大学法学部
法律学科 合格
濤岡瀬里奈さん
（豊島岡女子学園高校出身）

東京大学教養学部
文科Ⅱ類 合格
伊藤優志さん
（麻布高校出身）

山下　今日は集まっていただいてありがとう！それでは座談会をはじめましょう。まず皆さんに塾に来る前、勉強がどういった状態だったのかお聞きしたいと思います。まず最初に中下さんからいきましょうか。中下さんが僕の授業を受けたのは2年生の2月(新学期が始まった当初から)でしたよね？

中下　そうです！でも塾に来る前は本当に勉強してなくて、偏差値も５０～５５くらいで全然ダメでした。古文は高3なのにはじめは助動詞すらもあやふやな感じで…

山下　そうでした？そんなことなかったですよ。

山下 翔平講師

中下　いやいや私授業中に助動詞覚えてなさ過ぎて、授業中に先生に怒られましたよ！（笑）

山下　そんなこともありましたか。

中下　まあ私は怒られないと全然やらないタイプだったので、それをきちんと言ってくれる先生でありがたかったんですけど 笑　とにかく最初は早稲田とかは夢のまた夢でした。

山下　よくそこから頑張ってくれました。では塾に入る前どうでした？星野くんは部活の関係で3年生の早慶クラスに6月まで出席できず、それまでは**3年生だけど2年生のクラスに参加してた**んですよね。

星野　そうなんですよ。僕は**国語に関しては本当に終わっていて、古文も漢文も完全に0でした**。そもそも早慶クラスに所属できるのかどうかすら心配してたくらいです 笑。ですから、先生が授業中に毎回フォローしてくださったのは本当にありがたかったですね。

山下　僕のクラスは**主体的に努力する意志さえあれば誰でも入れますよ**。勉強面ではたしかに星野くん、最初は本当にさっぱりでしたね 笑。2年生の課題にプラスして、6月に早慶クラスに参加するときスムーズに入れるように、3年生の課題も2年生の課題とは別に渡したんですよね。よくがんばってくれました。

星野　4カ月近くもお時間を割いていただいて恐縮でしたが、本当に心強かったです。その最初の4カ月で基礎が強化できたことが国語で合格点を取れたことに繋がっていると思います。

山下　でも星野君はたしかに古文漢文は苦手だったけど、現代文はできましたもんね。早慶上智クラスを狙うなら「古文漢文が苦手」っていうのは全然巻き返せるんですが、「現代文が全然できません」っていうのは、少し大変です。なぜなら現代文は17～18年の積み重ねがあるので、1年では間に合わないケースがあるんですよね。そういう生徒は2年生から鍛えないといけないのですが、星野君は現代文に関してそこまで苦手でなかったので十分早慶上智を狙える素質はあると思っていました。

それでは次は濤岡さんにいってみましょうか。濤岡さんは2年生の当初から授業に参加されていましたね。賢くてとても優秀で、当初から「この子は出来るな～」という印象しかなかったですね。

濤岡　いやいや私も最初は全然ダメでしたよ。最初の方の授業で**「花咲かぬ」と「花咲きぬ」の違い分からなかったですもん**。（笑）

山下　まあ2年生の最初はみんなそんなもんですよ。2年生の最後の方が駿台記述で英語が偏差値78、国語が偏差値75くらいありましたもんね。学校の先生も2年生の終わりには東大を勧めておられたみたいですが、濤岡さんは慶應に興味があって慶應にしたんですよね。

濤岡　そんなこともありましたね。でも高1の時は同じ模試で国語は60もいってなかったです。先生の授業を受けて伸びたんですよ。（笑）

山下　そうですか？べつに無理にお世辞は言わなくても大丈夫ですよ。（笑）　正直に思っていることを言ってくれた方がしっかり受験生には伝わるので…（笑）

それでは、最後は伊藤ちゃんにいきますか。伊藤ちゃんは1年生の時から2年生のクラスに参加してくれてましたよね。そういえばそもそもなんで成増塾に入ったんですか？

伊藤　中学受験をしていた塾の特待生で、中学まではほぼ無料で塾に行けてたんですよね。でもお金もかかってないし～ということで遊びまわっていました。また中学までは基本的にバスケ部の部活ベースで生活していたので、全然勉強してなくて…「そろそろやるか～」みたいな感じで成増塾に入りました。

山下　そのとき結構勉強は遅れてた感じだったんですか？

伊藤　勉強がみんなに比べて極端に遅れていたわけではなかったのですが、**東大を目指すにあたって「これではいけないな」という危機感は感じていました**。

山下　そうなんですね。でもなんで成増塾に入ろうと思ったんですか？僕もちょっと失礼な言い方ですが、予備校講師一年目のときに大手予備校を受けて落ちて、それから塾を探してはじめて成増塾知ったんですよね。その後、その予備校も受かってしばらく

出講してたんですが、成増の方が納得のいく授業できると思って結局成増に集中するようになったんですが。

伊藤　僕は基本的に少人数が良くてそれで大手も含めていくつか体験授業に行って見たんですが、講師の距離の近さなどが一番成増塾が自分に合ってたと感じたので、成増塾に決めました。

山下　そうだったんですね。ほかのみんなは何で成増塾に通おうと思ったんですか？

中下　私は高田馬場が通学路だったんですが、その時塾の看板が見えて「通いやすいかも」と思ったので…（笑）

星野　僕は兄も成増塾に通ってて。兄は慶應に合格したんですけど、そのせいもあってか母が「あんたも成増に行きな」って。（笑）

濤岡　私は家から近かったので成増塾にしました。最初は英語しか取る気なかったんですけど、山下先生が説明会で話してて「なんかすごく面白そうな人だな」って思ったので。（笑）

山下　そうなんですね。説明会は保護者の前でお話しする機会が普段ないので、毎年何を話していいか分からずとても緊張するので、そのときもきっと慌てふためいていたのでしょう。（笑）

みなさん色々お話していただきましたが、単刀直入に成増塾に入って成績伸びましたか？別に「国語は伸びなかったけど英語でカバーした」とかでもいいので。

中下　たぶん…伸びました！

山下　たぶんなんですね。

中下　早慶模試が二回あって1回目は同じ学部の志望者の中で７位だったんですよ！でも2回目で最下位近くまで落ちてしまったので…結局上がったか上がらなかったかよくわかりません。

山下　早慶模試は相当癖が強いですからね。他の模試はどうでした？

中下　河合塾とかは65くらいだったと思います。

山下　そうなんですね。それではおそらく中下さんは受験の最後に伸びたのかもしれませんね。早稲田は合格者を絞った関係で河合の65程度だと少し厳しくなっていて、70弱程度は欲しいところです。もちろん模試はあくまで目安であって過去問が一番大切ですけどね。星野君はいかがでした？

星野　数値とかはちょっとそこまで覚えていないんですけど、**塾塾に入る前は現代文はほぼフィーリングで解いていました。**先生がよくおっしゃってる解答根拠なんて全然考えていなかったです。**でも先生が授業中にほぼ全問解答根拠を精密にとって解いてくださったので、それを真似しているうちに現代文の成績がかなり安定してきたなっていう実感はあります。**

山下　そうなんですね。授業中も言いましたが、特に**上智は選択肢が細かく消去法ではほぼ対応できないですからね。それ以外の早稲田やMARCHなどの選択肢がある私大でも「自分で解答根拠を探す態度」がないと点数はまず安定してこない**んですよ。

濤岡　私もそれはすごく実感しました。国語はなんかいつもテキトーに解いていて安定してなかったんですけど、解答の根拠をしっかり取るようになってからは特にセンター模試で170～180で安定してきました。

山下　それはすごいね。センター国語は文系科目の中で一番難しいですからね。

濤岡　特に評論文でほぼ落とさなくなりました。早慶模試はイマイチだったんですけど…

山下　早慶模試はね…そもそも早稲田だけ、慶應だけで見ても学部ごとに「違う大学」と言っていいほど傾向が違います。ですから「早稲田模試」でもちょっと無理があるんですよ。その2つをくっつけて「早慶模試」なので、どうしても実力が反映されにくい部分はあるんですよね。問題も非常に難しいですからね。

伊藤　僕の場合は国語は一番模試とかでは不安定でした。数学や英語はある程度安定していたんですが、国語はちょっと波が激しかったですね。最初に実感したのは学校の模試でしたね。国語の授業に参加し始めてしばらくした後の高校2年生の模試とかで「解けるな」って実感し始めました。

山下　模試で安定すると自信になりますよね。

伊藤　ただ、東大模試はなんとも言えない感じでしたね。夏の東大模試は河合でC判定の駿台A判定で自分もどっちの成績を重視すればいいかちょっと困りました。

山下　東大模試は各予備校によって、出題や採点の特色がかなり色濃くありますからね。東大の解答速報を見比べても相当に解答がブレているので模試基準で自分の実力を測るのは難しいですね。あくまで過去問を基準にするのがよいですよね。

伊藤　ただ、終盤までいくと**演習をかなり積んだこともあって自信がかなりついてきました。**自分ができるようになっている」っていう感覚があったので、**本番ですべることはないなっていう確信**は受験前にはありましたね。（東大本番の国語は78点の高得点）

山下　たしかに伊藤ちゃんは終盤は授業中の発言も鋭かったので、僕も勉強になりました。**国語は「自力で根拠を取れるようになること」が死活的に重要**だということですね。**その力は一定の方法論を常に持って問題にあたる→フィードバックを得て修正する形での積み重ねでしか成しえません。**成績が伸びたみなさんはみなそういう姿勢が自然と身についている人ですね。

さて、それでは僕の授業の良かった点と悪かった点を聞かせていただけると嬉しいですね。特に悪かった点は僕の授業の改善につながるので、是非聞かせていただければと思います。

中下　先生の良かった点は、設問について「どうしてそういう答えにしたの？」っていつも聞かれるので、なんとなくで選べなくなったことですね。答えがあっていてもプロセスが曖昧だとしっかり修正してくれるので、**ごまかさずに解答根拠を取る癖がついた**のがすごくよかったです

山下　現代文は解答に至るプロセスが一番重要だからね。そこを鍛えて初めて成績が安定するよね。

中下　古文は基本的な知識を授業中に何度も繰り返してくれたので、助動詞や敬語の用法が自然と覚えられたことですね。多分20回くらい同じことを繰り返していたので、さすがに骨身にしみて理解できました。（笑）

山下　英語や社会と比べて古文は日本語と似てるところがあるからどうしても、日々の生活のなかで知識が薄れていくのが早いんですよね。大事といっても**国語という科目の一分野だから受験生は英語や社会ほど時間を割くわけにもいかないので。**ですので、**授業中で古文の基本事項は繰り返しに繰り返して誰でも覚えられるようにするというのは僕の一つのモットーですね。**

中下　ただ改善点というか要望は現代文の授業は基本週に1回で、問題集も解答のプロセスに納得できない問題も多かったので、もう少し現代文の演習を増やしてほしいな～とは思いました。

山下　そうなんですね。それに関しては実は既に手を打ち始めていて、**YouTubeで演習用の教材を作って投稿しています。40講の予定なのですが、そうすれば、通常授業の60回と演習教材の40回を合わせて100問になります。**これは他の予備校の2倍以上の演習量ですので、あとは私大文系なら英語と社会に回していただければと思います！

星野　良かった点は古文を十分にやってから漢文をしていただいたのがよかったですね。古文の基礎的な力を付けた後に漢文に移行してもらえたので、僕のような両方全然知識がない人間にとってはありがたかったですね。学校は同時並行だったんですけど、古文の知識がないと漢文も読めないので…

山下　そうですね。古文の学習をまずしっかり行うのが漢文においても重要ですよね。

星野　困った点は、先生の授業は大体早慶上智の過去問ベースじゃないですか。でも自分でGMARCHの問題解くときは初見の問題で、後半の方はあまり授業でも扱わなかったので解きなれなくて。そういった意味では中下さんとちょっと被るんですけど、GMARCHレベルのペースメーカー的な問題集は欲しかかったかもしれないですね。

山下　なるほど！やはりお2人ともその要望ってことは現代文の問題演習は受験生に需要があるのですね。ありがとうございます。濤岡さんはどうですか？

濤岡　私も先生が授業中に質問してくださって絶対プロセスを答えさせようとしてくれるのがとてもよ

かったです。さっきも言ったかもしれませんが、結局フィーリングで解いてしまう癖がなかなか取れなかったんですが、先生がしつこく何度も聞いてくるので、プロセスを考える習慣が自分の中で身に付きました

山下　プロセスの確認がしつこい点ですね。現代文は英語や社会のように同じ用語がいつも聞かれるわけではないので、**現代文力の根幹は解答に至るプロセスの充実にある**と考えています。受験生の多くがなんとなくで解いてしまっている現状があるので、その改善のためには指導者が何度もしつこく聞くことで思考の癖をつけるのが効果的だと考えています。

濤岡　改善点としては、私も先生が古文や漢文の知識を何度も繰り返してくれるのはすごくありがたかったんですけど、テキストの下のスペースが少なかったので、書ききれないことが度々あったので、もう少し大きくしてくれたらうれしいです。

山下　そうでしたか。それは失礼しました。ではスペースはもっと広めに取るように修正します。(濤岡さんのご指摘を受けて、今まで6cmだったテキスト下部のスペースを7.5cmに増やしました)

濤岡　あと現代文とは別に古文漢文の演習教材も欲しいかもしれません。古文は市販の参考書でもよいかもしれないんですが、漢文はあんまりそういったものもなくて、最後の方はやるものがなくなっていました。

山下　たしかに古文は結構市販の参考書も充実してるけど、漢文は少ないですよね。分かりました。それについても準備しますね。伊藤ちゃんはいかがですか？

伊藤　僕が先生の授業で良いと思う点は「先生が自分の解答を絶対視しせず、多角的に検討している点」だと思います。もちろん十分に自分の解答は示されていましたが、そのうえで他の予備校や出版社の解答も並べて受験生に多角的な視点を持たせようとしていたのがよかったですね。

山下　**生徒との議論がなければ、少人数制の国語の強みを生かせない**と考えています。現代文は全ての受験科目でもっとも思考力に依存する科目ですからね。逆に言えば教師の誤りが最も生じやすい科目という怖さがあるんですよね。だからこそ、議論を通じて**「予備校講師の答案を批判的に検討できる力」をつけるのは必要になってきます。**講師のいうことを素直に聞いているだけでは太刀打ちができなくなってしまいますね。

伊藤　改善点はたぶん昨年は先生が毎週飛行機出張で忙しすぎたことと関連してると思うのですが、たま～に授業中に行う解答の修正が多いときもあったなあと。（笑）

山下　その点については本当に申し訳ありませんでした。これは完全に言い訳ですが、たしかに飛行機出張が毎週あるっていうのは予想以上に体力的につらかった時期もありましたね…伊藤ちゃんの言う通りかなり授業中に修正が入ることもありましたもんね…。今年度以降はもう出張もないので、その点についてはご安心ください。

伊藤　ただ先生の授業は演習の負担を出来るだけ抑えつつ、効果がある勉強を狙ってくださっていたので、そこはありがたかったですね。どうしても東大は英・国・数に加えて社会2科目なので、演習効率はものすごく重要でした。どうしても英語と数学に大半の時間を割くことになるので。そこのところを意識していただけたのはありがたかったですね。

山下　そうですね。**東大の場合配点こそ英語と国語が一番大きいですが、どうしても英語・数学の2教科に一番時間がかかります。**科目の性質として英語や数学は得意な生徒なら7割超えは十分狙えますが、国語は高得点が取りにくく、英数に比べ、1割程度取得できる点数が下がります。であれば、国語は70点程度取れるならば取り合えず後は他科目に回すという戦略を取る必要があります。

また私大文系の場合も英語が圧倒的に重要です。英語の勉強時間が全体の50%程度必要で残りを社会、国語に振り分けていくイメージですね。**受験は各科目のバランスが最も重要です。**そこには十分配慮した上で演習教材のセレクトを行っています。

星野　たしかに僕も最初国語は全然ダメでしたが、国語をやりまくったという感覚はないですね。特に僕は外国語学部志望で、やはり英語に時間を割く必要があったので。先生の授業を受けているうちにいつの間にかできるようになっていたという感じです。

山下　私大文系の場合は古文・漢文が０の状態から早慶上智を狙う生徒は多いですからね。そういった０からでも成増塾の60回授業の特性を生かして早慶トップレベルまで引き上げるカリキュラムを組んでいます。

星野　そうですか。これは個人的な興味があって先生に質問したいんですが、合格する人と落ちる人との違いはどこにあるんでしょうか？

山下　**「主体的に勉強ができるかどうか」**ですね。それが圧倒的に重要です。勉強に限らず困難に挑戦する際の最低限の要素として、**努力、戦略、選択**であると思っています。講師は生徒一人一人の学力を見て、**大きな枠組みとして志望校合格に最適な勉強戦略とどんな教材を使うべきかという選択**を提供するのが最低限の仕事です。しかし、努力は生徒にしかできません。たとえば早慶は三教科においては東大と変わらない学力をつける必要があり、なんとなくの勉強で早慶まで行く確率は限りなく低いです。逆に主体的に勉強する意志がある生徒であるなら、大手予備校とは一線を画する高い確率で志望校まで導ける自信があります（現役クラスの早慶上智志望生のうち2019年の合格率は44%）。

東大に関しては、東大を目指そうという生徒でなんとなく勉強しているという方はほぼ考えられないので、そこは心配していません。科目数が多いので、2年生のうちから英数国の主要教科はある程度のレベルにまでもっていってほしいということはありますが。

星野　ありがとうございます。

山下　いずれにしても、受験に向かう生徒のための最適なカリキュラムと学習環境を整えるのが講師側の仕事です。そのうえで、**「生徒が持っている可能性を最大化する」**お手伝いをさせていただきたいと思っています。そのためには講師である僕が学び続ける必要があります。今日はお忙しい中集まっていただき、様々な示唆を得ることができました。ありがとうございます。大学生活はぜひ楽しみながら学び、様々なことに挑戦してください。それが社会人になってさらに人生を楽しめる力につながってくると思います。それではみなさん本日はどうもありがとうございました！

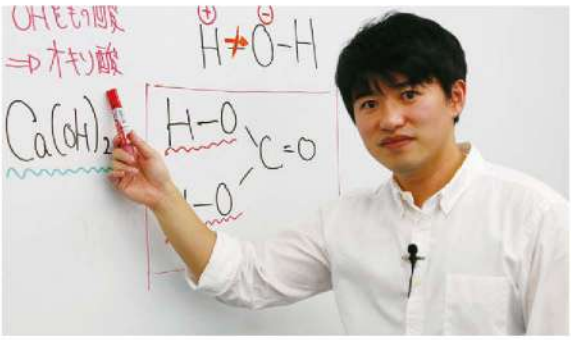
理科

化学

森本恭彰

化学の勉強が好きになる、楽しくてわかりやすい授業。

【クラス定員 16 名程度】



本当に楽しく、わかりやすい授業をされます。知らず知らずのうちに「森本ワールド」に引き込まれ、いつの間にか化学が大好きになってしまいます。

塾長から見た森本講師。

森本講師は、有名予備校で教鞭をとってきた経験も豊富で、授業がとてもわかりやすく、教えるのが非常にうまい講師です。何よりも教えることを心から楽しんでおられるのでそれが生徒にも伝わってきます。わかりやすい授業をすることはもちろんですが、さらに生徒が授業内容をマスターするために演習時間を取り入れるなど、様々な工夫をしておられます。私が絶対の自信を持ってお勧めできる講師の一人です。

森本講師の講座案内①

【講座名】化学発展

【概　要】

センター試験で75点以上の点をとれる実力があり、難関国公立大学、難関私大、上位私大医学部を志望とする生徒対象。

[授業前半]まず、その日に扱うテーマの基礎原理をチェックテスト形式で確認します。このテストの結果を基に、授業で化学用語や現象の奥底にある原理を研究し、「これだけは知っておきたい」という定石問題の解き方・考え方をマスターしていきます。

[授業後半]授業前半で習得したことを確認するために問題演習を行います。おそらく解けない問題がでてきますが、そこで「何故解けないのか」原因を追究して、その一問だけではなく他の類似問題にも活かせるような解法を伝授し、化学的思考力を磨きます。

【前期の内容】

前期では、化学全範囲の基礎習得を目指します。基礎とは、簡単な問題が解けることではなく、「基本用語や化学反応式が説明できること」から「定石問題の解法を理解すること」までを「基礎」と考えています。

【後期の内容】

後期では、前期で習得した道具を使いこなせるようにするため、「わかる⇒できる」をモットーに演習中心の授業を展開していきます。定石問題だけではなく、応用問題まで徹底的にトレーニングしていきます。

【カリキュラム予定】

1	4月	原子量の定義と周期表の基本
2		化学結合と極性
3		酸・塩基
4		酸化還元
5	5月	電池・電気分解
6		無機化学①
7		無機化学②
8		無機化学③/溶解度
9	6月	気体
10		溶液の性質
11		熱化学
12		反応速度と化学平衡①
13	7月	化学平衡②と電離平衡①
14		電離平衡②
15		炭化水素と脂肪族化合物
16		芳香族化合物①
17	8月	芳香族化合物②と油脂
18		糖類
19		アミノ酸
20		合成高分子

1	9月	中和, 酸化還元, 電気分解
2		天然高分子化合物
3		平衡総合
4		有機化学構造決定
5	10月	気体の製法と工業的製法
6		気体総合
7		合成高分子化合物
8		溶液の性質
9	11月	油脂
10		金属イオンの分離と無機化学構造決定
11		熱化学と反応速度
12		出題形式別総合演習(記述式)
13	12月	
14		
15		出題形式別総合演習(マーク式)
16		
17	1月	大学別総合演習
18		
19		
20		

森本講師の講座案内②

【講座名】化学基礎

【概　要】

センター試験で75点以下の生徒。基礎からもう一度やり直したい生徒対象。(基礎とは、決して簡単な内容ではありません。以下、参照して下さい。)

[授業前半]まず、その日に扱うテーマの基礎をチェックテスト形式で確認します。「基本用語や化学反応式が原理から説明できること」から「定石問題を正しく

解けること」までを「基礎」と考えています。このテストの結果を基に、授業では化学用語や現象の奥底にある原理を研究していきます。

［授業後半］授業前半で習得したことを用いて、「これだけは知っておきたい」という定石問題の解き方・考え方を伝授していきます。そのあと、時間の許す限り、理解度を確認するため問題演習を行います。

【前期の内容】

前期では、理論化学・無機化学の全範囲と有機化学の芳香族分野まで扱います。この前期で、化学反応と計算の考え方の土台を作り、基本用語や化学反応式が自分で説明できること、定石問題の解法を理解することを目指します。

【後期の内容】

後期では、まず前期で扱えなかった高分子化合物を扱い、全範囲が終了します。その後、前期で習得した道具を使いこなせるようにするため、定石問題を徹底的に繰り返し演習します。その後、応用問題まで手を広げます。

【受講生へのメッセージ】

何かを得るためには、何かを犠牲にする覚悟が必要です。そのため、日々１分１秒大切にしましょう。その努力が未来の自分を創ります。目標を見失うことなく、粘り強く闘い続けましょう。

【カリキュラム予定】

1	4月	原子量の定義と周期表の基本
2		化学結合と極性
3		酸・塩基①
4		酸・塩基②
5	5月	酸化還元①
6		酸化還元②
7		電池・電気分解
8		無機化学①
9	6月	無機化学②
10		気体
11		溶解度
12		溶液の性質
13	7月	熱化学
14		反応速度と化学平衡①
15		化学平衡②と電離平衡①
16		電離平衡②
17	8月	炭化水素と脂肪族化合物①
18		脂肪族化合物②
19		芳香族化合物①
20		芳香族化合物②と油脂

1	9月	糖類
2		アミノ酸
3		合成高分子①
4		合成高分子②
5	10月	平衡総合
6		天然高分子化合物
7		気体の製法と工業的製法
8		気体総合
9	11月	有機化学構造決定
10		合成高分子化合物
11		理論計算総合
12		金属イオンの分離と無機化学構造決定
13	12月	油脂と有機総合
14		理論計算総合
15		出題形式別総合演習
16		
17	1月	大学別総合演習
18		
19		
20		

合格者からの声

防衛医科大学医学部合格
板倉玲二郎さん
筑波大学付属駒場卒

★苦手で仕方なかった化学だが、1年の授業を通していつの間にか物理より安定した科目になっていた。

東京農工大学工学部合格
中野志保さん
大妻嵐山高卒

★化学の本質を基礎から学べ、かつ、受験によく出る計算を重点的にやってもらえてよかったです。また、リクエストで自分が苦手なところをやってほしいという希望が通りやすかったのもうれしかったです。

慶応義塾大学理工学部合格
四釜快弥さん
芝浦工大柏卒

★現役の時に一番苦手な科目で、センター試験でさえ4割を切るほどでした。しかし、先生の丁寧で楽しい授業のおかげで8割近くまで伸ばすことができました。

広島大学理学部合格
福田智代さん
国府台女子学院卒

★始めは化学が苦手でかつ嫌いだったので化学の理解度は底辺でした。1年授業を受けたことで化学はかなり好きな科目になり、また安定して得点できるようになりました。

明治大学農学部合格
森田桐子さん
日大第二高卒

★基礎から丁寧に教えてくださり、一番安定した教科にすることができた。質問にも多くの時間を割いてくださり、本当にありがたかったです。

藤田保健衛生大学医学部合格
佐藤亮介さん
高卒認定試験

★何といっても予備校業界一の演習量を誇る授業だと思います。その一方で合格に必要な最低限度の知識を板書でまとめてくれるのでとても助かりました。表面的な理解にとどまらない化学の実力をつけることのできる、とらない手はない授業であると思います。

理科

物理

押川定夏央

数学とセット受講で物理を究める。

【クラス定員 16 名程度】

数学同様、押川講師の物理は大人気の講座です。

塾長から見た押川講師。

数学科講師と兼任。数学同様の人気講座です。物理で扱う様々な現象を本質的な部分から解き起こし、鮮やかに難問を解いてくれます。それだけでなく、生徒は着実に力がつき、東大合格者からも絶賛されています。

押川講師の授業はその堂々たる風貌通り、迫力満点です。基礎から丁寧に説き起こし、発展的な事項を初学者にもわかりやすく解説してくれます。

押川講師の講座案内①

【講座名】物理発展

【概　要】

東大・京大などの旧帝大・東工大や早慶の理工系上位大学志望者を対象とした講座。センター物理で70点以上は取れる方が対象。

基礎クラスは全内容を基本内容から扱っていきますが、発展クラスは各分野の重要問題の演習から、その問題を解くために必要な知識に戻っていく形式で進行していきます。知識事項については、参考書に載っていないような実験の意義、目的、何故そのようなことを考えたのか、等の細かい事柄を解説していきます。物理に関して、全国屈指のレベルとなることが目標の講座です。なお、微積は極力使いません。

【前期の内容】

予習問題(上位校での重要なテーマ中心)は力学・電磁気・熱力学・波動のうち、各月で２分野ずつ解説していきます。同時に基礎力確認問題の演習(習熟度の低い細かいテーマ中心)および原子物理を基礎から扱います。

【後期の内容】

引き続き、重要テーマを中心とした予習問題の解説と、テスト演習をしていきます。

近年の入試で出題された新しく重要テーマになりうる問題も扱っていきます。

【受講生へのメッセージ】

物理はちゃんと知識を入れ、現象を理解すれば誰でも得点源にできます。得点源にできるように頑張っていきましょう。

押川講師の講座案内②

【講座名】物理基礎

【概　要】

物理をはじめから体系立てて学習したい人が対象の講座です。「基礎」という講座設定になっていますが、実際に学習する内容は早慶理工学部や東大以外の上位大学までは対応できる内容になっています。単に数式を追いかけるのではなく、一つ一つの現象についてしっかりと理解を深め定着させることが目標です。授業の冒頭では、前回の授業の内容の復習問題の演習も行っていきます。偏差値70が目標の講座です。なお、微積分は極力使いません。

【前期の内容】

力学全分野・電磁気学全分野(一部後期に持ち越し有り)を扱っていきます。

【後期の内容】

熱力学・波動・原子物理を扱っていきます。後半は入試問題演習およびこれまでの復習を行います。

【受講生へのメッセージ】

今まで曖昧になっていた部分がすべて根本からしっかり理解できる講座です。物理を得点源にできるように勉強していきましょう。

授業中の押川講師。この写真撮影時、すでに授業終了時間を30分以上過ぎています。成増塾の講師の中には定刻になればすぐに帰ってしまうような人はいませんが押川講師は特に熱心な講師のひとりです。生徒からの要望があれば納得がゆくまで説明を続けます。

合格者の声

横浜国立大学理工学部合格
半澤美玖さん
雙葉高校卒

★押川先生のオリジナル教材は基礎から応用までを網羅しているだけでなく以前に出てきた問題と似たものが多々出てくることで自分の復習の不十分さを感じさせてくれたので次に生かそうという気持ちを強く持つことができました。

早稲田大学創造理工学部合格
高橋立さん
芝高校卒

★予習→演習の流れで「まとめ集」によって弱点を潰せたので物理に対する不安を失くせた。

聖マリアンナ医科大学合格
新村朱音さん
日本女子大付属卒

★高1の時から受験直前までずっと教えていただいてたので押川先生なしに私の受験生時代は語れないと思っています。授業は復習問題などとにかくたくさんの問題を出して下さり、着実に力をつけられました。また毎回の授業が本当に楽しくて前向きな気持ちで塾に行けました。相談にも乗ってくださいました。本当にありがとうございました。

見事、東京大学理科Ⅱ類に合格した池田太郎さん（右下）と合格者の皆さんとの記念ショット。

国際医療福祉大学医学部に合格した八尾万由さん（左）と東京理科大学理工学部に合格した齊藤橘花さん（右）と押川講師との喜びの3ショット。

理科

生物

中嶋 寛

受験界の第一人者が成増塾で生物を教えています

【クラス定員 12 名程度】

中嶋講師は生物講師としては受験界では知らない人がいない程の有名人です。熱意あふれるの授業に、生徒は知らず知らずのうちに引き込まれてしまいます。

塾長から見た中嶋講師。

中嶋寛講師は長年大手有名予備校で生物講師の第一人者として教鞭をとってこられた超有名講師ですが2015年から成増塾でも教えていただいています。中嶋講師の授業はわかりやすく面白いことは言うまでもないのですが、教えることに対する情熱も並々ならぬものを感じさせます。生徒が納得するまで豊富な具体例を用いながら説明してくださる真摯な姿勢に多くの受験生が大きな信頼を寄せています。生物を選択する生徒にとってはまさに救世主のような存在です。

中嶋講師の講座案内

【講座名】生物

【概　要】

「生物基礎」および「生物」の大学入試やセンター試験，また現役生には高校での試験で高得点を獲得できるために，丁寧な解説と演習を通して得意分野にすることを目標とします。「生物基礎」・「生物」の各分野の内容を，図解形式もふんだんに盛り込んだ「重要事項」を丁寧に理解させながら，知識の確実な定着・生物学的考察力の会得を目指し，さらに模範的な定石問題で実戦力を養成していきます。

【前期の内容】

細胞，代謝，分子遺伝，生殖・遺伝・発生，体内環境の維持，免疫，刺激の受容と反応の各分野の「重要事項」を理解させ，知識の定着と生物学的考察力を獲得させ，さらに模範的な定石問題で実戦力を養成していきます。

【後期の内容】

前期に引き続き，10月中には残りの分野の植物の反応と調節，生態と環境，進化と系統を習得させ，その後は受講生達の志望を考慮し，総合的な実戦演習を行い，生物を受験の切り札にすることを目標とします。

【受講生へのメッセージ】

専門は，分子生物学．

それ以上に，生態学や動物行動学は大好き！

自分の生の経験をもとに講義を行う．

皆さんの中にもそうゆうヒトがいるでしょうが，私は小さい頃からとにかく動物が好きで好きでたまりませんでした．結局，そのまま大人になってしまいました．

ですから，仕事も生物の教師を選びましたし，趣味も生物の観察と撮影に関係することばかりをやっています．バードウオッチングを含む，アニマルウオッチング，また大学生の時からスキューバダイビングをずーとやっていて，水中写真もたくさん撮ってきました．とにかくガラパゴス諸島やギアナ高地など世界の秘境とか言われるところまで含めて，自然の残っているところにいる生物を自分の目で数多く見てきましたので，学校と言われるところや本で学習しただけではなく自分の生の体験を通した本当の生命現象も予備校の授業では紹介しています。

Ｓｔｕｄｙ ｉｎ ｎａｔｕｒｅ ｎｏｔ ｂｏｏｋｓ．

時間のない受験勉強にたずさわる受験生たちは，Ｓｔｕｄｙ ｉｎ ｂｏｏｋｓ しかできないからこそ，我々教師が本物の生物も見つめ続けていくことがとても大事だと思っています。

大学では，発生を中心に分子生物学をやってきました．

現代の発生学の実験材料としてよく使われるアフリカツメガエルの飼育も担当していました．

遺伝子工学など分子生物学は今最先端の分野ですね．現在の生物学は，生態学などを除いて分子生物学を柱に組み立てられているので，この分野を専門にしてきて仕事の上ではとても良かったと思っています．（特に予備校の模擬試験の問題作成ではね．）

でも，生態学などで扱う自然の環境に，すなわち，本物の生物達にいつも会いに行き続けています。

最近は以前のめり込んでいたルアーフィシングを再開し，主に渓流や湖にトラウト狙いで通っています。

また，自分でも異常と思えるほどのイヌ好きで、イヌの香りなんか嗅ぐとたまんなくなちゃうんですよ．ちょっとあぶないかなあ？「今は，黒柴のチロニ世と暮らしています」

社会科

日本史

寺越慎介

本物志向の生徒を満足させる授業。

【クラス定員 8 名程度】

寺越講師は徹底した入試問題の分析をし生徒に実戦力をつけさせる授業をすることで定評があります。

塾長から見た寺越講師。

寺越講師は、本当に生徒思いの講師です。真剣に学べば日本史を必ず得意科目にすることができるはずです。

寺越講師が語る。

【日本史という科目について】

ここに一つの立体があります。「これは何という形ですか？」と問われたとして、「三角形」と答えたら不正解です。「円錐」が正解です。これは、見る方向によって△にも○にも見え、「△」「○」の解答はいずれも部分的には間違いとも言い切れないものの、全体像を捉えていないという意味で正解にはなりません。

日本史の勉強は、多角的な視点によって歴史の全体像を捉えることが求められます。例えば、1945年までの日本はどうして戦争に向かい敗れたのかという重厚なテーマがあった時に、日本の国内の状況と外国の状況の双方を踏まえることが必要です。国内の中にも政治やその主導権争い、憲法などの仕組み、経済、産業、民衆の動向など多岐に渡る視点があります。そして、外国と言っても多くの国があってそれぞれの政治体制や経済事情などの諸問題があります。その上で、日本と諸外国がどのような関わりを持っていくのかを捉えながら、複合的に見ていくことによってようやく歴史の全体像が見えてきます。一方向からの見方では、本質が理解出来たということにはならず、それでは大学合格にも結び付けられません。

合わせて、歴史を見る時にはミクロとマクロの双方を見ることが必要です。細部と全体のどちらも捉えるということです。受験生は一人の勉強になるとこの勉強が出来ないことが大半です。大抵、細部は見ようとするものの、その細部が全体の中でどこに位置するか、その捉え付けが出来ません。

【当講座の指導・授業方針】

そこで当講座では、まず各時代の全体像を最初に捉えてもらっています。例えば、明治時代の中でいくつかの期間に区切って「ここからここまではこういう期間」というまとまりを最初に捉えてもらうことによって、多くの知識を容れる上での整理棚としておきます。それを踏まえて細部に入っていくことで、それぞれの知識を相応しい場所に容れていき、各事項ごとの繋がりを捉えながら理解に結び付けてもらうという手順を踏んでもらいます。

次に、勉強はinputだけでは駄目で、outputが必要です。inputの中心は授業です。それを踏まえて授業後にinputの続きとしての復習をどのようにやってoutputとしての演習をどの手順でやるかなど、勉強の手順を一つ一つ詳細に言っていきます。テキスト・演習教材ともに全てオリジナルになり、演習教材は主に用語問題と正誤問題に分かれます。まず、用語問題に取り組んでもらうことで基本用語を定着させ、「幹」としてもらいます。その後に正誤問題に取り組んでもらって幹を盤石にさせながら「枝葉」を付けてもらいます。

これら段階を経てもらうことで、特にここ数年の指導では、初学者・成績下位者であっても、受講者全員、一人の例外もなく確実に成績の上昇に結び付けてもらっています。日本史を圧倒的に伸ばそうと思うなら成増塾です。成増塾は講師の持ち駒を全て発揮出来る環境にあります。大手の予備校は優秀な先生方が多くいるものの、その全てを出すことは制約によって叶いません。大手予備校を圧倒する質の授業と教材、対応、盤石なレール、総合的な情報量を提示し、現実に志望校合格へのお手伝いをさせて頂くことをお約束します。

合格者の声

早稲田大学国際教養学部合格
木嶋航章さん
浦和西高校

★寺越先生の授業は、何をどのように覚え、どのように入試に使うのかが非常によく体現されています。これは入試問題を解く段階で、嫌になるほど実感したことです(笑)。また、先生ほど面倒見の良い先生はいないです。受験はかなりきついですが、その時に頼りに出来る先生がいるかいないかでは大きく違ってきます。寺越先生には直前期にはほぼ毎日メールで論述の添削をしていただきました。

早稲田大学文化構想学部合格
藤本智暉さん
本郷高校

★寺越先生の特徴は“授業&テキストの分かりやすさとその濃密さ”です。先生の生徒に対する面倒見の良さは世界一と言っても過言ではありません。過去、いくつかの塾を転々として来ましたが、先生ほど授業前後のケアや間違えた問題に対する処方などもこと細かく指摘してくれる先生は他にいませんでした。国立志望の人にはしっかり論述対策もやってくれます!先生に頼りっきりでもいいのでは?という位サイコーでした。

学習院大学法学部合格
芦田泰志さん
明徳義塾高校

★自分は先生との信頼関係が非常に大切だと考えており、その観点から本当に理想の先生でした。先生の提示する「まず構成・全体像をとらえてから細部に入る指導」「水を入れるための容器づくりから始める指導」というのは革命的であったと言えます。こうした日本史の勉強が他教科に大いに活きました。あと、今まで自分たちが習ってきた歴史とは違った視点からの提示があるので、非常に面白く、興味が湧いてきて日本史を好きにさせてくれました。独学では決して味わうことのできない奥深さを教えてくださいました。

日本女子大学合格
足立葵さん
都北園高校

★日本史は1人でできると思いがちですが、それでは穴が空きまくりです。むやみやたら覚えようとすれば時間もかかるし結局とびとびの知識になってしまう可能性大です。日本史には重要かつ筋の通った勉強法があります。それは1人では完成できません。寺越先生の指導のもとで絶対勝てるようになります!先生は個人に合わせた学習状況の把握や志望校対策など幅広くサポートしてくださいます。そして、魂がこもったテキスト達!解説も細かくてすごいです!これらを使いこなし授業を吸収した人は伸びないはずはないです。

早稲田大学教育学部合格
岡本泰崇さん
都立山吹高校

★寺越先生は授業の中で、受験知識のみならず教養として一生持っていけるような日本史も教えて下さります。また、生徒をとても大切にして下さり、一人一人ととことん向き合って最適な指導をしてくれます。丁寧で、毎回配られる演習は本当に最高の教材だと思います。きちんとこなせば、めちゃめちゃ力がつきます。そんじょそこらの演習教材とは比べものにならないと思います。受講して本当に良かったと思います。

一橋大学商学部合格
岡本壮馬さん
筑波大学附属高校

★まず授業が分かりやすいです。分かりにくい分野も図を使ったりして分かりやすく、かつ記憶に残りやすいよう教えてくれます。また、生徒一人一人と真剣に向き合い、志望校対策も徹底的に付き合ってくれます。自分は普段の一橋の添削だけでなく、授業が終了した後にも慶應・経済の添削をして頂いたり、対策のプリントを頂いたりしました。先生についていけば、必ず志望校の日本史で他の受験生と差を付けられるようになると思います。

社会科

世界史
落合真也
図解を駆使し、歴史を楽しく学べる。

【クラス定員 12 名程度】

世界史を担当する落合講師。落合講師は事務スタッフでもありますが、世界史の指導に情熱的に取り組んでいます。

塾長から見た落合講師。

落合講師は成増塾事務統括リーダーという重責を担いながら、世界史の講師も務めています。彼の授業の特色は、ふんだんに図解を使いながら時代の大きな流れを理解させることです。実のところ、落合講師は世界史を教えることを生きがいにしています。落合講師は生徒の質問に答えるとき本当に目を輝かせて生き生きと教えているのです。「水を得た魚のよう」とはまさにこのことだと思います。生徒のどんな質問にも喜んで答えてくれるのはもちろん、論文の添削指導など本当に熱心にやってくれます。私がぜひオススメしたい講師の一人です。

落合講師の講座案内

【講座名】高卒世界史

【概要】

世界史という科目の持つ難しさの一つに、「世界中の異なる諸地域の歴史を同時進行的に把握する能力が求められる」という点が挙げられます。これは特に大学入学共通テストや難関国公立大の論述問題などを解く上では必須のスキルと言えますし、私大でも難関大学であればあるほど有効なスキルです。この点を踏まえ、本講座では、時系列で歴史を紡いでいく「縦軸の歴史」に加え、時代ごとに他地域/諸地域間のつながりを結んでいく「横の世界史」に重点を置き、とかく断片的になりがちな世界の諸地域の歴史を体系的に把握する力を養成していきます。

【前期の内容】

世界史の大きな流れを掴むため、欧州・中東・南アジア・東アジアを中核とし、古代～20世紀前半まで通史を進めます。講義での知識習得と、練習問題での知識運用を繰り返しつつ、確認テストで知識の定着を図ります。

【後期の内容】

戦後史が終わり次第、周辺地域史・文化史・テーマ史に移り、前期とは異なる視点から(歴史の小道から大通りを眺めるような感覚で)2～3周目に入っていきます。また志望校の必要に応じて論述の添削指導も行います。

【受験生へのメッセージ】

時間は思ったよりも早く過ぎ去っていきます。時間を無駄にしないように、自分をごまかさないように、最後に後悔を残さないように、合格に向けてあらゆる方策を練り、行動しましょう！

落合講師が語る。

[世界史を学習する上での基本スタンス]

歴史というのは「人の営み」の集積です。農耕民には農耕民の、遊牧民には遊牧民の生き方・考え方があります。民族だけでなく、歴史上の諸国家、諸王朝、諸政権は、結局は人間が運営しているわけで、それら人間の諸集団(または個人)によって歴史は動かされてきたわけです。ということは、それら人間の諸集団(や個人)が、どのような性格を持ち、どのような考えに基づき行動しているのか、なぜその戦争を起こしたのか、なぜその政策や法制度が必要だったのか、そしてその生き方や考え方の中からどのような文化が生まれてくるのか、そうした人間の行動原理の核心部分に迫ることで、今まで無機質な情報の羅列にしか見えなかった戦争や事件や制度や政策や文化というものに、人間の血肉や神経が通って見えてくるはずです。何の関連性も見いだせないような、単なる年号や歴史用語といった情報の羅列をひたすら暗記しようとするのは本当に苦痛です。が、このように情報と情報をつなぐ

「回路」を構築し、知識と知識を有機的に「体系化」することで、**覚える**効率は飛躍的に向上しますし、また何度も復習し反復することで忘れにくい強靭な知識へと**定着**していきます。私の授業では、まずはこの「世界史的な情報回路」を構築することを目指します。これができていないと、闇雲に知識を仕入れてもすぐに限界にぶち当たってしまいますし、論述問題に手を出してもまともな答案が作成できず、ただ時間を無駄に浪費してしまうだけとなってしまいます。

[実践力向上のための方法論]

さて、入試問題を解く上で、知識の集積と定着だけで十分でしょうか。難関大学であればあるほど、多角的なものの見方を受験生に要求してきます。「こんなテーマを、こんな切り口で出題してきたか」と唸らせるような出題をしてきます。教科書や授業で習得した世界史は、ごく標準的な、ある一面から見た世界史に過ぎません。もちろん、まずはベースとして「標準的な世界史(いわゆる"通史")」を構築するのが先決ではありますが、しかし、そこから入試問題が要求するレベルで多角的に活用/運用するところまでもっていかなければなりません。それにはやはり実践的な**問題演習**がどうしても必要となってきます。私の授業では、旧センター試験の過去問や早慶など難関私大の正誤問題等を使った問題演習を行います。答え合わせの際には、ダメな選択肢についても「なぜダメなのか」まできちっと追究し、必要に応じて関連事項の確認もガンガン発問していきますので、「正解だったからオッケー、はい終了」とはいきません。こうした問題演習を通じて、自分が覚えきれていなかったこと、見落としていたこと、忘れてしまっていたこと、あるいは誤解していたこと、そして新たな発見に気づいたこと、などなど様々な刺激を受けるでしょう。問題演習によって弱点を補強しつつ新たな武器を身に着け、そしてもちろんその復習と反復訓練を積むことで、入試でどんな切り口で出題されても適切に情報を**運用/活用**できる実力が養成されてくるわけです。問題演習としては、その他にも、1章分のテキストが終了する度に**確認テスト**を行い、知識の定着をはかります。合格点に達しない場合には追試や個別の宿題を課し、徹底的に弱点を潰していきます。これ以外にも、自習用教材として、実際の難関大学入試問題から厳選した**実践演習問題集**や、**短文論述問題集**など、多様な出題形式や多角的なテーマに立ち向かうための必要十分な学習素材を提供いたします。また、夏頃からは志望校に応じて毎週1題ずつ論述課題を出し、提出された答案を叩き台として授業内で解説を行います。答案を提出した一人一人に対して添削指導を行い、その答案の良い点や、逆に改善すべき点をプリントにまとめ、個人ごとに返却いたします。この繰り返しによって、出題者の要求をいかに把握するか、自分の文章のどこが不足し、どこが余分なのか、どうすれば答案のレベルが上がるのかを**体得**させていきます。

[ミスや間違いは財産!]

仕入れた知識は実際に運用しなければ実力には結びつきません。授業内での発問や練習問題、確認テスト、論述の演習、そして実践模試などなど、入試本番までの時期は、失敗を恐れずに積極的にチャレンジしましょう。失敗や間違いというのは、逆に自分が成長できるポイントでもあります。失敗したら、必ずその原因分析を行い、そして繰り返さないための対処を講じる。この繰り返しです。その一つ一つの積み重ねが、きっと合格へのゆるぎない自信につながるはずです。

合格者の声

早稲田大学商学部合格
早稲田大学教育学部合格
立教大学法学部合格
明治大学法学部合格
馬場貴也さん
都立高島高校卒

★落合先生の授業のお蔭で抜けていた部分を補うことができました。授業を受けてよかったです! ありがとうございました!

慶応義塾大学経済学部合格
慶応義塾大学商学部合格
早稲田大学文化構想学部合格
松尾彩香さん
都立武蔵高校卒

★毎週、授業後に記述を見ていただき、本当にありがとうございました。

スタッフ

成増塾の５つの校舎には、受付係を兼ねたスタッフが勤務しています。
生徒の皆さんが、より良い環境で学習出来るように応援サポートする頼もしい存在です。

事務スタッフ
三浦久恵

パソコンのインストラクターの経験もあるキャリアウーマンです。丁寧でフレンドリーな対応でどんな相談にも応じてくれます。

事務スタッフ
内河祐子

いつも笑顔の絶えない元気いっぱいの内河さん、頼りになるお姉さんです。

事務スタッフ
落合真也

事務統括チーフの落合真也さん。誠実な人柄と正確な仕事ぶりでみんなから信頼されています。落合さんは世界史の講師も兼任しています。

事務スタッフ
加藤悦子

塾生にいつも優しく対応してくれる加藤さん。心強い味方です。

事務スタッフ
齊木友美

イラストレーターとしても活躍の齊木さん。仕事の正確さには定評があります。成増塾のガイドブック表紙等にも齊木さんのかわいらしいイラストが使われています。

事務スタッフ
田端優美

仕事熱心でどんな仕事でも笑顔で対応してくれます。成増塾各校舎には塾生の合格を祈願した田端さんたちの作った千羽鶴が飾られています。

事務スタッフ
高橋千晶

どんな仕事もテキパキとこなしてくれる明るくてエネルギッシュな高橋さん。とても頼れるスタッフさんです。

成増塾各校の受付では、今日もスタッフが笑顔で生徒の皆さんを迎えます。右写真は、各校舎に飾られている、スタッフ手作りによる“合格祈願”千羽鶴。

合格者の声

【2009年～2020年合格者より】

成増塾に在籍して難関大学に合格した先輩たちからのメッセージ。

合格 東京大学

川合 淳也さん
東京大学理科I類合格
都立戸山高等学校

公立高校で部活の引退も遅く、最後の模試の結果も最悪でしたが門脇先生の英語にとどまらない全教科にわたるアドバイスのおかげで現役で合格することができました。本当にありがとうございました。

高木 友貴さん
東京大学文科I類合格
お茶の水女子大学附属高校

門脇先生の授業はテキスト、授業の解説含め全ての点でハイレベルで、先生の教養あるお話しも非常に面白かったです!門脇先生の授業だけしっかりこなせば東大英語の対策は十分です。

小林 知奈さん
東京大学理科II類合格
桜蔭高等学校

事務の方々に優しく話しかけていただき、嬉しかったです。ありがとうございました。受験は定期テストとは違い、長期戦です。焦って無理に睡眠時間を削っても1年続きません。時間を有効利用すれば成績は上がるはずなので、自分に最適なペースで頑張ってください!

菅沼 修祐さん
東京大学文科II類合格
武蔵高等学校

正しい方法で、必死に努力すれば、自ずと実力はついてきます。成増塾の先生方についていけば間違いありません!

杉山 紗弥佳さん
東京大学文科III類合格
都立小石川高等学校

とてもアットホームな環境で、楽しみながら勉強することができました。また、自分の勉強スタイルを全く変えずに塾に通うことができたため、利用しやすかったです。後輩へのアドバイスとしては、「A判定は20%の確率で落ちる」ということと、「どこに落ちても第一志望を見つめる強さを持つこと」です。受験終われば暇なので、それまで自分のベストをつくして下さい!!

藤井 達也さん
東京大学理科I類合格
城北高等学校

門脇先生の英語には大変お世話になりました。入塾前は苦手だった英語が、一年後には平均点を取れるどころか、多くの点数を稼げる程得意になりました。英語は文理問わず、出来ると非常に有利な科目です。難関大学(特に東大)を目指す方にはぜひオススメの先生です。

合格 国立医学部

内田 裕大さん
日本医科大学医学部合格
暁星高等学校

英語は文法、解釈、長文読解の全てが、上手くカリキュラムに組み込まれていて、受験において最大の武器になりました!物理は高3の4月に偏差値が40台でしたが、センター試験では9割を超えられるくらい素晴らしい授業でした!中1から6年間本当にお世話になりました!

北村 謙太さん
筑波大学医学群医学類合格
立教新座高等学校

成増塾には最高の先生や仲間、そして環境が揃っていると思います。目標を高く持って最後まで諦めずに頑張ってください。

合格 一橋大学

志賀 俊希さん
一橋大学商学部合格
早稲田高等学校

成増塾の授業の質は相当高いと思いました。自分は成増塾以外の某大手予備校にも通っていましたが、成増塾の方が断然質が良いです。ですので、その質を活かすも殺すも受講者次第だと思います。授業の予習・復習をしっかりやれば十分に力をつけることができ、どんな難関大でも闘っていけると思います。本当にありがとうございました。

合格 京都大学

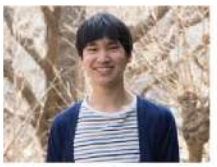
上田 直毅さん
京都大学農学部応用生命学科合格
海城高等学校

入塾した時、英語は好きであるにも関わらず、苦手科目でした。集団授業の中でも、個人との面談をかかさずに行い、生徒一人一人の状況に合わせてアドバイスや、やる教材を教えていただいたお陰で、最後にはむしろ得意科目になりました。本番ギリギリまで添削して頂いたのも、力強い励みでした。中島先生にはとても感謝しています。

田中 美帆さん
京都大学総合人間学部合格
豊島岡女子高等学校

クラス分けがなかったのが嬉しかったです。私はモチベーションが上がりました。難しい内容の(教え方は分かりやすかったです)授業を受けて分からないなりに必死についていくことで私の場合は効果があった部分もあると思います。受付の人も話しやすくて居心地が良かったです。ありがとうございました。

2019年合格祝賀会より志望校に合格した卒業生の皆さんと、世界史・落合講師との喜びのショット。



合格 私大医学部

田村 健吾さん
日本医科大学医学部医学科合格
筑波大学附属高校

大学進学以降も様々な場面で使うことになる英語を、単に試験で点数を取るための力としてだけではなく、今後にも活かされ発展される力として教えてくださいました。また、他教科の勉強法なども指導下さり、合格に欠かせないものでした。

奥村 優さん
北里大学医学部医学科合格
立教新座高等学校

学校の友人に勧められて受講しました。授業の質、他教科の勉強法等、何を取っても門脇先生は素晴らしいと思いました。そして何よりも推薦入試の時の全く勉強してこなかった小論文、面接の対策、志望書の添削、担任に丸投げされた推薦書のカバー等本当に助けられました。門脇先生には感謝してもし切れません。

北村 夏陽さん
杏林大学医学部合格
宝仙学園高等学校

先生の教え方は、英語を学ぶ上で最も近道だったと思います。授業もおもしろく、試験関係なく、英語が好きになりました。受験後も受け続けたい授業です。また、1人1人に合ったアドバイスをして下さいます。本当にありがとうございました。

合格 東京工業大学

古賀 千晶さん
東京工業大学第四類合格
お茶の水女子大学附属高等学校

成増塾は1クラスの人数が少ないため、先生と生徒の距離が近く、すぐに質問できるのが魅力だと思います。石川先生は、質の高い問題を多くこなし、その後に一つひとつ丁寧に解説していく授業スタイルで、演習授業でも生徒のミスを的確に分析して下さるので、非常に良かったです!!

鍋島 未萌さん
東京工業大学 第3類合格
広尾学園

分かりやすくて楽しい授業でした!毎回多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました!!まわりのみんなの意識や集中力に刺激を受けて成長することができたと思います。ありがとうございました!

合格 東京学芸大学

須藤 崇匡さん
東京学芸大学教育学部合格
成城高等学校

すごく面倒を見て頂きました。面倒見の良さが非常にウリであると思います。また、文法や精読のプリントを出して頂き、助かりました。化学は基礎から発展までを手広く扱いました。講義の所が原理に基づいた説明で本質を理解できました。

合格 早慶上智

松永 卓さん
早稲田大学商学部
武蔵高等学校

ただやみくもに勉強するのではなく、自分は今何のための勉強をしているのか、自分には今、どんなことが足りていないのか常に考えながらがんばってください!!

平松 大武さん
慶応義塾大学理工学部合格
攻玉社

成増塾では本当に色々とお世話になりました。今城先生は「先生」というよりかは勉強における先輩という感じでたくさんの有効な勉強法を教えてもらいました。また最後の最後までずっと面倒を見てくれ、本当に感謝しています。高橋先生の授業は高1の頃からとっていましたが、宿題の重さがいつもちょうどよく、授業の進行スピードも絶妙でした。先生のおかげで基礎もわからなかった確率が得意科目になりました。

磯部 真緒さん
早稲田大学創造理工学部合格
豊島岡女子学園高等学校

大変良かったのは高島先生の英語、長谷川先生の化学、押川先生の物理です。特に英語と化学は先生方のおかげで「得意科目」になり、本当にお世話になりました。(特に東大)を目指す方にはぜひオススメの先生です。

塩谷 晴香さん
慶応義塾大学文学部合格
國學院高等学校

成増塾に入ったからこそ慶應義塾大学に入学することができました。中学の時の経験からあまり塾のことは好きではなかったのですが、下高井戸校の受付の方、先生方は皆温かく見守って下さり勉強する楽しさを知ることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです!

安納 美紀さん
慶応義塾大学法学部合格
渋谷教育学園渋谷高等学校

数学の安田先生の授業を受講しました。高3の春からだったけど、一気に成績が伸びました。ありがとうございます。他の講座と比べ宿題が多くスパルタだという話しですが、そんなこと知らずに受け始め、実際宿題もそんなに辛くなかったです。楽しかった。

黒田 カンナさん
慶応義塾大学経済学部合格
豊島岡女子高等学校

成増塾の自習室が大好きでした。先生方が部室にいらっしゃるのでだらけずに勉強することができました。すぐ横に友達が勉強しているので良い刺激にもなります。受付の方とのちょっとした雑談がいやしでした。成増塾には他の塾とは良い意味で変わっている所がたくさんあります!

高卒部 合格者の声

【2015年～2020年合格者より】
成増塾 高卒部に在籍して
難関大学に合格した先輩たちからの
最新メッセージです!

一橋大学商学部合格

慶応大学経済学部合格
岡本 壮馬さん　筑波大学附属高校

★現役の時120点差で落ちた自分でも1年で合格することができたので頑張り次第でいくらでも成長することができると思います。頑張ってください。

早稲田大学創造理工学部合格

高橋 立さん　芝高校

★先生方が明るくてとても楽しく勉強できた。教室に掃除が行き届いていたのでとてもきれいで快適だった。授業自体はどの先生も工夫しているのでレベルが高くかつ分かりやすいものだった。1年間お世話になりました。

日本医科大学医学部合格

東京工業大学社会環境理工学院合格
早稲田大学創造理工学部合格
加藤 有由菜さん　桜蔭高校

★成増塾の雰囲気はとても温かく先生に気軽に相談や質問ができる空気感があり、ありがたかったです。門脇先生の英語の授業はとても分かりやすく頭に残るように解説してくださりいつも活気がありました。私がセンターで思うように取れなかった際に国立出願校について大変親身になって相談に乗ってくださいました。先生のお蔭で後悔しない選択ができたと思います。本当にありがとうございました。浪人1年間は現役の時に比べてつらいことが多かったですが多くのことを学ぶことができました。大事なことは受験をしっかりわかっている人に頼ることだと思います。その点で成増塾はとても良い空間でした。入塾してよかったです。お世話になりました。

早稲田大学商学部合格

早稲田大学教育学部合格
立教大学法学部合格
明治大学法学部合格
馬場 貴也さん　都立高島高校

★少人数の授業がとてもよかったです。私にピッタリでした。先生方も素晴らしい方たちで私を合格に導いてくれました。とにかく環境がよく、この1年勉強面以外でブルーになることはありませんでした。本当にありがとうございました。後輩のみなさんへ。先生方を信じればきっと大丈夫です。頑張ってください!

島根大学医学部合格

帝京大学医学部合格
慶応大学経済学部合格
戸田 有紀さん　都立青山高校

★1年間お世話になりました。今回の結果は苦手だった物理、化学の成績を伸ばすことができたことが勝因の一つであると考えています。特に物理は本当にご迷惑をおかけしました。また、英語の読解力や数学で確実に最後まで解く力がしっかり身についたからこそ医学部の2次を突破できたと考えています。何度も挫折しそうになりましたが励ましてくださった先生方に本当に感謝しています。ありがとうございました。

横浜国立大学理工学部合格

半澤 美玖さん　都立高島高校

★専用の自習室は同じように大学合格への強い意志を持つ者たちが集まり、互いに切磋琢磨することができる最高の場でした。わからないことを質問しあったり、勉強に行き詰ったときに励まし合うことができたおかげで最後まで頑張ることができました。また、質の高い授業のお蔭で、昨年全落ちだったにもかかわらず、良い結果が出せたことが本当に嬉しいです。1年間ありがとうございました。

慶応大学経済学部合格

慶応大学商学部合格、早稲田大学文化構想学部合格
松尾 彩香さん　都立武蔵高校

★他の予備校と比べて自分で勉強する時間が多く、自分のペースで進めることができます。また、一クラスの人数が少ない分、一人一人をきっちり見ていただきました。1年間を勉強に費やすのは大変なことだとは思いますが、将来必ず何か役に立つと思います。頑張ってください。

合格実績

東大・医学部・早慶上智・難関国公私立大学に圧倒的な強さを誇ります!

【2009年～2020年合格実績】

●東京大学
- 文Ⅰ……4名
- 文Ⅱ……14名
- 文Ⅲ……12名
- 理Ⅰ……27名
- 理Ⅱ……11名

国立大学医学部
- ●京都大学……2名
- ●千葉大学……8名
- ●東京医科歯科大学……4名
- ●神戸大学……1名
- ●広島大学……1名
- ●秋田大学……1名
- ●横浜市立大学……1名
- ●岐阜大学……1名
- ●東北大学……2名
- ●新潟大学……2名
- ●北海道大学……1名
- ●徳島大学……1名
- ●浜松医科大学……3名
- ●信州大学……3名
- ●山梨大学……2名
- ●防衛医科大学校……5名
- ●福島県立医科大学……1名
- ●島根大学……1名

私立大学医学部
- ●慶応義塾大学……3名
- ●東京慈恵会医科大学……8名
- ●順天堂大学……14名
- ●日本医科大学……11名
- ●国際医療福祉大学……4名
- ●東邦大学……9名
- ●自治医科大学……1名
- ●昭和大学……14名
- ●東京医科大学……3名
- ●日本大学……3名
- ●獨協医科大学……2名
- ●福岡大学……1名
- ●北里大学……8名
- ●帝京大学……5名
- ●埼玉医科大学……5名
- ●東京女子医科大学……6名
- ●杏林大学……4名
- ●金沢医科大学……1名
- ●東北医科薬科大学……1名
- ●東海大学……2名
- ●聖マリアンナ医科大学……4名

その他
- ●一橋大学……28名
- ●東京工業大学……43名
- ●東京農工大学……4名
- ●お茶の水女子大学……4名
- ●千葉大学（医学部以外）……3名
- ●筑波大学……1名
- ●東京学芸大学……1名
- ●大阪大学……4名
- ●京都大学（医学部以外）……11名
- ●早稲田大学……227名
- ●慶応義塾大学……166名
- ●上智大学……65名
- ●東京理科大……89名

その他、多数合格。

特報 2020年合格実績!

昨年は単年度で東大8名、医学部31名 計39名を合格させました!!

<国公立（医歯薬除く）>
- ●東京大学
  - 文Ⅰ……2名
  - 文Ⅱ……1名
  - 文Ⅲ……1名
  - 理Ⅰ……4名
- ●京都大学……1名
- ●一橋大学……2名
- ●東京工業大学……3名

<医学部・薬学部>
- ●東京医科歯科大学（国立）…1名
- ●神戸大学（国立）……1名
- ●広島大学（国立）……1名
- ●秋田大学（国立）……1名
- ●浜松医科大学（国立）……2名
- ●東京慈恵会医科大学……2名
- ●順天堂大学……2名
- ●日本医科大学……2名
- ●昭和大学……2名
- ●国際医療福祉大学……4名
- ●東邦大学……2名
- ●東京女子医科大学……2名
- ●聖マリアンナ医科大学……1名
- ●獨協医科大学……2名
- ●北里大学……1名
- ●杏林大学……2名
- ●福岡大学……1名
- ●帝京大学……1名
- ●東海大学……1名

<難関私大>
- ●早稲田大学……39名
- ●慶応義塾大学……31名

その他、多数合格。

年間授業料 ※オンラインでの受講も同額です。

入会金

100,000円（税別）【高校部在籍生は免除となります。】
※3月13日迄にお申し込みの方は、30,000円となります。

【国立大コース】【早慶上智コース】【私大医学部コース】

授業料

1科目につき 年間300,000円（税別）
前期、後期での分納が可能です。
年間一括であれば、料金を1割引きにいたします。

各科目、年間教材費

年間教材費45,000円（税別）

専用自習室年間利用料（希望者のみ）

150,000円（税別）
3月26日迄にお申し込みの方は120,000円になります。
※自習室は年間契約のため、中途解約はできないことをご了承ください。

成増塾高卒部 授業日程・授業時間・授業回数

4月上旬開講予定。

- ●前期【4月～8月】と後期【9月～1月】の二期制です。
- ●1講座につき、半期20回、年間40回の授業を行います。
- ●講習会はありません。高卒生は年間を通して一定のペースを保ちながら学習を行うことが重要なため、季節講習会は設定しておりません。
- ●1科目につき、授業は週1回、3時間です。
- ●1限が9時から12時、2限が13時から16時です。

【私大医学部コース】完全個別指導

授業料

1科目につき年間1,200,000円（税別）
前期、後期での分納が可能です。
年間一括であれば、料金を1割引きにいたします。

各科目、年間教材費

年間教材費45,000円（税別）

専用自習室年間利用料（希望者のみ）

150,000円（税別）
3月26日迄にお申し込みの方は120,000円になります。
※自習室は年間契約のため、中途解約はできないことをご了承ください。

成増塾高卒部 授業日程・授業時間・授業回数

4月上旬開講予定。

- ●前期【4月～8月】と後期【9月～1月】の二期制です。
- ●1講座につき、半期20回、年間40回の授業を行います。
- ●講習会はありません。高卒生は年間を通して一定のペースを保ちながら学習を行うことが重要なため、季節講習会は設定しておりません。
- ●1科目につき、授業は週1回、2時間です。
- ●指導回数は生徒の学力状況に応じて増減できます。

【授業料に関して】

成増塾高卒部は1科目から受講することができる単科制予備校です。

【成増塾高卒部をフルセットで受講される方へ】

理系受験生が成増塾高卒部を年間フルセットで受講した場合、費用の合計額は1,711,000円となります（年間一括でお支払いいただく場合）
費用だけを比較した場合、大手予備校【例えば、S予備校は入会金、講習会等を含めると1,236,000円】より割高になりますが、成増塾高卒部がひとクラスの定員を16名程度に抑え、大手予備校（クラスの定員は一般に50名以上）よりも手厚い指導をしていることによる料金設定であることをご理解ください。

【費用を抑えたい方へのご提案】

費用を抑えたい場合、数学ⅠAⅡBと数学Ⅲを半期ずつ受講する等の工夫をすればかなり低額に抑えることも可能です。半期受講の場合、受講していない時期に関しては講師の指導の下に自学自習で勉強を進めていただくことになります。
受講科目は担当講師との面談でお決めください。

たとえば…

英語を年間受講、数学ⅠAⅡBと数学Ⅲを半期ずつ受講、理科２科目を年間受講するなどの工夫をしていただければ費用総額は、1,360,000円(年間一括でお支払いいただく場合)となり、かなり抑えることもできます。

特待生割引制度のご案内

「東大、国立大医学部合格率100パーセント」を目指します。

東大本試験成績通知でA判定、B判定、東大模試でA判定、B判定、国立医学部でA判定、B判定が出ている生徒に授業料5割、4割、2割の減額をします。【それぞれ若干名】

２００５年より始まった成増塾の特待生制度。この制度は「東大、国立大医学部合格１００パーセント」を目指してスタートされました。

２０２０年までの入試の結果は特待生制度の「東大、国立大医学部合格１００パーセント」を裏付けるものとなりました。

準特待生、奨学生の中にも国立大医学部、一橋大、東工大などに合格する者が多数含まれ、成増塾の特待生制度のレベルの高さを実証しています。

★特待生試験で特待生、準特待生、奨学生に認定されると授業料はそれぞれ５割、４割、２割の減額となります。

★ちなみに成増塾から千葉大、筑波大、北海道大、横浜国大、首都大、等の上位国立大学、早稲田、慶応、上智、理科大、私立医大に合格している生徒のほとんどは一般生です。

2020年合格実績

特待生3名中――**東大理I:2名、東大文I:1名合格(100%)**

準特待生3名中―**東大文II:1名、東大理II:1名、東京医科歯科大学:1名合格(100%)**

奨学生2名中――**東大文II:1名、神戸大医学部:1名合格(100%)**

2019年合格実績

特待生3名中――**東大理I:2名、東大文II:1名合格(100%)**

準特待生2名中―**東大理I:1名、東大理II:1名合格(100%)**

奨学生2名中――**東大文II:1名、千葉大医学部:1名合格(100%)**

2018年合格実績

特待生3名中――**東大文II:1名、東大理I:2名合格(100%)**

準特待生3名中―**東大理I:2名、東大理II:1名合格(100%)**

奨学生2名中――**千葉大医学部:1名、岐阜大学医学部:1名合格(100%)**

2017年合格実績

特待生3名中――**東大文I:1名、東大理I:1名、徳島大学医学部:1名合格(100%)**

準特待生2名中―**東大理I:1名、東大理II:1名合格(100%)**

奨学生3名中――**東大文II:1名、東大文III:1名、東大理I:1名合格(100%)**

2016年合格実績

特待生3名中――**東大理I:2名、東京医科歯科大:1名合格(100%)**

準特待生2名中―**東大理I:1名、東大理II:1名合格(100%)**

奨学生3名中――**京大法学部:1名、名古屋大学医学部:1名、横浜市立大学医学部:1名合格(100%)**

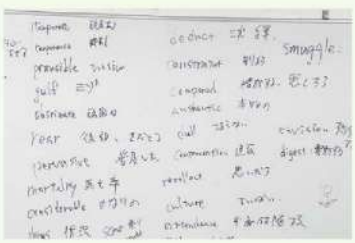
年間三回行われる特待生試験。試験結果は順位とともに各校舎の廊下にはり出されます。東大や医学部を志望する生徒たちはこの特待生試験を励みに勉強に打ち込みます。受講料は無料です。

スナップ写真で綴る

成増塾アラカルト

高田馬場本校の入り口靴置き場。成増塾では生徒がリラックスして学習できるように、まずは全員がスリッパに履き替えます。

英語科 甲斐講師の人気の秘密を探るべく、“成増塾マスコットキャラクター”が授業に潜入!?



受験シーズンの自習室のホワイトボード。塾生が暗記必須の重要事項のまとめに活用しています。

受付の三浦さんと談笑する生徒の皆さん。女子会トークでおおいに盛り上がっていました。

成増塾の照明はすべてLEDです。蛍光灯のようなチラつきがなく長時間勉強しても目が疲れません。

高田馬場本校の自習スペース。生徒は授業のない日でも何時でも自由に使うことが出来ます。

成増塾名物の『疲れた時の息抜きキャンディ』。生徒はこれを自由にとることができます。糖分を補給し、頭の働きを回復させます。

年に3回、成増塾の生徒は特待生試験にチャレンジするチャンスがあります。特待生試験の緊張した雰囲気の中で、生徒は本番の試験会場の雰囲気に圧倒されない、強い精神力を培うことができるのです。

特待生試験の採点は成増塾のスタッフにとって重要な仕事です。採点はミスがないように複数のスタッフによって二重、三重にチェックされます。

【 特 報 】
医学部を目指す生徒、保護者の皆様の熱い要望にお応えして『成増塾 医学部セミナー』開催!!

近年ますます人気が高まり、難化が進む医学部に合格するにはどうすればよいか‥‥!?
成増塾では熱い要望にお応えして企画した『医学部セミナー』を毎年開催しております。
医学部合格への最新情報を公開する講演と、現役医学部学生による座談会という
2部構成でお届けする特別セミナーは、
受験生と保護者の皆さまに大好評をいただいております。

「医学部セミナー2018」

●開催日：2018年7月8日(日)
●場所：住友不動産
新宿ガーデンタワー会議室

医学部合格を目指す生徒からの質問は真剣そのもの。高島塾長をはじめ、参加した講師陣も丁寧に答えます。

「医学部セミナー2019」

●開催日：2019年8月11日(日)
●場所：成増塾 高田馬場校

(写真左)2019年のセミナー参加者の皆さん。
(写真右)第1部は数学・化学担当の森本講師による講演でした。

森本 恭彰講師 講演　「医学部合格へ最新の傾向と対策について」

【主な内容】

- 国立か私立か？受験内容の違いについて
- 国立大学医学部のセンター得点率は東大、京大と同レベル
- 国立私立併願と国立専願では異なる勉強の仕方
- 私立大学医学部の受験について
- 大学の入試日程を考慮した受験をすることが重要
- 私大医学部受験は体力も考慮する必要がある
- 過去問の分析が入試の成否のカギを握る
- 偏差値の低い大学の問題が易しいとは限らない
- 受験校を決めるのは問題との相性も大切
- 英語が得意でも問題との相性が大切
- 化学の問題はクセが少ない
- 過去問研究はいつからするべきか
- 多浪生でも合格する大学はある

【医学部セミナー2018 レポート】
成増塾から医学部に合格した、4名の現役学生による座談会が実現!

●出席者

昭和大学医学部
清水 翔さん

昭和大学医学部
小塩 媛子さん

東海大学医学部
松原 弘卓さん

獨協医科大学 医学部
武井 秀和さん

●司会・進行役
高島塾長

医学部に合格した生徒の皆さんにはそれぞれの"ドラマ"があります。第2部の座談会では、成増塾から「現役」、「1浪」、「3浪」で合格した現役医学部生の皆さんが受験時代のそれぞれの"ドラマ"を熱く語ってくれました。

高島　では、これから成増塾出身の現役医学部生による講演会をはじめます。ではまず、会場に集まっているみなさんが1番関心を持っている事、医学部に合格するためにどんな勉強をしたかということから聞いてみましょう。清水君からお願いします。

清水　はい、僕は高3の6月まで剣道部に属しており練習は週1回しか休みがなかったので部活と勉強の両立が大変でした。

だからいつも効率よく勉強する事を心がけていました。また、僕は長時間机に向かっているのが苦手だったので1時間に1度くらいの割合でこまめに休憩を取っていました。

受験を終えて感じた事は、人はそれぞれ違うのだから自分なりの勉強法を確立し、軸をずらさない事が大事なのではないかという事です。

高島　1日の勉強時間はどの位でしたか？

清水　部活をやっている時は塾で2時間、家で1時間位でした。そのほかに通学途中の電車の中で単語の暗記などをやっていました。

部活を引退してからは勉強時間が増えて5時間くらいになりました。また、夏休みは毎日10時間くらい勉強していました。

小塩　私は部活は高2の秋くらいに終わりましたが2年生の時は成増塾の宿題をこなすくらいしかやりませんでした。学校の定期テストの成績はそれほど良い方ではなく学年での順位は中の上といったところでした。

3年生になってからは勉強時間を増やし、清水さんと同じように電車の中での時間を暗記ものなどに活用するようになりました。

私は第一志望は国立大学だったのでセンター対策を重視し、夏休みにセンター対策を完成させるつもりで頑張りました。国語が苦手科目だったので夏休み中は毎朝7時に起きてセンターの問題を一年分ずつ

解いていました。

高島　小塩さんは昭和大学は特待生で学費免除生として合格しましたよね。

小塩　はい、私はセンター利用の地域枠で受験しました。清水さんも学費免除生として合格してますよ。

高島　そうでしたね。次に松原さんはいかがですか？

松原　僕は部活は特にやっておらずいわゆる「帰宅部」でした。時間は結構あったのですが高3まではほとんどやらずに過ごしてしまいました。僕が本格的に勉強を始めたのは高3の夏休みでした。押川先生に「毎日12時間勉強しろ」と言われてから勉強時間の記録をつけるようになり毎日実行しました。

高島　なるほど、押川先生からハッパをかけられたのをきっかけに真剣に勉強するようになったのですね。武井さんはどうですか？

武井　僕は医学部に入るために３浪してしまいました。高3になるまでほとんど勉強らしい事をしたことがなくて、勉強を始めたのは高3の夏休みでした。でも、勉強を始めても何が何だかさっぱりわからず板書を写すのも何か、自分にはわからない暗号を書き写しているようでした。それで、結局、現役、一浪ではうからず、成増塾に来たのは２浪目でした。成増塾に来た時も基礎力はできておらず先生方には本当に「基礎の基礎」とでもいうべきところから教えてもらいました。それで少しずつ各科目とも理解できるようになってきました。この時期に成増塾で基本から叩き直してもらった事が本当に良かったと後になって思いました。

あと、成増塾は夏休みも普段と同じペースで勉強できたこともとても良かったです。他の予備校では夏期講習なんかがたくさんありすぎてペースを狂わされてしまった事があったのですが成増塾では夏休みも特に講習をやらせられる事がなかったので自分のペースで勉強する事が出来ました。

高島　武井さんは３浪目で受かったのですが、２浪目と３浪目はどこが違いましたか？

武井　まず、２浪目に成増塾に来た時、僕の基礎力はまだガタガタでした。それまでの塾では教材が難し過ぎてちゃんと理解できていなかったのだと思います。

２浪目に成増塾に来て基礎固めをしっかりやってもらったら、わかる部分がどんどん増えていって。それに勉強してることの意味がはっきりわかって来たので勉強が楽しいと思えるようになりました。

高島　獨協医大は浪人の比率が高いんですよね。

武井　ええ、2浪3浪はたくさんいました。中には7浪の人もいました。

高島　え、7浪ですか！それは凄いですね！

では次に、志望大学の過去問をいつ頃から解き始めたのかについてお話しいただけますか？

清水　僕は第一志望は国立大学だったので私立の対策は遅く、昭和大学の過去問を解き始めたのは高3の11月でした。まず1年分のみ解いて傾向を見てみました。それで自分の勉強には何が足りないのかを考え勉強の方向性を軌道修正していきました。結局、僕が私大で受けたのは昭和と慈恵と順天でしたが、昭和の問題が1番解きやすいと思いました。順天の問題は自分には合わないと思ったので過去問対策も昭和を中心にやっていました。

それで、昭和の問題を年明けくらいに5年分くらいやってみたら傾向がわかって来ました。私立大学は出題する先生も限られているのでその先生の個性というかクセがかなり強く入試問題の傾向にも現れます。慈恵の問題をやったときもそう感じました。だ

会場には医学部を目指す生徒と保護者の皆さん100名近くが集まりました。

から私立大学の過去問対策は凄く大事だと思います。また、過去問を研究する時は解く順番も決めると良いと思います。例えば自分が得意なタイプの問題を先に解くとか。
ちなみに僕はセンターで大失敗してしまったので国立はかなり厳しくなりました。

高島　センターが失敗したとは何が失敗だったんですか？

清水　満点近く取らなければならない理系科目で失敗してしまいました。
逆に苦手だと思っていた国語で予想以上の点数を取る事が出来ましたが。
模擬試験では理系科目では大体高得点を取れており、国語で点が取れていませんでした。センター試験は受けてみなければ本当にわかりません。センターの勉強では各科目のバランスが大事であることを痛感しました。

小塩　私大の過去問を解き始めたのはセンター試験後でした。私も国立大学が第一志望だったのでセンター対策を完璧にやることを入試対策の中心にしていました。ただ、成増塾のプリントの中にも私大医学部の過去問はたくさん取り入れられていたのでそれでいろいろな大学の傾向を知ることはできました。
受験勉強を振り返ると高3の夏までは基礎固めを終え、秋に国立の医学部の過去問をやり始めました。昭和の過去問を見たのは実は入試の2、3日前くらいでした。

高島　私立大学はどこを受けたのですか？

小塩　慈恵と順天と昭和です。私はセンター試験の点数が良かったので私立大学はセンター利用の地域枠で受験しました。
私大の過去問をやって感じたのは順天の数学や慈恵の物理は自分とは相性が合わないということです。昭和の問題は解きやすいけど高得点勝負になるなと感じました。

松原　僕が過去問を始めたのは11月頃です。過去問を解いてみてわからないところはすぐ先生に聞きました。成増塾は先生が個別に過去問の解き方などを教えてくれたのですごく助かりました。
東海大学は問題が簡単なのでミスをしないように気をつけました。

武井　僕は三浪だったので過去問は3回解きました。ただ獨協を受けると決めたのは3日前でした。今思えば成増塾での基礎固めがしっかりしていたからこそ過去問対策が不十分だった獨協に合格できたのだと思います。

高島　はい、ありがとうございました。
では次に面接について伺いたいと思います。
昭和大学の面接試験は変わっていると言われています。ある年には面接官が「今の心境を俳句で詠んで下さい」と聞かれたそうです。
実際の面接はいかがでしたか。

清水　昭和の面接は10人くらいが一気にブースに入れられて行われました。志望動機について聞かれると思い準備して行きましたが「今日はどこから来たの？電車、バス？」などと雑談みたいな形で面接は

医学部合格への勉強方法、また医学部生のキャンパスライフについても数多くの質問が寄せられました。

当日は成増塾の講師陣も多数参加。医学部で出題される数学について押川講師が丁寧に答えます。

始まりました。面接で心がけた事はウソを決して言わない事です。僕は昭和のオープンキャンパスには行ってなかったので正直に行っていないと答えました。あと、昭和大学は医学部以外の人たちとも連携をとって進めるチーム医療を看板にしているのでそのことについて聞かれました。

高島　小論文について少しお話ししてもらえますか。

小塩　小論文対策はほとんどしませんでしたが昭和では大学の校訓になっている「至誠一貫」について聞かれるという話を聞いていたので直前には大学のガイドブックをきちんと読んでいました。地域枠入試では「あなたの考える国民病」というテーマが出されました。

高島　松原さんはいかがでしたか？

松原　一応書きましたが、小論文はかなり苦手でした。

武井　僕は外科医の書いた文章を読んで要約させるという問題が出ました。私大の医学部入試は国語がないのでこのような問題で国語力を聞いているのではないでしょうか？

高島　ありがとうございました。

では、最後に現在の学校生活がどんな様子がお話し頂けますか？あと、受験生時代を振り返って後悔していることはありますか？

清水　今の大学での生活はとても楽しいです。昭和大学は1年生の時は富士吉田というところにある寮で全員が寮生活を送ります。先ほどもお話ししたように昭和大学は「チーム医療」を大学のモットーにしており、色々な学部の人達と学部混合のグループを作り発表をしていきます。その過程で色々な人達と仲良くなることができました。また、2年、3年では専門科目が本格的に始まるので勉強はかなり大変になります。ある意味受験勉強よりも大変ですが、これも友達と協力し合いながら対策を立ててやっているので楽しいです。

受験時代を振り返り後悔している事があるとすると高1、高2生の時に基礎固めが不十分だった事です。

小塩　私も大学生活はすごく楽しいです。学校の活動で3000メートル級の山に登って診療をするというのがあるのですが、そこで貴重な経験をさせてもらっています。医学部は合格してからも勉強がかなり大変なので、自分の中になぜ医師を目指すのかと言うはっきりとした目的意識とやる気がないとやっていけないのではないかと思います。

受験時代を振り返って後悔している事は高2の終わりまでにセンター対策を完璧にしておけばよかったということです。

武井　獨協医科大学は単科大学なので縦のつながりと横のつながりが強いです。後悔しているのはやはり高校時代に勉強をしなかったことです。浪人して得たことも沢山ありましたが浪人時代に失った時間はかなり大きいと思います。

高島　みなさん、今日は本当にありがとうございました。

生物担当の中嶋 寛講師。医学部で出題される問題には学校や参考書では触れられない事項が多いそうです。対策はプロの講師に頼るのが早道です。

座談会終了後も生徒の皆さんは個別に質問をします。座談会に出席した現役学生の皆さんも最後まで親切に対応してくれました。

【医学部セミナー2019 レポート】
成増塾出身の現役医師が座談会に参加。医学部合格から医学部での6年間の道程。

●出席者
左から
東京慈恵会医科大学医学部
九島 遼大さん
日本大学医学部
友田 英里さん
帝京大学医学部
友利 伸也さん

●司会・進行役
坂本 亮さん
（成増塾OB会会長）

成増塾から医学部を目指す1人でも多くの生徒に合格して欲しいという熱い気持ちで、3名のOBの皆さんが座談会にかけつけてくれました。現役の医師と現役の医学部生がそれぞれ歩んだ道程を語ります。

坂本　こんにちは！今日はお忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。私は2000年に成増塾を卒業した坂本と申します。現在会計士事務所を経営しております。また、成増塾の卒業生が入会するOB会の会長を務めさせていただいております。

今日は成増塾出身の３人の医学部合格者に来ていただき医学部を目指す皆さんのために役に立つ情報をお届けすることができればと思います。では最初に３人の方に自己紹介をしていただきましょう。

友利　私は2012年成増塾を卒業しました。帝京大学医学部に入学し、現在は松戸の病院で初期研修をしています。私は、本日は医学部に合格した後、医師になるまでの話をさせていただきたいと思います。

友田　こんにちは。私は2016年に成増塾を卒業した友田と申します。現在、日本大学医学部に在籍しています。今日は、医学部はどんなところか、という話をさせていただきます。

九島　こんにちは。私は2019年に成増塾を卒業し、東京慈恵会医科大学に合格しました。私はまだ今年受験を経験したばかりなのでそれについてお話をさせていただきたいと思います。

坂本　はい、ありがとうございます。では、早速ですが、九島さんにお尋ねしようと思います。九島さんの得意科目はなんでしたか。

九島　はい。英語と化学が得意科目でした。

【医学部を目指したきっかけ】

坂本　いつから医学部を目指されていたのですか？

九島　そうですね、僕の場合、両親が医者ということもあり、実は、将来は医者になることしか考えていませんでした。僕は中高一貫校の暁星というところに通っていたのですが、周囲の人たちも医学部志望者が多く、自然と医学部を目指すよう

になりました。

坂本　なるほど。そうなんですね。ところで、医学部といってもたくさんの大学があると思うのですが、学校選びはどのようにされたのですか？

【なぜ慈恵医大を第一志望にしたのか】

九島　僕の場合、高３の５月まで部活をやっており、受験まで時間があまりなかったので国立大学は諦め、最初から私立専願で行きました。私立の中で、現役で行ける一番レベルの高い大学にしようと思いました。

坂本　そうなんですね。それで結果的には第一志望の慈恵医大に合格することができたのですね。いま入試を振り返ってみた時、入試ではどの科目が一番重要だと思いましたか？

【英語の学力が合格の決め手】

九島　僕の場合はやっぱり英語ですね。英語の配点が高い大学もあり、英語ができないとそれだけで志望校からはずれてしまうと感じました。また、英語は数学と違って高得点を安定してとることができるのでその意味でも重要だと思います。

坂本　なるほど。では、逆に苦手な科目は何でしたか？

【勉強時間の配分】

九島　そうですね。数学が苦手で最後まで足を引っ張られたかなと思います。ただ、数学は難しい問題は、解ける人があまりいないのでそれほど差がつかなかったのではないかと思います。

坂本　九島さんは私立専願なので受験に必要な科目は英、数、理科２科目ですよね。これらの科目に使った勉強時間の配分はどんな感じでしたか？

九島　僕の場合、先ほども言ったように英語が得意科目でしたので英語は高３の夏くらいまでには実戦形式で勉強できる学力がついていました。そこで夏休み中は、英語は朝の２時間くらいを使って長文問題を解くといったことしかやりませんでした。残りの時間は数学と理科にあてました。受験直前の時期には理科を集中的に勉強していました。

坂本　なるほど。それらの科目の時間を比で表すとどんな感じになりますか？

九島　そうですね、夏休み中は英語、数学、理科の配分が、２:4:4という感じだと思います。それが直前には2:2:6くらいになりました。

【過去問分析について】

坂本　ありがとうございます。ところで受験において過去問分析が大事だ、とは昔から言われていることだと思いますが、過去問分析はいつごろから始められましたか？

九島　英語は夏に２年分くらいを解いてみました。他の科目は12月中旬の学校のテストが終わってから始めました。直前のその時期には勉強時間の大半は過去問を解くことに充てていました。

坂本　そうなんですね。過去問の分析は本番では役に立ちましたか？

九島　はい、とても役に立ちました。入試問題の過去問は、よく言われていることですが「志望大学に合格するために一番いい問題」なので過去問分析は本当に徹底的に行いました。過去問を分析してその大学の問題に慣れることはとても重要だと思います。入試問題の出題傾向や出題される問題の範囲は決まっているのでそれを、身をもって確かめることはとても重要です。過去問を解いて自分に足りないところを発見できたのでそれをきっかけに弱点を補強することもできました。

坂本　なるほど。過去問の大切さを九島さんは身をもって経験されたのですね。それはとても貴重なお話ですね。受験勉強で身につけたことは大学

緊張気味のOBの皆さん。司会を務めた成増塾OB会会長の坂本さんのさわやかな笑顔が３人をリラックスさせます。

で役に立っていますか？

【英語は医師になってからも重要】

九島　はい、入学して１年目はいわゆる教養科目が多いので役に立っています。ただ、今後のことを考えると、数学の問題を解く学力はあまり問われないと思うのですが、英語に関しては論文を読んだり書いたりするのに直接役に立つと思います。医師である両親を見ていても英語の論文を読んだり書いたりしていますのでそれがよくわかります。

坂本　受験で勉強したこと、特に英語はこれからもずっと役に立つんですね。
ありがとうございました。
では、次に友田さんに医学部生の毎日の生活について聞いてみたいと思います。
友田さんは今２年生ですが医学部ではどういったことを勉強されているのですか？

【医学部生の毎日】

友田　はい、医学部での勉強内容は私が在籍している日大の場合は１年目に基礎科目、２年目に「人体がいかにして正常に動くのか」という正常値の働き、３年目に病気の話、４年目に実習といった感じです。

坂本　週に何日大学には通われているのですか？

友田　週５日です。私の毎日は高校生の時とほぼ変わらなくて、朝９時から始まってふつうは３時ごろまで、遅い時には夕方の５時半くらいまで授業があります。お昼休みは一時間くらいです。

坂本　課外活動は何かされているのですか？

現役医師の友利さんは医師としての日常をこの日のために自ら作ったパワーポイントで説明してくれました。

友田　はい、私は弓道部に所属しています。また救急救命の資格取得に向けたACLSという部活もしています。

坂本　それはどのような活動をするのですか？

友田　人が倒れた時などの心肺蘇生や心臓マッサージの方法を身に着けていきます。全国大会もありそれに向けてみんなで活動を行います。部活動はそれほど大変ではありません。

坂本　そうなんですね。医学部に入ってよかったことは何でしょうか？

友田　医学部は他の学部とは異なり医学部に在籍する130名全員が同じ授業を受けて試験を乗り越えていくので友達ができやすいです。

坂本　130名なんですね。友利さんの大学は１学年何人ですか？

友利　僕のところは160人くらいでした。ただ、僕の大学は留年する人も多く２０-３０人が留年していました。

坂本　留年が多いんですね。学年を超えた絆ができるかもしれませんね（笑）
九島さんのところは何人ですか？

九島　慈恵医大は110人です。留年はほとんどないですね。

坂本　他大学との交流はありますか？

友利　僕はソフトテニス部に所属していました。他大の医学部の人と大会等で交流することはあります。

【医学部での６年間について】

坂本　なるほど。友利さんは現在病院で初期研修をされているとおっしゃっていましたが、医学部生の６年間について簡単に説明していただけますか？

友利　はい。僕の大学の場合、１年から３年までで、教養科目、基礎医学、臨床医学を学びます。４年になると病院実習に出るための試験であるCBTやOSCEといったものを受験することになります。CBTはパソコンで行う試験です。またOSCEは模擬患者を使って行います。４年時は見学型の臨床実習があります。そして５年になると

参加型臨床実習というものがあります。６年時には選択の臨床実習があり、初期研修の研修先の病院を決めるマッチングというものも行われます。その後卒業試験と国家試験があります。医師国家試験にも予備校がありみんなで協力して乗り越えていくという感じです。国家試験に合格すると研修先の病院に配属されることになります。

坂本　試験がかなりたくさんあるんですね。卒業試験や国家試験に落ちてしまうとどうなるのですか？

友利　国家試験に落ちると決まっていた研修先の採用も取り消されることになります。

【医師に問われる資質】

坂本　そうなんですね。友利さんに一つお聞きしたいのですが、医師に向いている性格とか向いていない性格といったものはあるのでしょうか？

友利　そうですね。臨床に行く人は患者さんや患者さんの家族とのコミュニケーションが重要になりますので勉強以外でもそういう能力が必要になるとは思います。また、医療の世界は日々進歩していますので絶えず勉強をし続けることも求められると思います。

【高校時代を振り返って】

坂本　高校生の時の自分を振り返って、何をやっておけばよかったと思いますか？

友利　入試で合格するためには基礎的な学力を早いうちに身につけておくことはもちろんですが、高校生の時は部活や旅行などをして見聞を広めておくことも大事だと思います。

坂本　医師になってよかったと思うのはどういう時ですか？

友利　ある時、救急搬送されてきた患者さんがいました。僕たちのチームの判断がよかったためその患者さんの家族の方から感謝の言葉をもらえた時は凄く嬉しかったです。僕はまだ研修医ですが、毎日そういう経験ができます。

【医学部を目指すみなさんへのメッセージ】

坂本　そうなんですね。医師は人の命を預かる職業だから責任も重い反面、やりがいもすごくあるということですね。では、最後に３人に医学部を目指す生徒さんのために一言ずつメッセージを頂けますか？

九島　僕は夏休みの60日間集中して勉強することでかなり合格に近づけたと思います。その意味で「夏を制する者は受験を制する」という言葉は正しいと思います。夏休みに頑張れば秋以降の勉強にもつながると思うので是非、夏休みを大切にしてください。

友田　私は受験の前には自分が受かることを信じることができず、すごく不安な気持ちになっていました。ただ、それを乗り越えて合格することができました。皆さんも苦しい状況を乗り越えることができればその後の人生にもきっと役に立つと思って頑張ってください。

友利　医学部は１年から６年まで毎日勉強が続きます。医学部受験の時に勉強の習慣を身につけることはとても大切だと思います。

坂本　ありがとうございました。今日の３人のお話が医学部を目指す皆さんに少しでも役に立ってくれればうれしいです。

現役医師と現役医学部生の体験談と日常を知ることは、医学部を目指す生徒の皆さんには大変興味深く、参加者全員が話に聞き入っていました。

合格祝賀会

毎年3月、成増塾では合格祝賀会を盛大に開催します!
晴れて志望校に合格した卒業生の皆さん、満面の笑顔です!!

表参道の素敵なパーティー・スペース「キハチ 青山本店」で開催された、合格祝賀会の模様を紹介いたします。

受験を終え、新しい生活への準備が始まる忙しい時期にも関わらず、多くの方々にご参加いただきました。

美味しい食事に、楽しいゲーム、そして感動と笑いのスピーチの数々・・・参加した卒業生の皆さんは満面の笑顔に満ち溢れておりました。

高島塾長自ら企画・司会を務める"恒例チーム別ビンゴクイズ大会"は毎年大好評!

用意された数々の美味しい料理が"真昼の饗宴"を彩ります。

大好きなワインを片手に満面の笑みを見せる門脇講師。苦労を共にした講師陣も最良の日を迎えました。

森本講師と押川講師に囲まれて思い出話しに花が咲きます。

【成増塾 特別講演会】

成増塾では、様々な分野で活躍する一流の方々を招いて講演会を行っております。過去には統合医療の分野の第一人者である東京女子医大教授、川嶋先生、数学者のピーターフランクルさん、建築家の手塚貴晴さんらをお招きしました。

川嶋先生からは医学部を目指す生徒達に「医者の仕事は大変だが、多くの人の命を救うことができ、それだけやりがいもあるので頑張ってほしい」と励ましのエールをいただきました。

世界を舞台に活躍する有名な建築家、手塚貴晴さんと、早稲田の建築科で勉強している礒部さんとのツーショット。

合格者の皆さんからのメッセージ動画も掲載!!

ホームページも是非ご覧下さい。 成増塾 検索

インターネット授業

成増塾では、体験授業を受ける前に授業がどんな様子か知りたい、という方のために授業のダイジェスト版をインターネットで提供しております。インターネット授業は現在のところ一部の講師の授業のみ視聴できますが、今後、講座数を増やしていく予定です。

▲インターネット体験授業の様子。ホームページからいつでもご覧になることができます。

成増塾 高卒部

■高田馬場校■ 〒169-0075 新宿区高田馬場1-28-3 工新ビル3F

TEL.**03-5285-0554**

ご来校の際は、必ず電話で予約してからお越しください。

予約なしにお越しいただいても、担当者不在のため十分な対応を
致しかねる場合があります。(電話受付:月曜日~土曜日 17:00~22:00)

★高卒部の実施は、高田馬場校のみとなります★

ホームページもご覧下さい! 成増塾 検索

成増塾

電話受付
月曜日~土曜日
17:00~22:00

成増校	TEL.03-5997-7512	〒175-0094 板橋区成増2-17-10 タカスビル4F
高田馬場校	TEL.03-5285-0554	〒169-0075 新宿区高田馬場1-28-3 工新ビル3F
下高井戸校	TEL.03-3324-6466	〒168-0073 杉並区下高井戸1-1-6 第15通南ビル2F
西葛西校	TEL.03-3804-4584	〒134-0088 江戸川区西葛西3-15-9 共栄ビル8F
白金台校	TEL.03-6409-6357	〒108-0071 港区白金台3-14-4 LBビルディング3F

2020_12